

平成 23 年度
小学校における交通・環境学習等支援事業
報告書

平成 24 年 3 月
御 嵩 町

<目次>

1.事業の目的と概要	1
1.1 事業の目的	1
1.2 事業の概要	3
2.小学校における継続的な授業実施・検証評価	9
2.1 概要	9
2.2 各小学校における授業実施	11
2.3 学習結果の検証と今後の継続的实施に向けた検討	43
3.中学校における「交通・環境学習」への取り組み	45
3.1 概要	45
3.2 各中学校での授業実施	47
3.3 今後の継続的实施に向けた検討	75
4.情報提供・広報活動の取り組み	77
4.1 情報提供・広報活動の概要	77
4.2 本年度の情報提供・広報活動	79
4.3 今後の情報提供・広報活動の検討	106
5.今後の取り組みについて	109
5.1 3年間の取り組みのまとめ	109
5.2 今後の取り組みについて	110

1. 事業の目的と概要

1.1 事業の目的

1.1.1 事業の目的

自然豊かな郷土、中山道をはじめとした歴史や文化などを有する風土を背景として、学校教育の場で、身近な郷土への愛着と公共心を醸成するため、地球温暖化防止をはじめとした環境保全と中山道をはじめとした歴史や文化などの地域に密着した交通をテーマとした「交通・環境学習」を推進することを目的とする。

平成 20 年度は、事業実施準備期間と位置付けて、検討体制を立ち上げ、基礎教材の開発と単元、カリキュラム構成の検討を開始した。平成 21 年度には、モデル校である御嵩小学校の全学年で意欲的に「交通・環境学習」を実施するとともに、多くの媒体で情報提供・広報を実施した。平成 22 年度には、御嵩町内の全小学校で「交通・環境学習」を実施するとともに、継続的な取組みの支援体制と仕組みの構築、御嵩町版「交通・環境学習」実施要領を暫定的に作成した。

平成 23 年度は、過去 3 年間の取組みを踏まえて、小学校における「交通・環境学習」の継続的实施と、新たに中学校での取組みを開始する。また、関係者への理解の推進と普及に向けた情報提供、及び広報を行い、今後の継続的取組みのための検討を行う。

1.1.2 事業の枠組み

(1) 対象

平成 23 年度：町内の 3 小学校及び 3 中学校

(2) 事業の目標

事業期間における年度別の目標を表 1.1.1 に示す。

表 1.1.1 事業の年度別取組み概要

年度	位置付け	目標	交通・環境学習の実施
平成 20 年度	事業実施準備	1.検討体制の立ち上げ 2.基礎教材の開発 3.単元、カリキュラム案構成	
平成 21 年度	学習実施と展開	1.単元、カリキュラムの構成、及び教材の開発、拡充 2.モデル校での「交通・環境学習」の実施と検証	御嵩小学校
平成 22 年度	持続的な取組みシステムの構築	1.町内全小学校での「交通・環境学習」の実施 2.取組み支援体制と仕組みの構築 3.広報、及び情報提供に関する取組みの検討 4.御嵩町版「交通・環境学習」実施要領作成（暫定版）	上之郷小学校 御嵩小学校 伏見小学校
平成 23 年度 （予定）	取組みの継続・発展	1.小学校における「交通・環境学習」の継続的な取組みの定着 2.中学校における「交通・環境学習」の取組み検討 3.御嵩町版「交通・環境学習」実施要領作成（改訂版）	上之郷小学校 御嵩小学校 伏見小学校 上之郷中学校 向陽中学校 共和中学校

1.2. 事業の概要

1.2.1 概要

平成 23 年度は、本事業の最終年度にあたり、事業当初計画では「取組みの継続・発展」を目指して、1.継続的・発展的な取組みの定着、2. 御嵩町版「交通・環境学習」実施要領作成（改訂版）、そして 3. 中学校での取組み開始を目標として設定した（前記表 1.1.1）。

したがって、平成 23 年度は、これまでの課題への対応を踏まえて、表 1.2.1 に示すような検討を行う。

表 1.2.1 平成 23 年度の検討項目

(1) 町内全小学校での継続的な授業実施と検証評価の支援 ・町内全小学校での学校が主体となって実施する「交通・環境学習」授業の取組みについて、授業計画、教材開発のための技術的資料提供などの授業実施に関する支援を行うとともに、授業記録に基づいた検証、評価を行って、今後の継続的实施に向けた検討を行う。
(2) 中学校における「交通・環境学習」への取組みと検証の支援 ・これまでの小学校における「交通・環境学習」の取組みを踏まえ、今後の中学校における「交通・環境学習」の継続的取組みを見通して、教員と協働して教材、単元、カリキュラムを作成し、授業実施の支援、授業記録の作成と検証、今後の「交通・環境学習」実施に向けた課題への対応検討を行う。
(3) 情報発信、広報活動への取組みの支援 ・「交通・環境学習」の取組みを他の教員、保護者、支援する関係機関などに情報を提供するとともに、持続的な取組みに向けて、保護者、市民に情報を提供する広報活動を支援する。
(4) 御嵩町版「交通・環境学習」実施要領の作成 ・これまでに実施してきた「交通・環境学習」をとりまとめ、今後、教員をはじめとした関係主体が活用できる資料として、御嵩町版「交通・環境学習」実施要領を作成する。

1.2.2 町内全小学校での継続的な授業実施と検証評価の支援

昨年度から引き続き、町内全小学校での授業を実施して、授業記録に基づいた検証、評価を行い、今後の継続的実施に向けた検討を行う。

検討の枠組みは、以下の通りとする。

(1) 実施対象

- ・上之郷小学校（児童数：90名、学級数：6）
- ・御嵩小学校（児童数：637名、学級数：19）
- ・伏見小学校（児童数：291名、学級数：12） 但し、平成 22 年度児童数

(2) 実施内容

これまでの 2 年間の成果を踏まえて、各学校で授業実施内容は、原則として学校主体で検討することとし、以下のような基本方針で検討を進める。

- ・学校及び学年の年間学習計画に基づくものとする。
- ・これまでの2年間の成果を踏まえて、各学校を主体として授業の実施内容を計画し、授業を実施する。
- ・授業実施に際しては、先生方からの要請に基づき、事務局及び専門家が情報提供及び支援を行う。
- ・御嵩町版「交通・環境学習」実施要領をまとめるに際しては、学習の主体者である教師や、児童へのアンケートやヒアリングなどを通して、授業内容及びその評価、継続実施への課題などを整理する。

1.2.3 中学校における「交通・環境学習」への取り組みと検証の支援

これまでの小学校における「交通・環境学習」の取り組みを踏まえ、今後の中学校における「交通・環境学習」の継続的取り組みを見通して、教員と協働して教材、単元、カリキュラムを作成し、今後の中学校における「交通・環境学習」実施に向けた課題への対応検討を行う。

検討の枠組みは、以下の通りとする。

(1)実施対象

- ・上之郷中学校
- ・向陽中学校
- ・共和中学校

(2)実施内容

中学校での授業実施内容は、小学校での実施と同様に、原則として学校主体で検討することとし、以下のような基本方針で検討をすすめる。

- ・学校及び学年の年間学習計画に基づくものとする。
- ・実施に際しては、中学校の先生方と相談しながら、可能な範囲で単元・カリキュラム・教材を検討し、授業の実施を試みる。
- ・各学校での授業内容検討に際しては、事務局及び専門家が情報提供を行うとともに、要請に応じて支援する。
- ・今後の継続実施に向けて、授業記録に基づいた検証、評価を行い、継続的な実施に向けた課題を整理し、対応を検討する。

1.2.4 情報発信、広報活動への取り組みの支援

「交通・環境学習」を、継続・発展させていくためには、実際の学習現場での取り組みを関係者に配信して情報を共有する事が不可欠である。

平成22年度は、御嵩町教育センターおよび御嵩小学校ホームページで情報提供を始めるとともに、新たに学校行事や「御嵩町環境フェア2011」での展示や発表を展開するなど、関係機関の皆様のご協力をいただいて、多くの媒体で情報提供・広報

を実施することができ、多くの成果を得ることができた。

しかし、提供すべき情報源は学校にある一方で、情報提供と広報啓発の取り組みをすべてにわたって学校が分担するには労力が大きすぎるという課題があることから、情報提供と広報活動を分けて検討していくことが必要である。具体的には、情報提供については各小学校からの情報を提供していただくことが必要であるが、広報活動については、関係機関等が主体となって、持続的な取り組みに向けた合理的な役割分担と仕組みを構築していくことが望まれる。

実施する情報提供と広報の枠組は、以下に示す通りとする。

①情報提供として、関連情報のデータベース化と活用のしくみの構築

- ・「交通・環境学習」の関連情報を一つの箇所にまとめてデータベース化する仕組みを検討する。
- ・具体的には、昨年度構築した「御嵩町教育センター」HP内に構築した「交通・環境学習参考資料」のページを活用し、毎年度の教材・授業記録を定期的に公開していく仕組みを構築する。
- ・さらに、御嵩町版「交通・環境学習」実施要領を作成し、教員をはじめとした関係主体が今後の「交通・環境学習」を実施する際に参考となる基礎資料とする。

②広報啓発として、関係主体での活用の仕組みの構築

広報活動については、関係機関等が主体となって、持続的な取り組みに向けた合理的な役割分担と仕組みを構築していくことが望まれることから、表 1.2.2 のような枠組みで進めることとする。

表 1.2.2 情報提供・広報活動の枠組みと役割分担

ねらい	活動名称	媒体・具体的方法	情報発信者	対象					
				小中学校	教員	専門的識者	関連団体	保護者	一般市民
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">理解の推進と普及に向けた情報提供</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">広く取組みを知っていただくための広報啓発</p>	研究公開授業	公開授業案内、公開授業と研究会	小中学校	○	○	○	○	○	
	報告書配布	報告書概要編制作・配布	御嵩町教育委員会	○	○	○	○		
	御嵩町版「交通・環境学習」実施要領配布	実施要領の作成・配布	御嵩町教育委員会	○	○				
	交通・環境学習データベース(HP)	教材、授業記録などを蓄積装置に格納し、ホームページ等で公開	御嵩町教育委員会	○	○				○
	学校便り等	学校便り「御嵩小広報」など	小中学校					○	
	広報紙による広報	実施結果ニュース、(御嵩町ホームページとリンク)	御嵩町					○	○
	御嵩町ホームページ	実施結果ニュース(ポータルサイト)、広報紙「ほっとみたけ」(月刊)	御嵩町					○	○
	マスコミ	新聞・テレビ・ラジオ放送等による報道依頼	御嵩町						○
	学会・イベント等での報告	学会・イベントなどでの報告	小中学校・御嵩町・関係者			○			

1.2.5 御嵩町版「交通・環境学習」実施要領の作成

継続的な「交通・環境学習」の取り組みを実施していくためには、その成果をわかりやすくとりまとめて次に取り組む関係主体に的確に伝えていかなければならない。特に、現場で授業を実施する教員の皆様方にとっては、取り組みの経験やノウハウ、そして支援者を知ることは、非常に心強いものがあると思われる。

このため、これまでに実施してきた「交通・環境学習」について、教員をはじめとした関係主体が参考にできる資料としての御嵩町版「交通・環境学習」実施要領を完成させる。

御嵩町版「交通・環境学習」実施要領をまとめるに際しては、学習の主体者である教員や、生徒へのアンケートやヒアリングなどを通して、授業内容及びその評価、継続実施への課題などを整理する。

また、“実施要領”の内容については、以下に示すようなイメージを考えるが、教師の皆様をはじめとした関係主体からのヒアリングに基づき、“活用できるかもしれない”といった視点で構成する。

○実施要領（暫定版）のイメージ例

- ・御嵩町版「交通・環境学習」実践事例集
- ・御嵩町版「交通・環境学習」教材事例集
- ・体制・仕組みの構築のまとめ

2. 小学校における継続的な授業実施・検証評価

2.1 概要

昨年度から引き続き、町内全小学校での授業を実施し、授業記録に基づいた検証、評価を行ない、今後の継続的实施に向けた検討を行なう。

授業実施の枠組みは、以下のとおりとする。

(1)実施対象

- ・上之郷小学校
- ・御嵩小学校
- ・伏見小学校

(2)授業実施の基本的事項

授業実施内容は、原則として学校主体で検討することとするが、以下のような基本方針に基づくこととする。

- ・原則として学校及び学年の年間学習計画に基づくものとする。
- ・学年を単位として、総合的な学習の時間もしくは教科学習計画の中で、「交通と環境を学ぶ」教材を体系化して位置付ける。
- ・既存「交通と環境を学ぶ」教材と学年の年間学習計画を考慮して、授業実施内容を検討する。この際、既存「交通と環境を学ぶ」学習教材については、事務局が提供、支援する。
- ・各学校での授業内容検討に際しては、事務局及び専門家が情報提供を行うとともに、要請に応じて支援する。

(3)授業実施の概要

町内3校の授業実施概要を表2.1.1に示す。

各校ともに、複数の学年で「生活科」、「社会科」、そして「総合的な学習の時間」の年間学習計画のなかで「交通・環境」の教材を位置づけて取り組むこととしている。

表 2.1.1 町内各校の授業実施概要

学年	上之郷小学校	御嵩小学校	伏見小学校
1年	生活科:しぜんとあそぼう	生活科:はっぱの いろが かわったよ ～みたけのあきとあそぼう～	生活科:しぜんとあそぼう
2年	生活科:わたしたちの町をたんけんしよう ※	生活科:どきどきわくわくまちたんけん ～わたしのまちをたんけんしよう～	生活科:ぼうけん、はっけん、まちたんけん ～まちとなかよし～
3年	社会科:わたしたちのまち みんなのまち ※	総合的な学習の時間:見よう!聞こう!森へゴー! ～とびだせ自然たんけんたい～ ※	社会科:わたしたちのまちはどんなまち?
4年	総合的な学習の時間・社会科:わたしたちの できるエコ	総合的な学習の時間:きょう土に伝わる願い ～乗って残そうふるさとの電車～ ※	総合的な学習の時間:環境と住みよい伏見 生きている川～住みよい伏見～ ※
5年	社会科:自動車工場	総合的な学習の時間:大好き、御嵩	
6年	総合的な学習の時間:わたしたちの上之郷 ※	総合的な学習の時間:御嵩町の歴史の扉を開こう	理科:人と環境 伏見地域の環境に関する学習 ※

※:昨年度から内容を少し変更、追加した授業。その他の学年は昨年度の内容を継続して実施。

2.2 各小学校における授業実施

2.2.1 上之郷小学校

(1) 授業概要

上之郷小学校における学習の全体計画を表 2.2.1 に示す。

表 2.2.1 上之郷小学校における交通・環境学習の概要

学年	単元名	教科	学習のねらい	学習の構成	備考
1年	しぜんとあそぼう	生活科	体全体で自然を感じ、自然を使って遊びをみんな楽しくすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・あきをさがしにいこう、あきのあそびばにいこう ・あきの自然でおもちゃをつくって、みんなで楽しく遊ぼう 	
2年	わたしたちの町をたんけんしよう	生活科	身近な地域に出かけることで、自分の生活とのかかわりを広げ、深める。町たんけんを通して、交通空間を“歩く”ことと“発見する”価値を実感し、地域の良さを身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちのひみつをおしえあおう ・まちをたんけんしよう(しぜんたんけん、ふれあいたんけん) ・たんけんで見つけたことを教えあおう ・やさしさ見つけ・元気見つけ ・見つけたことをまとめて交流しよう 	歩き、発見
3年	わたしたちのまちみんなのまち	社会科	みたけ町を地図と見学で調べ、自然とくらし、産業を実感するとともに、広見線とバスを使って見学して、見学でわかったことを踏まえて町のガイドマップをつくり、伝える力を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・町全体の様子の調べ方を考えよう ・調べよう：店などの賑やかなところ、工場が集まっているところ、田や畑の多いところ、緑の多いところ ・私たちのまちを見学しよう(社会見学：広見線・バス乗車) ・町のガイドブックをつくらう 	広見線・バス利用による見学
4年	わたしたちのできるエコ	総合的な学習の時間	地球温暖化を学び、2酸化炭素を削減するために自分ができることを考え、実践することで、電気の使用量を減らしたりクルマ利用を減らすことが有効であることを実感し、みんなに伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化って何？ STOP 温暖化 ・自分のできるエコを考えよう ・自分のできるエコを実践しよう ・自分たちの行ったエコをまとめよう ・自分たちのできるエコを発表しよう 	自分ができるエコの実践
5年	自動車工場	社会科	自動車工場の見学を通して、環境にやさしい自動車の開発の工夫や努力を理解するとともに、これからのクルマ社会を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車販売店で働く人々を訪ねよう ・自動車工場を見学しよう ・自動車づくりの工夫を聞こう ・ハイブリッドカー開発のひみつを探らう ・これからのクルマ社会を考えよう 	自動車工場見学
6年	わたしたちの上之郷	総合的な学習の時間	上之郷の歴史や自分たちの生活とのつながりについて関心をもち、見学、インタビュー、調査など多様な手法で情報を収集整理してとりまとめ、上之郷について新たに分かったことや考えを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの上之郷 ・上之郷で知っていること ・上之郷探検 ・わかったことを交流しよう ・上小タイム発表会で上之郷のことを全校に発表しよう 	中山道の歴史の調査

(2) 単元指導計画

①第1学年

1 単元指導計画 単元名 あきのおもちゃをつくろう [全10時間]

時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	どんぐりごまをつくろう	・安全に気をつけてよく回るどんぐりごまを作る。	・こまの作り方や道具の使い方を知る。 ・協力してこまを作る。 ・作ったこまで遊ぶ。	・グループで協力して作っている。 ・安全に気をつけて道具を使うことができる。	・きりの使い方に気をつけて作らせる。
2 3	落ち葉の絵をつくろう。	・落ち葉を重ねたり並べたりして、想像力を生かして絵を創ることができる。	・落ち葉を使って絵を創る。	・楽しみながら落ち葉の絵を創ることができる。	・教科書や参考作品を見せてイメージを持たせる。
4 5 6 7	あきのおもちゃをつくろう	・落ち葉や木の実などを使い、その特徴を生かしたおもちゃを工夫して作り、遊ぶことができる。	・拾ってきた落ち葉や木の実を使って何を作りたいか話し合い、グループで材料や道具を準備して作る。	・落ち葉や木の実など自然の物の特徴を生かして、作りたいものを決めて作ろうとしている。 ・グループで協力して作っている。 ・安全に気をつけて道具を使うことができる。	・教科書や参考作品を見せてイメージを持たせる。
8 9 10	みんなであそぼう (生活科まつり)	・秋の自然を使って工夫して作ったおもちゃや遊びを一緒に楽しくすることができる。	・一緒に遊ぶためのルールを決めたり遊び方を話し合ったりする。 ・来て下さった方に楽しんで遊んでもらう。	・作ったおもちゃや遊びを使ってみんなで楽しく遊ぼうとしている。	・みんなで遊ぶためのおもちゃの改良やルールの設定などを考えさせる。

2 中心授業

本時の位置 (2、3 / 10)

本時のねらい 落ち葉を重ねたり並べたりして、想像力を生かして絵を創ることができる。

	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助
つ か む	<p>○事前に拾って押し葉にしておいたものや、休み時間に拾った落ち葉などの材料や、必要な道具を準備する。</p>	<p>・授業中だけでなく、休み時間などにも拾ってくるように呼びかけて意欲付けしておく。</p>
ふ か め る	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>あきのおちばをつかって、えをつくろう。</p> </div> <p>○作品例を見せることによって、注意することを知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作った後パウチするので、葉っぱを重ねすぎない。 ・ボンドは薄くつける。 <p>○紙の上に落ち葉を乗せたり、いろいろな方向から見たりして、何に見えるか想像する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きい葉っぱが顔になって、小さい葉っぱが口や目になるよ。 ・同じ葉っぱを丸く並べるとお花みたいになるよ。 ・お化けみたいに見えるよ。 	
ま と め る	<p>○葉っぱの裏にボンドをつけて紙に張っていく。</p> <p>○出来上がった作品を友達同士で見せ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちのすてきなおところをお互いに交流する。 <p>(パウチは空き時間を利用して行う。)</p>	<p>・ボンドをたくさんつけないために、容器に小分けして渡す。</p> <p>・自分なりの発想をしている児童をほめる。</p> <p>・なかなか進まない児童には、葉っぱを置いたり、紙の向きを変えたりして動きを持たせて想像するように支援する。</p>

②第2学年

1 単元指導計画 単元名 わたしたちの町をたんけんしよう

時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1 2	まちのひみつをおしえあおう	・自分が関心をもっている町の場所や自然などを教え合い、関心を高めることができる。	・自分が見つけた「まちのひみつ」をカードに書く。 ・カードに書いたことを発表し合う。	・まちに関心を持ち、友達に紹介しようとしている。 ・興味をもったものを工夫して友達に伝えることができる。	・例を示すなどして、具体的なイメージをもたせる。
3 4	たんけんの計画を立てよう1	・行ってみたい場所を話し合ったり、探検のルールやマナーを考えたりして、探検の計画を立てることができる。	・前時の発表を元にして、行ってみたい場所を相談して決める。 ・自然探検の持ち物や約束を決める。	・行きたい場所や探検方法などについて進んで話し合い、探検の計画を立てている。	・具体的なイメージを持たせる中で考えさせる。
5 6	まちをたんけんしよう1（しぜんたんけん）	・立てた計画に基づいて、自然と関わりをもち、探検を楽しむことができる。	・約束を守って探検に行く。 ・探検場所で植物や虫などを観察する。	・約束を守って探検を楽しみ、自然と積極的に関わろうとしている。	・一緒に探すなどして、関わりをもたせる。
7 8	たんけんで見つけたことを教えあおう	・探検1で見つけたものをカードにかき、教え合うことができる。	・探検で見つけたものをカードにかく。 ・カードを使って友達に発表する。	・自分が見つけたものをわかりやすく発表できるように意欲的に表現しようとしている。	・絵や写真などを活用させる。
9	たんけんの計画を立てよう2	・探検のルールやマナーを考えたりして、探検の計画を立てることができる。	・探検で聞きたいことや見たいことをはっきりさせる。 ・マナーや約束、探検する順番などを決める。	・進んで話し合い、探検の計画を立てている。 ・探検場所で聞きたいことや見たいことをはっきりさせている。	・お店や公共の場があるので、マナーについて特に考えさせる。
10 11 12	まちをたんけんしよう2（ふれあいたんけん）	・自分たちで立てた計画に基づいて、グループで協力しながら、施設や人々と関わりをもち、探検を楽しむことができる。	・約束を守って探検に行く。 ・施設で聞きたいことを質問したり、見せてもらったりして地域の人と関わりをもつ。	・友達と協力しながら探検を楽しみ、町の人に積極的に関わろうとしている。 ・町には、たくさんの人や多くの施設があることに気づいている。	・安全面に気をつけながら探検をする。 ・積極的に関わられるように支援する。

13 14 15	見つけたことを教え合おう	・町探検で見つけたことや気づいたことを友だちと交流しながら、上之郷に愛着をもつことができる。	・町探検で見つけたことや気づいたことをまとめる。 ・まとめたものをもとにして、交流する。	・意欲的に表現しようとしている。 ・自分で発表したり、友だちの発表を聞いたりして、上之郷のよさに気づいている。	・絵や写真などを活用させる。
16	おれいの手紙を書こう	・お世話になった方にお礼の手紙を心を込めて書くことができる。	・探検で分かったことや感想を入れたお礼のお手紙を書く。	・お世話になった方に感想などを伝えながらお礼の手紙を書くことができる。	・個別に感想を聞くなどして、支援する。
17 18	たんけんの計画を立てよう3（やさしさ見つけ・元気見つけ）	・ルールやマナーを考えて、探検の計画を立てることができる。	・一緒にしたいことや聞いてみたいことをはっきりさせる。 ・マナーや約束などを決める。	・一緒にしたいことや聞いてみたいことをはっきりさせて、探検に意欲的に関わろうとしている。	・お年寄りに対する言葉遣いに配慮させる。
19 20 21	やさしさ見つけ・元気見つけをしてこよう	・地域の方と触れ合いながら、やさしさや元気に気づくことができる。	・卓球同好会の方と活動したり、インタビューしたりする。 ・公民館や郵便局のやさしさを見つけてくる。	・地域の方と一緒に活動したり、お話を聞いたりする中で、やさしさや元気に気づくことができる。	・積極的に活動できるように働きかける。
22 23	見つけたことをまとめて交流しよう	・探検で気づいたことをまとめ、交流し、上之郷に愛着をもつことができる。	・やさしさ、元気を、それぞれ分かりやすくまとめる。 ・学級で交流する。	・まとめたことを、分かりやすく交流する中で、上之郷のよさに気づくことができる。	・絵や写真などを活用させる。
24	お礼の手紙を書こう	・お世話になった方にお礼の手紙を心を込めて書くことができる。	・探検で分かったことや感想を入れたお礼のお手紙を書く。	・お世話になった方に感想などを伝えながらお礼の手紙を書くことができる。	・個別に感想を聞くなどして、支援する。

2 中心授業

本時の位置 19、20/24

本時のねらい 卓球同好会の方々と一緒に活動をしたり、インタビューをしたりして、上之郷の方の元気さや優しさに気づくことができる。

	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助
つ か む	<ul style="list-style-type: none"> ○探検のマナーや約束・役割分担の確認をする。 ・相手のことを考えて、言葉遣いに気をつける。 ・いっぱい元気さや優しさを見つけてくる。など 	<ul style="list-style-type: none"> ・途中で出会った方に対するあいさつを忘れずさせる。
ふ か め る	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> たつきゅう同好会の方とたくさん活動したり話したりして、やさしさや元気さを見つけよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつをして、探検の目的などを伝える。 ○各務さん（卓球の代表の方）の話を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> ・卓球同好会の始まりや具体的な活動の様子など。 ・各務さんの様々な挑戦の話。 ○グループに分かれて、一緒に卓球をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・玉の持ち方や打ち方、ラケットの持ち方・ルールなどを教えてもらいながら、一緒に卓球をする。 ・得点を入れて、簡単なゲームをして楽しむ。 ○インタビューをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・卓球をどうして始めたのか。 ・卓球をやっている楽しいことはどんなことか。 ・始めてどのくらいになるのか。 など ○卓球をしてみえる活動の様子を見学する。 <ul style="list-style-type: none"> ・打つ球がとても速くて、びっくりした。 ・球が低くて、ネットすれすれの所を通っていく。 ・自分たちがやっているときとは、球の勢いが全然違う。びゅっととんできて、見ていて怖いくらい。 ・ラリーが何度も続いていてすごい。 ・スマッシュが速くてかっこいい。できるようになりたい。 ○今日のまとめ <ul style="list-style-type: none"> ・感想とお礼の言葉を言う。 	
ま と め る		<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考えてきたことを積極的に質問できるように働きかける。 ・一人だけでなく、何人にも聞いてメモをさせる。 ・活動の様子を見ていて、気づいたことや思ったことをつぶやきながら、児童にも気づかさせる。 ・はっきりと自分の思いを話させる。

③第3学年

1 単元指導計画		単元名 わたしたちのまち みんなのまち		小単元 町のようす	
時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	町全体の様子の調べ方を考えよう	・町の写真や地図から、町の様子の違いを調べる方法を考え話し合うことができる。	・町の写真から、土地の使われ方の違いを話し合う。 ・地図と写真を見比べて、地域に分けられている部分の特徴を話し合う。 ・歩いて調べられない部分の調べ方を話し合う。	・御嵩町の土地の様子やそれぞれの地域の様子に関心をもてる。	・写真と地図の観見方の視点を与える。
2	店や役所の多いにぎやかなところを調べよう	・御嵩駅付近の写真や地図から、にぎやかなところが国道沿いに移ってきたことがわかる。	・御嵩駅付近の写真や聞き取り調査から、昔の様子を知る。 ・国道沿いの写真から、現在の様子を知る。 ・国道沿いが発展し、にぎやかなところになったわけを考える。	・にぎやかなところが国道沿いに移ってきたことや車の影響を考慮することができる。	・昔と今の御嵩駅付近・国道沿いの写真を見比べることができるよう、写真を用意する。
3	工場が集まっているところを調べよう	・国道沿いや工業団地にたくさん工場ができたことがわかる。	・写真より、御嵩町の南側に、広い平らな土地があることに気付く。 ・工場ができる条件を考える。 ・国道に沿ってある工場を確かめる。	・工場を建てるのに良い立地条件から、国道沿いや平芝工業団地に工場が多いことがわかる。	・工場に出入りするトラックの写真を用意し、立地条件に気付かせる。
4	田や畑の多いところを調べよう	・平らな土地や水が豊富にある可児川沿いに田や畑が多くあり、米やいろいろな作物を作っていることがわかる。	・田が多くある土地の特徴を考える。 ・川の豊富な水を使って米やいろいろな作物を作っていることを知る。	・可児川の豊富な水を利用して、協力したり工夫したりして米やいろいろな作物を作っていることがわかる。	・御嵩町の西方面で米や作物作りが盛んなことに気付かせる。
5	みどりの多いところを調べよう	・町の北と南には山が多く、その自然環境を生かして生活していることがわかる。	・上之郷の土地とその使われ方について話し合う。	・自然を生かしながら、農業・林業・観光業をしていることに気付く。	・児童の家の仕事について、紹介し合わせる。
6 7 8	わたしたちのまちを見学しよう	・社会見学に名鉄広見線やバスを使い、それぞれの特徴ある地域を見学・観察することができる。	・名鉄広見線御嵩駅周辺の様子を観察する。 ・国道沿いや工業団地を観察する。 ・明智駅周辺を歩き伏見の様子を観察する。 ・まとめる。	・御嵩町の様子や土地の使われ方の様子に関心をもてる。	・漠然と見ている児童に対しては観察の視点を与える
9 10	町のガイドマップをつくろう	・見学でわかったことを加えながら、町のガイドマップを作ることができる。	・ひとりひとり、絵や文を書いて、ガイドマップを作る。	・土地の使われ方や特徴を、見やすくわかりやすいガイドマップに表すことができる。	・2年生に見てもらって、感想をもらう。

2 中心授業

本時の位置 3 / 10

本時のねらい 国道沿いや工業団地に、たくさん工場ができたことがわかる。

	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助
つ か む	<p>○御高町の中央部分の写真から、どんなことが分かりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北のほうには、家がたくさんある。 ・写真の左下は、ゴルフ場だと思う。 ・緑が多い真ん中に、四角の茶色い部分がある。 ・そこには、家よりも大きな屋根のようなものがある。 ・田は小さな四角で区切られているけど、その茶色の所は区切られていない。本当に広い所だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目で見て、特徴的なことに着目して意見を言うよう指示する。 ・広い土地が工場の敷地であることや、大きな屋根が工場の建物であることを伝える。
ふ か め る	<p>○写真や地図から、工場の多くあるところについて考えを发表しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑が多いから、山の中だと思う。 ・工場は機械が動くとうるさいから、人の家の集まっているところではなく、山の中にあると思う。 ・大きな機械が必要だから、土地の広いところにあると思う。 ・山に広い平らな土地があるのかな？ ・山を削って作ったと、家の人から聞いたことがあるよ。 ・工業団地と言って、ぼくのお父さんはそこへ働きに行っているよ。ぼくも、ついて行ったことがあるよ。 ・すごくたくさん大きな工場があるし、すごくたくさんの人が働きに来ているそうだよ。 <p>○御高町の地図から、他にはどんな所に工場があるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上之郷小学校の近くに、NGK アドレックがあるよ。 ・御高町の真ん中あたりの国道沿いに、太陽社電気があるよ。 <p>○工場は、どんな所に作られることが多いのかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きな道沿いにあるよ。働く人が車で来るし、トラックで製品を運ぶからだよ。 ・可見市から、上之郷まで道路ができたよ。 ・車の排気ガスが出るから、山の中にあるんだと思う。 ・広い土地があると、工場を作りやすいんだね。 <p>○わかったことをまとめよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いつきの予想にならないように根拠を入れて考えをまとめるようにさせる ・考えつかない児童には、自分の身近なところに工場があったらどうかと投げかける。 ・家の人や、工業団地に働きに通っているという児童を前もって把握しておき、働く人の数や車の様子を聞いてくるように指示しておく。できたら写真を用意する。 ・働きに来る人の住んでいる地域から、国道21号線バイパスが便利だと気づかせる。 ・環境面から考えて、通勤方法は自家用車だけではないことに触れる。
ま と め る	<p>御高町には、山を削って広い所に工業団地ができています。また国道沿いにも工場があります。工場は、車で製品を運んだり仕事に通ったりするのに便利なところがいいということや、広い土地がある場所がいいということがわかりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最近では、便利だけでなく自然環境を大切にする意識をもって、工場を建てたり仕事をしたりにしていることに気づかせる。

④第4学年

1 単元指導計画 単元名 わたしたちのできるエコ

時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	温暖化って何？	・資料やグラフを使い温暖化の原因や温暖化によってわたしたちの生活にどのような影響があるか理解できる。	・平均気温が上昇していることに気づく ・温暖化と二酸化炭素の排出量に関係のあることに気づく	・二酸化炭素が増加し温暖化につながっていることが分かる ・温暖化を防ぐことは自分たちの生活と関係あることに気づく	・資料が読み取れない児童には写真から説明するよう促す
2	S T O P 温暖化	・温暖化の原因である二酸化炭素の排出を抑えるためには化石燃料の使用を控えることが必要だと気づくことができる。	・温暖化によって海面が上昇していることが分かる ・温暖化と石油の使用量に関係があることに気づく	・温暖化の影響が既にあらわていることが分かる ・温暖化を食い止めるためには石油の消費を抑えることが大切なることが分かる	・温暖化の影響の写真から温暖化防止は緊急の課題と感じ取らせる
3	自分のできるエコを考えよう	・石油の使用を少なくするためには電気の無駄使いをなくしたり空き缶の回収をしたりすることが大切だと分かり実践しようとする。	・できる限り車を使わないことや電気の使用量を減らすことがエコにつながることに気づく	・石油の消費を抑えるためには節電が有効であることに気づく ・わたしたちにできるエコがあることに気づき実践しようとする。	・多様な考え方の中から自分でできそうなエコにしぼって考えさせる
4	自分のできるエコを実践しよう	・家庭や学校の電気の使用を抑えるためにこまめに電灯を消したりすることが有効だと気づく。	・エコワットを使い、こまめにスイッチを切ることがエコにつながることに気づく	・エコワットを使用し、こまめにスイッチを切ることがエコにつながる言える	・エコワットの使い方は図を使い説明する
5	自分たちの行ったエコをまとめよう	・児童が実践したエコについて模造紙などにまとめ実践の振り返りと今後もエコに気を付けようとする意欲をもつことができる。	・各家庭で実践したことやその効果をまとめる ・自分たちの実践を他にも分かるようにまとめる	・自分たちで実践したエコを分かりやすくまとめることができる	・遠くのお客様にも分かるという視点でまとめさせる
6	自分たちのできるエコを発表しよう	・自分たちのエコについて学びまとめたことを見に来てくれたお客さんに発表することができる。	・まとめたことを分かりやすく発表する	・まとめたことを分かりやすく発表することができる	・主張したいことが分かるように発表させる

2 中心授業

本時の位置 3 / 6

本時のねらい 地球の温暖化を防止のためには石油の使用を少なくしたり電気の無駄使いをなくしたりすることが大切だと気づき、自分でできる温暖化防止の方法を実践しようとする事ができる

	学 習 活 動	指導・援助
つ か む	<p>前時の想起</p> <p>○温暖化の原因は何だったのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素が空にたまって、太陽の熱が出られなくなってしまうから ・二酸化炭素が自動車や物を燃やしてできるから <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>どうしたら温暖化の原因のとなる二酸化炭素の量が減らせるのだろう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時を想起させるため、前時の資料を掲示し、温暖化の原因となる排気ガスを減らすことが大切だと気づかせる
ふ か め る	<p>○自分の考えをまとめ、グループで交流してみよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車を使わず、電車やバスを使う ・近くは歩いていく ・石油製品はなるべく使わない <p>発電方法別の割合のグラフ提示</p> <p>○どんなことが分かりますか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火力発電が60%になっている ・火力発電では二酸化炭素が出てしまう。使う電気の量を減らせば二酸化炭素の量も減らせる ・電気の使用量を減らせば二酸化炭素の量も減らせる <p>○電気の使用量を減らすにはどうしたらいいのだろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こまめに電気を消す ・部屋にいないときは電気を消す ・昼間はカーテンを開けておき明るくする ・テレビをつけっぱなしにしておかない ・エアコンは暑すぎず寒すぎないくらいの気温にしておく(夏28℃、冬20℃) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な考えを出させながら、自分たちにもできるエコについて考えられるよう促す ・円グラフや%の意味が難しいので解説しながら考えさせる ・自分たちでできるエコを行うことが地球の温暖化につながることに気づかせる
ま と め る	<p>○今日のまとめをしてみよう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・エコに気を付けることは、温暖化防止につながる事が分かった。 ・自分の家でも電気をこまめに消し、電気の無駄使いにならないようにしたい。 ・今までの電気の使い方とエコに気を付けた使い方を比べてみたいと思いました。 </div> <p>○家庭で早速自分のできるエコを実践し、お互いに交流し合うことを告げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ができるエコについてまとめている児童を指名し発表させる。 ・実践の意欲が現れている児童に発表させ、家庭での実践化を図るようにする。

⑤第5学年

1 単元指導計画 単元名 わたしたちの生活と工業生産

時	単元	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	自動車販売店をたずねてみよう	自動車販売店で働く人々の工夫や努力についてすすんで調べることができる。	近くの自動車販売店を訪ねたり、自動車のパンフレットを持ち寄ったりして、調べてみたいことを話し合う。	自動車の作り方やそこで働く人々の工夫や努力に関心が持てたか。	☆注文通りに1台1台自動車がつくられていることに目を向けさせる。
2	自動車づくりのくふう	自動車生産の工程について写真資料やインターネットなどを活用して調べることができる。	自動車工場のある場所、工場場の大きさ、様子などを調べる計画を立てる。	自動車工場での生産の仕組みや働く人々の工夫や努力についてすすんで調べられている。	有効に調べ活動が進むように見学の視点について考えさせる。
3・4	自動車工場を見学しよう	自動車工場での生産の仕組みや働く人々の工夫や努力についてすすんで調べることができる。	工場見学をし、自動車の組み立ての順序、作業などの工夫を調べる。	自動車が生産・開発される様子やその過程での人々の工夫や努力についてわかったか。	工程や働いている人々の話などに注目して調べるようにする。
5	自動車の部品をつくる工場	自動車の部品が生産される様子やその過程での人々の工夫や努力についてわかる。	自動車のシートやシートに使われる部品をつくる工場の仕事の様子や工夫について調べる。	生産・開発される様子やその過程での人々の工夫や努力についてわかる。	指示書に従って部品をつくっていることに目を向けて調べるようにする。
6	消費者のもとへ運ばれる部品	調べ活動の中でわかったことや自分が考えたことをわかりやすくまとめることができる。	自動車をつくる部品が、ジャストインタイムで運ばれてくること、できあがった自動車は国内外に運ばれることを調べる。	調べ活動の中でわかったことや自分が考えたことをわかりやすくまとめることができる。	組み立てに必要な部品は、必要などきに必要量だけ運ばれてくることをとらえられるようする。
7	世界に広がる工場	世界の中での日本の自動車会社の工場場の発展やこれからの自動車開発について知る。	世界各地に増えている日本の自動車会社の工場場の様子や、現地生産の仕組みについて調べ、日本の工業について考える。	世界の中での日本の自動車会社の工場場の発展やこれからの自動車開発について理解できる。	日本の工業が世界とのつながりの中で発展してきていることに気づくようにする。
8	ハイブリッドカーの誕生	ハイブリッドカーなど、新しく開発されている自動車について興味・関心をもつ。	なぜハイブリッドカーが開発されたのか考え、話し合う。	ハイブリッドカーについて興味・関心をもち、情報を集めることができる。	ハイブリッドカーの実物から、様々な情報を集めるようにする。
9・10	ハイブリッドカー開発のひみつ	環境に優しい自動車を求める消費者の要求に応えるために工場場で働く人々が工夫・努力していることがわかる。	新しい自動車開発の工夫や努力、これからの車について調べる。	自動車会社の工夫や努力を理解し、私達自身も環境に関わる意識を高めることができる。	開発にかかわった人の話を中心に工夫や努力を考えるようにする。
11・12	これからの車社会	自動車などの工業生産が自分たちの生活を支えていることを考え、これからの生活に生かすことができる。	これからの自動車の開発、これからの世の中の変容について調べ、予想を立て考える。	工業生産が自分たちの生活を支えていることを考え、将来の工業生産のについて考えることができる。	自分の生活との関わりで考えるようにする。

2 中心授業

本時の位置 10 / 12

本時のねらい 環境に優しい自動車を求める消費者の要求に応えるために工場で働く人々が工夫・努力していることがわかる。

	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助
<p>つかむ</p> <p>ふかめる</p> <p>まとめる</p>	<p>○ガソリン車とハイブリッドカーの違いを発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン車はエンジンの音がするぞ。 ・ハイブリッドカーは音がしないなあ。 ・エンジンルームは、ガソリン車と随分と形が違うなあ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜハイブリッドカーが作られたのだろう。</p> </div> <p>○開発の苦勞や工夫</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>石油がなくなると今のくるはしれなくなってしまう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>今までは便利さを追求したけれど、人や環境に優しい車を求める人が増えてきた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【燃費の違い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガソリン車は1㍓あたり10km走るけれど、ハイブリッドカーは1㍓あたり30km走るんだ。 ・ハイブリッドカーはガソリンを使う量が少ないんだな。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【仕組みの違い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どのような仕組みの自動車を作ればいいのか」をたくさん話し合ったり研究したりしたんだなあ。 ・電気で動くモーターとガソリンで動くエンジンで動いていて、動き出すときはモーターで、走り始めるとエンジンで走るなんてよく考えたなあ。 </div> </div> <p>○今日のまとめをしてみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車会社でも、私達が環境にやさしい車を求めていることを知り、それに答えようと様々な工夫や努力をしていることが分かった。 ・私たちも普段の生活から環境を意識した生活をしていくことが大切だということがわかった。 </div>	<p>・前時の調査をもとに、今までの自動車とハイブリッドカーの違いを発表する。</p> <p>・違いから疑問を持ち、課題化する。</p> <p>・「資源の枯渇」、「自動車購入に関わる意識調査」の資料をもと自分の考えをノートに書く。</p> <p>・円グラフや%の意味が難しいので解説しながら考えさせる。</p> <p>・仲間の意見を自分の意見と比較したり、疑問に感じたりしたことをハンドサインを用いて反応することができる。</p> <p>【評価】</p> <p><u>自動車会社の工夫や努力を理解し、私達自身も環境に関わる意識を高めることができる。</u></p>

⑥第6学年

1 単元指導計画		単元名 わたしたちの上之郷			
時	本時の学習	ねらい	学習活動	評価規準	指導・援助
1	わたしたちの上之郷	上之郷には北切古墳のよ うな前方後円墳があつた り中山道という重要な街 道が通っていたりするこ とを知り上之郷のことを 更に深く知ろうとする意 欲をもつ。	○上之郷には6世紀 前半に前方後円墳 が作られたり、五 街道の一つの中山 道が整備されたり する重要な地域だ った。	・上之郷のこ とをもっと深く 知りたい、学 びたいとい う意欲をもつ ことができる。	・社会科学習 を想起させ、 中山道が重 要な街道で あつた事に 気づかせる。
2	上之郷で知 っていること	上之郷で知っている事 が少なく、実際に探検し なければ分からないこと が多いことに気づき、探 検の視点をもつことが出 来る。	○中山道が通ってい るだけでなく、和 宮の興入れのため 上之郷を通過した ことを知る。 ○詳しい事は調査中 だが、隠れキリシ タンが存在し上之 郷にその痕跡が多 いことを知る。	・普段見ている 上之郷のこと でも知らない ことが多いこ とが分かる。 ・上之郷探検を 通し、何を見 るのか、明ら かにすること は何かまとも な見学の視点 をもつことが 出来る。	・上之郷で知 っている事 を言わせる ことを通し て、逆に言 われや歴史 を知らない ことが多い ことを言わ せ見学の視 点を作る。
3 ～ 6	上之郷探検	前時に作った視点に基づ き、話を聞いたり道を歩 いたりして、中山道や上 之郷の歴史、人々の生き 方や生活の様子を考 えることが出来る。	○北切古墳の見学を 通し、上之郷に大 きな力をもつ豪族 が存在したこと に気づく。 ○中山道を実際に歩 くことを通し当時 に人々の様子や街 道の面影を知る。	・見たり聞いた りする探検を 通して分か りたことを プリントに メモするこ とが出来 る。 ・メモをもと に感想を書 くことが 出来る。	・漠然と見た り事実のみ を記述して いる児童に は、当時の 人々の気持 ちや思いを 考えさせる。 ・メモは端的 に書かせる。
7 ～ 10	上之郷探検 のまとめを しよう	上之郷探検を通して、自 分たちの学習課題を作り、 課題に沿って調べたりま とめたりすることが出来る。	○上之郷をテーマに 学習課題を立てる。 ・上之郷という視点 で調べたいことを 課題化する。 ・書籍や聴き取った こと等をまとめる。	・上之郷探検を もとに追求課 題を立てられ る。 ・調べ方が分か り、調べたこ とを分かりや すくまとめ、 発表の準備が 出来る。	・見たことの みのまとめ に終始して いるグルー プに対し、 新たな発見 を入れるよ う促す。 ・絵も入れる させる。
11	分かったこ とを交流し よう	仲間の発表から、上之郷 について新たに分かった ことやクラスの友だちの 発想を知ることができる。	○学級発表会 ・友だちに自分父 の調べたことを分か りやすく伝える視 点をもち様々な方 法で発表する。 ・グループ発表を聞 き、自分なりの感 想や意見を発表す る。	・友だちを意識 して、分かり やすく図や絵 などを提示し ながら発表す る。 ・友だちの発表 に対し自分な りの感想が言 える。	・メモをしな がら友だち の発表を聞 くようにさ せる。 ・調査の中身 だけでなく 発表の方法 の良さも話 させる。
12	上小タイム 発表会で上 之郷のこ とを全校に 発表しよう	上小タイム発表会で、6 年が調査した上之郷の歴 史や文化について全校 児童に分かりやすく発表 することが出来る。	○上小タイム発表会 ・1年から5年ま でに分かりやす く上之郷のこ とを伝えるた めに発表方法 を工夫できる。	・低学年が いることを 意識し分か りやすく図 を示したり 話すスピー ドを考 え発表 できる。	・聞く人を 意識し、話 すようにさ せる。 ・発表の感 想を言わ せるよ うにする。

2 中心授業

本時の位置 11 / 12

本時のねらい・友だちの発表から、上之郷に対して自分なりの考えをもち、上之郷の歴史に興味をもったり郷土に愛着や誇りをもつことが出来る。
 ・上之郷について新たに分かったことや発表の良さについて発表することが出来る。

	学 習 活 動	指 導 ・ 援 助
つかむ	○グループ発表を通して、自分たちが気づかなかった上之郷の歴史や文化、生活について学び合うことを確認する。	・本時はグループ発表を通して上之郷と自分たちとの関わりを知るだけでなく、他のグループの発表の良さを見つけることを確認する。
ふかめる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> それぞれのグループの発表を聞き、新しく分かったことや発表の良さを交流しよう。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・聞く人を意識して、分かりやすく発表しよう。 ・終わった後、考えが発表できるように、自分の考えと比べながら発表を聞こう。また、発表の仕方でも良かったこともメモして、発表してくれたグループに教えてあげよう。 <p>【北切古墳について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美濃の国で一番東にある ・6世紀前半頃出来たもの ・上之郷には宿や美佐野などにたくさん古墳があった。上之郷に有力な豪族がたくさんいたと考えられる。 <p>【隠れキリシタンについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和56年の工事中に十字架が刻まれた石製品が発見され、隠れキリシタンがいた事が分かってきた。 ・どうやって上之郷にキリスト教が伝わったかよく分かっていない。 ・水神様の形の十字架がある。 ・石垣の中に十字架を刻んだものも発見されている。 ・昔あったお寺（幸福寺）には「南無阿弥陀仏」と刻むはずが「南無阿弥絶仏」と刻んであり、これも隠れキリシタンが作った証拠と言われている。 <p>【中山道と上之郷の関わりについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天保2年(1831年)には12代将軍家定に興入れするため有君の行列が通っている。 ・文久元年(1861年)には14代将軍家重に興入れするため、和宮の行列が通った。4～5000人の行列で、4日かけて通過した。 ・中山道は女の人も通過しやすかったため和宮の行列が通った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモに夢中にならないよう最小限の記録をとることを心掛けるよう促す。 ・自分の気づかなかったことや新しく分かったことやを中心メモさせる。 ・発表の良さについては、教師が適宜評価を与える。
まとめる	○今までの発表から上之郷について自分の考えを発表しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・中山道は歴史に出てくる有名人が通っていてすごいと思った。それだけ重要な街道だと分かりました。 ・歴史の勉強でキリシタンや鎖国のことは習ったけど、上之郷に隠れキリシタンがいたなんて驚いた。 ・古墳は教科書や資料集で勉強することだと思っていたけど、上之郷も歴史の一部なんだと思った。 ・どのグループも分かりやすく発表してくれたので、歴史は自分たちの生活ともつながりが深いことが分かった。 ○今日の勉強を振り返ってみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・上之郷の歴史や文化を学ぶ事と日本の歴史がつながっている。この上之郷の素晴らしさを感じた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数なので全員の見つけたことを話させる ・上之郷の歴史と中央の歴史がリンクしている事に気づかせる。 ・上之郷の歴史の深さに気づかせ誇りをもたせるとともに先人のお陰で今日の上之郷があることにも気付かせる。

2.2.2 御嵩小学校

(1) 授業概要

御嵩小学校における学習の全体計画を表 2.2.2 に示す。

表 2.2.2(1) 御嵩小学校における交通・環境学習の概要

学年	単元名	教科	学習のねらい	学習の構成	備考
1年	はっぱのいろがかわったよ～みたけのあきとあそぼう～	生活科	みたけの身近な自然とのかかわりに関心を持って、自分なりの方法で楽しく活動することができる。 気付いたことや見つけたこと、工夫したこと等について、あいて意識をもって発表の仕方を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・あきを見つけよう ・あきのおくりもので遊ぼう ・みんなで楽しもう 	
2年	どきどきわくわくまちたんけん～わたしのまちをたんけんしよう～	生活科	御嵩町の人や場所、自然に関する活動の楽しさを味わうとともに、それらを通して気付いたことや楽しかったこと等について、自分なりの方法で表現する。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちのひみつを見つけに行く計画をしよう ・町のひみつを見つけよう ・見つけた「まちのひみつ」を教えあおう ・たんけんの計画を立てよう ・自分が知りたい「まちのひみつ」を見つけに行こう ・「まちのひみつ」発表会をして、まち博士になろう 	歩き、発見
3年	見よう！聞こう！森へゴー！～とびだせ自然たんけんたい～	総合的な学習の時間	自然豊かな「みたけの森」自然たんけんを通して、人々の願いや貴重な植物を知る。また、自分たちだけのみたけの森たんけんを通して、貴重なみたけの森の自然を守りたいという気持ちをもつとともに、環境を守ることが重要であることを伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・みたけの森たんけんの計画を立てよう ・みたけの森たんけんをしよう ・みたけの森で見つけたことやわかったことをまとめよう ・みたけの森たんけんでわかったことを発表してみんなに知らせよう 	
4年	きょう土に伝わる願い～乗って残そうふるさとの電車～	総合的な学習の時間	鉄道敷設に懸ける先人の願いや努力を知り、利用客や鉄道会社の人のお話を聞くことで様々な立場の人がいることに気付き、自分たちには何ができるか考え、それを他者へ発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・御嵩駅から電車に乗って新しい発見をしよう ・電車に乗って分かったことや不思議に思ったことを交流しよう ・みたけ町の交通の歴史を学ぼう ・みたけの交通の歴史についてわかったことを交流しよう ・鉄道を利用している人や駅員さんは、いまどんな思いをしているのだろう <p>私たちには何ができるかを考えて発信しよう</p>	広見線乗車体験 御嵩駅利用者インタビュー

表 2.2.2(2) 御嵩小学校における交通・環境学習の概要

学年	単元名	教科	学習のねらい	学習の構成	備考
5年	大好き、御嵩	総合的な学習の時間	御嵩の身近な自然環境や社会環境、交通について、調査・観察して調べ、環境の意識を高めたり自然を守ろうとする態度を育む。調査結果をもとに御嵩の自然環境を守るために自分にできることは何かを考え、目的に応じた方法で発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・みたけの町探検計画を立てよう ・コース別に調査、見学をしよう 可児川(水質、生物など) 道(交通量、空気の汚れ) 森(植物、生物) ・調査結果をグラフや表にまとめよう ・環境のために私たちができることを考えよう ・情報発信をしよう 	川(水質、生物)、道路(交通量、排ガス)、森(植物、生物)調査
6年	御嵩町の歴史の扉を開こう	総合的な学習の時間	御嵩町の歴史や人々の生活と「中山道」とのかかわりについて関心を持ち、見学、インタビュー、調査など多様な手法で情報を収集整理してとりまとめ、中山道と御嵩町に対する考えを発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ・中山道の史跡を見学しよう ・史跡でインタビューをしよう ・中山道と御嵩町のかかわりの課題を決めよう ・グループで調べたことをまとめよう ・中山道を歩こう 御嵩町の歴史と中山道のかかわりをグループでまとめて発表しよう	

(2)授業実施状況

1年生 あきみつけにいこう

御嵩小学校の近くにある若宮神社・愛宕神社・白山神社へ歩いて出かけ、秋みつけにいきました。それぞれの神社で、どんぐりや落ち葉などをひろいました。春や夏とは違う秋の自然のよさを感じてきました。学校に戻ってからは、拾ってきた落ち葉やどんぐりを使って楽しい秋のおもちやをつくり、みんなで楽しく遊びました。遊びを通して、秋のよさを感じることができました。



▲秋の実や葉をみつける1年生

2年生 町の人に会いに行こう

2年生はグループごとに探検したい御嵩の場所を決めて歩いて探検しました。町の施設や風景などいろいろな様子を見学してきました。特に、みつけた施設では、見学したり、働く人たちの様子や気持ちについておはなしをお聞きしたりしてきて温かいふれあいができました。探検でみつけてきた秘密については、みんなの前で発表して交流しました。御嵩の町や人々の温かさがたくさんみつけられました。



▲お店の人に質問をする2年生

3年生 みたけの森探検

3年生は、春と秋の2回、みたけの森に行って自然探検をしました。地域のボランティアの方々からささゆりをはじめ、季節の植物の名前や特徴などについて教えていただきました。学んだことは、「2年生に伝えたい」という願いの元、わかりやすく教え、「みたけの森」の自然のよさを伝えることができました。ボランティアの皆さんの中には、この活動に共感し、何年も続けて指導してくださる方もみえます。自然探検後は、ボランティアの皆さんにお礼の手紙を書いたりして交流を続けています。



▲2年生に御嵩の森のよさを伝える3年生

4年生 人にやさしい 広見線につい

4年生は、総合的な学習の時間で『くらしにやさしい 人にやさしい あったかハート』のテーマの元、交通環境学習として広見線を学習しています。実際に名鉄広見線を利用して可児市まで出かけ、電車の利用状況を調べてきました。活動を通して、電車を利用するよさを発見する貴重な体験となりました。その後は、「名鉄広見線を残したい」という願いを込めたポスターを一人一人が製作し、地域に掲示してもらいました。



▲4年生電車乗車体験

5年生 御嵩町の環境調べ

5年生は、「御嵩町の亜炭」「可児川の生き物」「御嵩町の大気汚染」の3つのグループに分かれて、御嵩のよさや環境について調べました。亜炭については、御嵩町で昔どんな風に採られたか、可児川については、実際に川の生き物を採ってどんな生き物がいるかを調べました。大気汚染については、御嵩町のあちこちで二酸化窒素の量を計測しました。こうした活動を通して御嵩町の美しい環境を守りたいという願いを持つことができました。そのために、電車や自動車の使い方を考えることができました。



▲大気の汚れを調べる5年生

6年生 御嵩の歴史 中山道探検

6年生は、中山道御嵩宿を実際に歩いて当時からあった謡坂の石畳、馬頭観音、陣屋跡を見ってきました。また、昔の中山道をどんな人たちが通ったかについても調べ学習をしました。2学期は、願興寺、愚溪寺に見学に行き、東山道があったおかげで寺ができたことを知りました。寺を通して京都の石庭とのつながりや薬師如来についても知りました。更には中山道の東の馬籠宿も見学をして、当時の中山道の雰囲気を知り道は人々とかけがえのない関係があることを学びました。



▲馬籠宿を見学する6年生

(3)単元指導計画

①第3学年

御嵩小学校3年生 総合的な学習の時間

見よう！聞こう！森へゴー！

～とびだせ自然たんけんたい～

活動計画

	学習活動内容	ねらい
6月8日(水)	みたけの森自然探検(1回目) ○みたけの森自然探検 ～春のビンゴに挑戦～ *名人さんと一緒に活動する。 ササユリを中心に、名人さんに教えてもらいながら歩く。 ○探検についてカルタにまとめる。 ○聞いてみたいことを書く。 ○名人さんとの交流会 *もっと知りたいことを質問したり、お話を聞いたりし、みたけの森の自然をより知る。	○御嵩町の自然について興味関心をもつことができる。 ・ササユリは10年でやっと花がさくんだ。御嵩で大切にされていることがわかったよ。 ・わたしも名人さんみたいに、自然についてくわしくなりたいな。 ・今度は自分でビンゴを作ってみたいな。
11月9日(水)	みたけの森自然探検(2回目) ○みたけの森自然探検 ～秋のビンゴを作るための材料集め～ *名人さんと一緒に活動する。 秋の自然を名人さんに教えてもらいながら、ビンゴの材料を集める。 ○探検についてカルタにまとめる。 ○聞いてみたいことを書く。 ○名人さんとの交流会 *もっと知りたいことを質問したり、お話を聞いたりし、みたけの森の自然をより知る。 ○見つけた自然についてのメモを整理する。 ○自分だけのみたけの森ビンゴを作る。	○わかったことを自分なりに整理して、みんなにわかりやすく発表することができる。 ・いろいろなみたけの森の自然を見つけることができたよ。 ・早く2年生にみたけの森のことを紹介したいな。
11月25日(金)	みたけの森自然探検(3回目) ○みたけの森自然探検 ～2年生にビンゴに挑戦してもらい、みたけの森を紹介する～	○みたけの森の自然について、ビンゴをしながら、下級生に伝えることができる。 ・2年生とみたけの森の自然を楽しむことができたよ。名人さんみたいに案内することができたよ。

みたけの森自然探検日の流れ

- 8：15 学校出発
9：00 自然名人さんにご挨拶
探検始め
11：00 探検終わり（駐車場集合）
自然名人さんにご挨拶
11：15 みたけの森出発
12：00 学校到着
- （5時間目 各学級で探検のまとめ カルタ・質問まとめ）
- 14：50 名人さんとの交流会
（場所：3年生ワーク）
～15：30



写真 2.2.1 御嵩の森自然探検 秋

②第4学年

平成23年度4年生総合学習年間計画

〈テーマ〉 「あったかハート」

〈めざす姿〉

・地域のゴミにかんする問題や福祉にかかわるとりくみの内容を知り、住みよい地域にするにはどんな方法があるか調べ、分かりやすくまとめたことをみんなに伝えることができるようになる。

・目や耳、体の不自由な人との交流方法を考える活動や体験活動を通して、バリアフリーの見方や考え方を高めていく。

・福祉に関心を持ち、自分ができることを積極的に行っていこうと努力する。

〈年間計画（予定）〉

4月 オリエンテーション（総合学習について、何をいつ、どのように学習していくかの説明を受け、見通しをもつ。）

飼育活動（生き物へのやさしさ）

5月 パッカー車見学

ささゆりクリーンパーク見学（環境へのやさしさ）

6月 御嵩町での環境を守る取り組みを調べる。

御嵩町環境白書

7月 自分ができることを考える。

環境整備マーク・ポスター作り

（夏休み）：福祉体験

9月 人へのやさしさを考える。（人へのやさしさ）

点字学習

10月 点字・手話についての調べ学習

点字体験、福祉ボランティアの方との交流

11月 広見線の乗車体験

広見線の歴史や広見線を引くのに地域の人たちがどのような願いをもっていたかを調べる。（地域へのやさしさ）

12月 発表会

広見線への自分の思いを表したポスター作り

1月 車いす、高齢者、アイマスク体験

2月 3年生へ飼育や「あったかハート」を伝える。（下級生へのやさしさ）

3月 「あったかハート」をまとめる。

※ほかに、英語学習を学期に1時間ずつ、年3時間。鑑賞教室、情報学習（パソコンなどの情報機器の学習）などを行う。

(参考)御嵩小学校の「交通環境学習」

交通・環境学習で 歩いて楽しい御嵩町づくりを！

御嵩町立御嵩小学校

①「交通・環境学習」のめざすもの 【交通エコロジー・モビリティ財団より】

「交通」は、私たちの日々の生活活動に深く結びつき、便利で豊かなくらしを実現するために、特にクルマの利用が増大しています。しかし、モータリゼーションによるさまざまな負の影響とともに、沿道環境の悪化や地球温暖化問題の主原因の一つとして、問題解決への取り組みが強く要請されています。一人一人の便利で豊かなくらしの追求は、逆に、公共面、社会的に、ひいては地球環境を悪化させていることを勘察しますと、社会的、地球的視野に立って、私たちのライフスタイルを適正にしていける必要があるのです。

「交通・環境学習」のめざすもの 環境にやさしいバス、電車などの公共交通を利用しましょう。

②日常生活の中に課題を見つけるよう身近な環境改善の視点を持つ

「御嵩町学校教育の重点」の「環境教育」の重点実践項目「日常生活の中に課題を見つけるよう、身近な環境改善の視点を持つ指導をする。」に取り組むためには、児童生徒に分かりやすく、日常的に実践可能な「身近な環境改善の視点」を明確にすることが重要です。

そこで、平成17年3月に策定された「御嵩町環境基本計画」を参考にしました。「御嵩町のめざす環境像」は将来（おおむね20年後）、御嵩町を「こんな環境の町にしたい」という町民・事業者・町の「思い」を言葉として表したものです。めざす環境像を実現するため、次の4つの「環境目標」と「将来の環境イメージ」を掲げています。この「将来の環境イメージ」の内容を、「交通・環境学習」のめざすものの視点から洗い出し、「身近な環境改善の視点」を明確にしてみました。

御嵩町のめざす環境像 自然と共生し 歴史・文化を未来にひきつく 聖山のまち みたけ

【環境目標1】 豊かな自然をほくくむまち

将来の環境イメージ

- ・里山が保全されて、美しい風景が残されている。また、山菜や松茸をたくさん採ることが出来る。
- ・森林には落葉樹が多くなり、クワガタやカブトムシが棲んでいる。
- ・自然林が多くなり、森林浴やパードウォッチングが楽しめる。
- ・希少動植物をはじめとした多様な動植物を町内で見る事が出来る。
- ・可見川や各支流域でホタルの乱舞が見られる。
- ・自然を守る地域が定められ、動植物の生息・生育地が守られている。
- ・可見川が整備され、多くの親水公園で子どもたちが水に親しんで遊んでいる。
- ・有機栽培が盛んになり、地産地消が進んでいる。

【環境目標2】 安心とやすらぎがあるまち

将来の環境イメージ

- ・自動車の騒音、振動に悩まされず、穏やかに生活ができる。
- ・農薬や除草剤の使用が制限され、適正に使用されている。
- ・数多くの史跡が残され、多くの人が訪れている。
- ・伝統文化が継承されている町になっている。
- ・ごみが落ちていないきれいな町になっている。
- ・可見川の水辺で散歩を楽しむことができる。
- ・町のいたる所に、気軽にいくことができる公園がある。
- ・人にやさしい（安全、歩きやすい）道路が整備され、町民が楽しく歩いたり、自転車に乗って移動したりしている。

【環境目標3】 地球環境にやさしいまち

将来の環境イメージ

- ・自転車や公共交通機関を利用する人が増えている。
- ・町を走る車の多くがエコカーとなっている。
- ・多くの家庭で、太陽光発電などの自然エネルギーを利用している。
- ・水資源の有限を自覚し、雨水の利用や水道水の節約と再利用に取り組んでいる。
- ・買い物に出かける時は、皆が買い物かごや袋を持っている。
- ・生ごみが堆肥化などにより有効活用されている。
- ・バザーや不要品交換会が週一回実施されている。
- ・故障した物を安価で直したり、いらなくなった物を交換したりできるネットワークができています。
- ・デポジットにより、使用済みの容器などが再利用されている。

【環境目標4】 環境について考え行動するまち

将来の環境イメージ

- ・環境学習の機会が増え、地域や企業でも環境学習が実施されている。
- ・環境教育が盛んで、幼児期から中学・高校まで実施されている。
- ・里山での清掃活動、森林の保全活動、ため池の整備など、身近な自然を保全する活動が盛んになっている。
- ・自治会などの住民主体型の環境保全活動が展開されている。
- ・近接市町村との環境に関する相互交流が盛んになっている。
- ・企業による環境保全活動が活発になっている。

・自動車の騒音、振動に悩まされず、穏やかに生活ができる。

・人にやさしい（安全、歩きやすい）道路が整備され、町民が楽しく歩いたり、自転車に乗って移動したりしている。

・自転車や公共交通機関を利用する人が増えている。

・町を走る車の多くがエコカーとなっている。

身近な環境改善の視点 ・近頃は、歩くか、自転車で行きましょう。

・クルマの使い方を見直しましょう。（エコドライブ等）

「歩き・み・ふれる」活動を通して 交通環境学習の推進を！

交通・環境学習 実践研究構想図

可児郡御嵩町立御嵩小学校

<p>国の方針(環境教育) 【教育基本法】 第2条4 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。 【学校教育法】 第21条2 学校内外における自然体験活動を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>御嵩町学校教育の方針と重点 郷土誇りを教し、人間性を高め児童生徒の育成 【めざす子どもの姿】 ○進んで…自立力 ○友だちと…共働き力 ○工夫して…創造力 ○生み出す…自己実現力 【学校教育の役割】 「生きる力の基礎づくり」 ①確かな学力(知) ②豊かな人間性(徳) ③健康と体力(体) 【4つの教養点】 ①教科指導 ②環境教育 ③人権教育 ④健康教育</p>	<p>学校課題 ○ 地域に根ざした教育を推進し、ふるさとを愛する心を育てる学校 1 学ぶ喜びをもち、基礎・基本を確実に身に付ける学校 2 豊かな心をもち、全ての子どもが存在感を味わう学校 3 健やかな体をつくり、安全な生活を送る学校</p>
--	---	---

◆学校の教育目標

のびよう きたえよう せいいっぱい

<p>みんなで学ぼう まなびの会 ・学習規律を守り、学び方を身につけた子 ・課題を見つけ、自分なりの見通しをもち、自ら進んで学ぶ子 ・自分の思いを生かすことを表現し、工夫して伝え合う子 ・仲間と共に学習を振り返る子</p>	<p>たすけあおう たかめいの会 おもいの会 ・心をつなぐ、みんなで協力し、やりとげる子 ・自分たちの手で計画・実践・反省し、次に生かす子 ・自分たちの問題を自分たちで解決する子 ・集団の一員として自分を活かす子 ・自分をみつめ、よりよい生活をつくり出す子 ・自分のよさ、人のよさが互いにわかる子 ・互いに認め、励まし合う友達関係を築く子 ・明るく元気なあいさつをする子</p>	<p>けんこうな子 みがきの会 ・自分の体を知り、自ら進んで運動に励む子 ・危険を予知し、安全な生活を送る子 ・歯と口の健康づくりに取り組む子 ・性に対する健全な意識をもつ子</p>
--	---	--

◆環境教育の重点

日常的な環境素材を基に、身近な環境や今日的な環境問題への関心や理解を深める。御嵩町がめざす、再生可能な地域資源を有効活用する「自然と人間が共生する新たな循環型地域社会の形成」への理解を深める。身近な環境素材を基に、物質資源やエネルギー等の無駄を省き低炭素社会をめざし、豊かな生活が送れる社会が築けるよう、啓発をする。
【実践項目】
◎日常生活の中に課題を見つけるよう、身近な環境改善の視点を持つ指導をする。
○ゴミの削減や分別回収、紙の再利用等、身近な環境問題の改善に努める指導をする。

◆交通・環境学習の目的

・児童一人一人が、交通や環境の問題を自分自身の問題として捉える。
・身近な日常生活や地域の問題から交通を考える。
・観察、実験等の体験を通して日常生活や行動を見直し、できることから行動を開始する。
・その行動が環境問題や交通問題の解決に貢献できるという喜びを実感する。
【交通エコロジー・モビリティ財団より】

◆実践研究主題

主体的に御嵩の自然や社会に働きかけ よい生活を目指す子の育成
「生活科」「社会科」「総合的な学習の時間」での交通・環境学習を通して

◆つきたい力

<p>親しむ 身近な交通・環境に触れたり、遊んだり、利用したりする活動を通して、地域の交通・環境に親しみ、よさを感じる。 興味・関心、感受性</p>	<p>見つけ・考える 身近な交通・環境について、自ら問題を見つけ、観察・調査を行い、考え・判断したことを自分なりに表現する。 問題設定力、思考力、判断力、表現力</p>	<p>働きかける 身近な交通・環境問題に対して、自ら責任ある行動をとり、仲間と協力して問題解決に向けて実践する。 実践力、行動力</p>
---	---	---

◆実践研究仮説

身近な交通・環境について、児童の実態や地域の実情を踏まえ、つきたい力や評価規準を明確にした指導計画を作成し、自ら問題を見つけ、自ら考える問題解決学習の指導や実践への意欲につながる評価を工夫改善すれば、主体的に御嵩の自然や社会に働きかけ、よりよい生活を目指す子の育成につながる。

◆実践研究内容

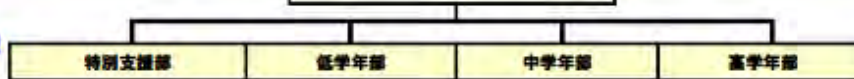
◆研究内容1 指導計画の作成
・児童の実態及び地域の実情を踏まえた教材の見直し
・つきたい力及び評価規準の明確化

◆研究内容2 指導方法の工夫改善
・自ら問題を見つけ、自ら考える問題解決学習の在り方

◆研究内容3 実践への意欲につながる評価
・自己評価と相互評価の在り方
・実践へのつながり

学習・特活指導部…学習づくり委員会

◆実践研究組織



平成23年度 環境教育全体計画

可見郡御嵩町立御嵩小学校

<p>国の方針(環境教育)</p> <p>【教育基本法】 第2条4 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。</p> <p>【学校教育法】 第21条2 学校内外における自然体験活動を促進し、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p>	<p>御嵩町学校教育の方針と重点</p> <p>【御嵩町学校教育の方針】 生きがいを共生をもめず人 生きる力の基礎づくり</p> <p>【4つのめざす子どもの姿】 ○自立力…進んで ○共生力…支だちと ○創造力…工夫して ○自己実現力…生み出す</p> <p>【生きる力の3要素】 ①豊かな学力 ②豊かな人間性 ③健康と体力</p> <p>【4つの教育重点項目】 ①教科指導 ②環境教育 ③人間性と教育 ④健康教育</p>	<p>学校課題</p> <p>◎ 地域に根ざした教育を推進し、ふるさとを愛する心育てる学校</p> <p>1 学び喜びをもち、基礎・基本を確実身に付ける学校</p> <p>2 豊かな心をもち、全ての子どもが存在感を味わう学校</p> <p>3 健やかな体をつくり、安全な生活を送る学校</p>
--	---	---

◆学校の教育目標 のびよう きたえよう せいいっぱい			
<p>みんなが学びたい</p> <p>まなび合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習規律を守り、学び方を身につけた子 課題を見つけ、自分なりの見通しをもち、自ら進んで学ぶ子 自分の思いを生かして表現し、工夫して伝え合う子 仲間と共に学習を振り返る子 	<p>たかめ合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 心をついに、みんなで協力し、やりとげる子 自分たちの手で計画・実践・反省し、次に生かす子 自分たちの問題を自分たちで解決する子 集団の一員として自分を生かす子 	<p>おもい合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分をみつめ、よりよい生活をつくり出す子 自分のよさ、人のよさが互いにわかる子 互いに認め、励まし合う友達関係をつくる子 明るく元気なあいさつをする子 	<p>けんこう学びたい</p> <p>みがき合い</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の体を知り、自ら進んで運動に励む子 危険を予知し、安全な生活を送る子 歯と口の健康づくりに取り組む子 性に対する健全な意識をもつ子

◆環境教育の重点	◆交通・環境学習の目的
<p>日常的な環境素材を基に、身近な環境や今日的な環境問題への関心や理解を深める。御嵩町がめざす、再生可能な地域資源を有効活用する「自然と人間が共生する新たな循環型地域社会の形成」への理解を深める。身近な環境素材を基に、物質資源やエネルギー等の無駄を省き低炭素社会をめざし、豊かな生活が送れる社会が築けるよう、啓発をする。</p> <p>【実践項目】 ◎日常生活の中に課題を見つけるよう、身近な環境改善の視点を持つ指導をする。 ◎ゴミの分別や分別回収、紙の再利用等、身近な環境問題の改善に指導をする。</p>	<p>【交通エコロジー・モビリティ財団より】 ・児童一人一人が、交通や環境の問題を自分自身の問題として捉える。・身近な日常生活や地域の問題から交通を考える。・観察、実験等の体験を通して日常の生活や行動を見直し、できることから行動を開始する。・その行動が環境問題や交通問題の解決に貢献できるという喜びを実感する。</p> <p>・環境にやさしいバス、電車などの公共交通を利用する。 ・通いごころは、まっか、自転車で行く、クルマの使い方を考える。</p>

◆めざす子ども像 **主体的に御嵩の自然や社会に働きかけ よりよい生活を目指す子**

◆つきたい力	◆観しむ	◆見つけ・考える	◆働きかける
<p>身近な交通・環境に触れたり、遊んだり、利用したりする活動を通して、地域の交通・環境に親しみ、よさを感受する。</p> <p>興味・関心、感受性</p>	<p>身近な交通・環境について、自ら問題を見つけ、観察・調査を行い、考え・判断したことを自分なりに表現する。</p> <p>問題解決力、思考力、判断力、表現力</p>	<p>身近な交通・環境問題に対して、自ら責任ある行動をとり、仲間と協力して問題解決に向けて実践する。</p> <p>実践力、行動力</p>	

◆場と方法	各教科の指導	道徳の指導	特別活動の指導	総合的な学習の時間の指導
<p>◎豊かな感受性を育成する。 ◎具体的な活動や体験を重視する。 ◎身近な問題を重視する。</p> <p>《国語》環境教育の視点を踏まえた教材の選定を図り、自然に対する感受性を養う。 《社会》ひとりの人間として、よりよい社会や環境をつくりだす行動力を育成する。 《算数》数学的な思考力、判断力や表現力を育て環境問題に関する事象を合理的、論理的にとらえ表現できる能力を育成する。 《理科》可能なかぎり自然に親しむ活動を取り入れ自然から直接学ぶ経験を通して、科学的な見方や考え方を育成する。 《生活》自然に親しみ、その素晴らしさを感得できる心を持って共に環境とのかかわり方を学ばせる。 《音楽》表現及び鑑賞の活動を通して、児童一人一人に豊かな情緒を養う。 《図工》表現及び鑑賞の活動を通して、児童一人一人に豊かな情緒を養う。 《家庭》衣食住に関する具体的な実践活動を通して、環境とのかかわり方を理解させ環境問題を解決しようとする実践的態度を育成する。 《体育》日常生活における病気と環境の関係やよい環境状態を取り上げ、人間の健康は生活習慣や自然環境と深くかかわっていることを理解させる。</p>	<p>◎環境の保全や環境問題の解決に対して責任を自覚し、主体的にかかわることのできる心情と実践的な行動力を養う。</p> <p>◎環境倫理に裏付けられた人間としての生き方についての自覚を深める。 ・環境問題は、人間をはじめ生命あるものすべてにかかわる。 ・人類が過去から引き継いだものであり、未来に対して大きな責任をもつ。 ・地球全体にかかわることである。</p> <p>《特に関連する内容項目》ア、自然とのふれあいイ、生命の尊重ク、節度と節制ニ、親切と思いやリカ、郷土愛と国際貢献</p>	<p>◎自分の身の回りの諸事象に対する豊かな感受性を持ち、その実感に基づきながら問題に気付き、他と協力してよりよい生活への改善を図ろうとする実践活動に取り組むよう指導する。</p> <p>《学級活動》学級内の諸問題を見だし快適な学習や生活環境をつくる。 ・心身の健康に関する理解と関心を深め、望ましい生活態度や習慣の形成を図る。 《児童会活動》環境教育に対する全校の意識を高める活動を展開する。 《クラブ活動》学校の実態や地域の特性を考慮し環境教育につながる活動を展開するよう努める。 《学校行事》勤労の尊厳や生活の喜び、社会奉仕の精神を涵養する。 ・情緒を豊かにし自分たちが生きる環境への目を開かせる。</p>	<p>◎交通・環境学習に関する学び方やものの見方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。</p> <p>外国語活動</p> <p>◎リサイクル、リユース、リデュースなど環境に関する言葉の意味を調べ、環境に関する意識を高める。</p> <p>領域外の指導</p> <p>◎清掃活動を重視し学校環境の美化に主体的に取り組むことができるよう指導する。 ◎環境教育にかかわる情報コーナーを学校に設置し児童の関心を高める。 ◎児童に最も身近な教室環境づくりに係活動を中心に主体的に取り組ませる。 ・花のある教室 ・整理整頓された教室 ・児童の作品や工夫が生きてい教室 ・懐かしい言葉の聞かれる教室</p>	

環境教育研修の場	体験的・実践的な活動	家庭・地域社会・関係機関との連携
<ul style="list-style-type: none"> 環境主任を中心とした校内研修の実施 環境教育推進校への視察 環境教育資料の整備 環境教育年間指導計画に基づいた教育実践 1教師1環境先生の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと環境教育 ・ふりつき ・みための森自然探検 ・地域の環境調べ(オオタカの話等) ・学年間での栽培活動 ・学級での花の世話や生き物の飼育活動 ・リデュースの徹底 ・リユースの活用 ・リサイクルボックスの活用 ・ごみの分別回収 ・環境ボランティア活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・校報及び学年だよりを通して環境教育への取り組みの理解を図る。 ・家庭で可能な取り組みをPTAと連携を取りながら推進する。 ・家庭や地域での環境活動への積極的な参加を呼び掛ける。 ・環境教育実践に関する対外的発表の場への積極的参加

2.2.3 伏見小学校

(1) 授業概要

伏見小学校における学習の全体計画を表 2.2.3 に示す。

表 2.2.3 伏見小学校における交通・環境学習の概要

学年	単元名	教科	学習のねらい	学習の構成	備考
1	しぜんとあそぼう	生活科	体全体で自然を感じ、自然を使って遊びをみんな楽しくすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・あきをさがしにいこう、あきのあそびばにいこう ・あきの自然でおもちゃをつくって、みんなで楽しく遊ぼう 	
2	ぼうけん、はっけん、まちたんけん ～町となかよし～	生活科	身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域の良さに気付き、愛着を持つとともに、集団や社会の一員としての活動の楽しさを表現して伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・町の様子を振り返ってカードに書こう ・行ってみたい場所を決めて、たんけん計画を立てよう ・町ともっとなかよくなろう(まちたんけん) ・まちのすてきを発表しよう ・おれいのきもちを届けよう 	広見線体験乗車
3	わたしたちのまちはどんなまち？	社会科	町の様子に関心を持ち、町の探検を通して町の様子を調べ、地図にあらわして、地域の特色を考えて伝える。	<ul style="list-style-type: none"> ・地図に通学路を書き込んで、町の様子を調べよう ・町の探検計画を立てよう ・町の探検をしよう(探検・インタビュー) ・絵地図をつくって伝えよう 	
4	環境と住みよい伏見 生きている川～住みよい伏見～	総合的な学習の時間	地域の自然環境(可児川)や歴史(中山道)について関心を持ち、自分の追及課題に沿って調査計画を作り、調査し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マイスター・観光マイスターの方の話进行聞き ・自分の追及課題を作ろう ・調査計画を立てよう ・課題について調べよう ・調べたことを発表しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・伏見宿「らくだ」で中山道の歴史調査 ・「ふるさとマップの作成」
5					
6	人と環境	理科	人は環境とどのように関わりながら生活しているのか考え、進んで環境問題について調べ、自分にできることは何かということを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・人は環境とどのように関わり合いながら生活しているか考える。 * 空気の汚れを調べる。(物を燃やすことによって空気がどのように汚れるか。) * 水が汚れると生き物のどのような影響が出てくるか。(4年生が毎年調べている可児川の水質検査資料を基に考える。) 	伏見地域の環境に関する学習

(2) 単元指導計画：第2学年

平成23年度の実践より本年度改善した内容の抜粋

2学年生活科学習より 「まちとなかよし」

単元目標

○ 自分たちが住む町を探検し、町の自然、人々、社会、公共物などに関心を持つとともに、町や地域よさを発見し、愛着を持つことができる。

* 生活科への関心・意欲・態度

自分の生活している町に関心を持ち、地域の人々や様々な場所に親しみを持ってかかわったり、友だちと協力して町を探検したりしようとしている。

* 活動や体験についての思考・表現

地域の人々や様々な場所と適切にかかわることや、安全に生活することについて考えたり、町探検で発見したことや気づいたことについて、自分らしい方法で表現したりすることができる。

* 身近な環境や自分についての気づき

町の自然や人々、社会、公共施設などの様子や、自分たちの生活とのかかわりに気づくとともに、自分の町のよさに気づいている。

学習活動（全10時間）

	学習活動	評価規準
さあ、さくせんかいぎだ！	学校の周りをみんなで探検したあと、同じ地域の友だち同士で探検チームを作り、他の通学コースの人に自慢できる場所をさがす。探検の順路を決める。	・自分たちの通学路を想起し、探検したいところを思い描いている。 (行動観察、発言、ワークシート)
たんけんのじゅんびをしよう	探検チームの名前を決めたり、もって行くものを決めたりする。	・町探検に必要なものを考えて、計画や準備をしたり、探検の約束などを考えたりしている。(行動観察、発言、ワークシート)
町をたんけんしよう	グループの探検計画にそって伏見の町を探検に出かける。 2年前のたんけんマップとの違いにも目を向ける。 ・閉店した学校周辺の店があることに気づく。 ・新しく開店したお店(伏見宿 らくだ)	・自分の町に関心を持ち、安全に気をつけ、友だちと協力して探検しようとしている。(行動観察、発言) ・自然や町、人々の生活の様子に気づいている。(行動観察、ワークシート)
はっけんしたことおしらせします！	探検チームごとに自分たちのコースの自慢比べを開く準備をする。	・町探検で見つけたことや気づいたことなどを絵や文などで自分なりに表現したり、まとめたりすることができる。(行動観察、発言、作品)
じまんくらべ	自分のコースの自慢をしたり、他のコースの自慢を聞いたりする。	・友だちのコースの自慢を聞いて、行ってみたいところを見つけることができる。(発表、行動観察)
おれいのおもちゃをとどけよう	町たんけんでお世話になった人々に自分なりに工夫してお礼の気持ちを伝える。	・お世話になって人々に感謝の気持ちを持っている。(行動観察、発言、作品)



写真 2.2.2 町探検の様子

(新しくできた観光施設 らくだで地域の人から話を聞く2年生)



図 2.2.1 伏見たんけんマップ (2年生)

(3) 単元指導計画：第3学年

3学年社会科学習より「学校のまわり」 教材について

子どもたちが3年生になって社会科と初めて出会う最初の単元である。その意味でも地域の様子や地域に生きる人々を具体的に生き生きととらえ、共感をもって学習をスタートさせることが大切だと考えてた。

そこで、「社会科の学習って、自分達の生活に身近なことを、自分達で調べ、考えていく勉強なんだな。なんだか楽しいな。」と思わせるために、この学習では、学校周辺の伏見地区のお気に入りの場所を紹介し合わせた。そして地域への関心と様々な地域事象への気づきを深めるために、町探検を計画・実行し、絵地図づくりの活動へと学習を進めてきた。町のいろいろな人達に会ったり話を聞いたりすることで、今まで気づけなかったことやものに着目しながら、地域社会に対しての誇りと愛着を育てていきたい。

課題を追求する授業にせまるために（指導・支援）

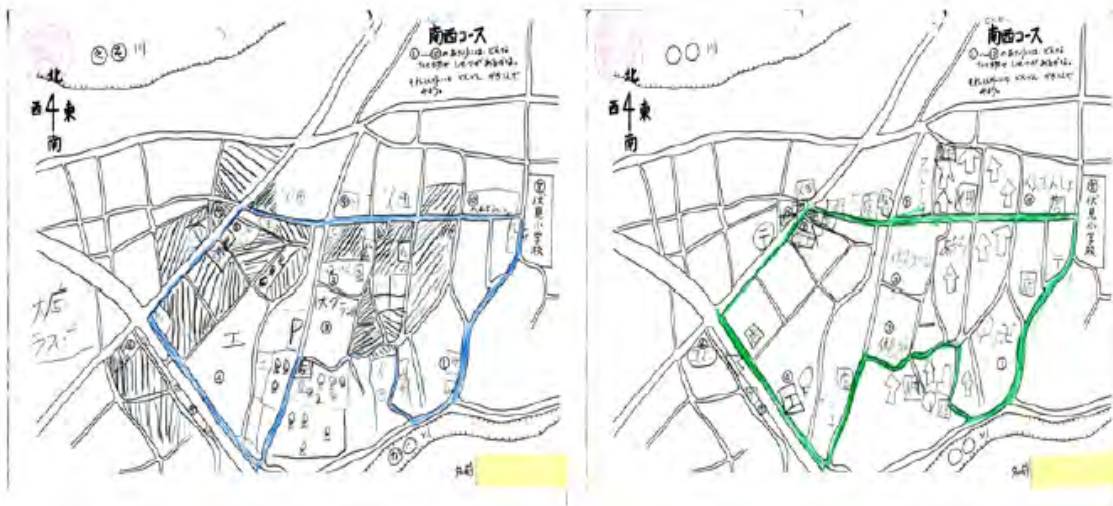
本学習においての課題を追求する姿とは、町探検で見たり聞いたり分かったりしたことを話し合い、その活動を通してみんなで1つの絵地図にまとめ、伏見の町の特徴について理解する姿であるとする。

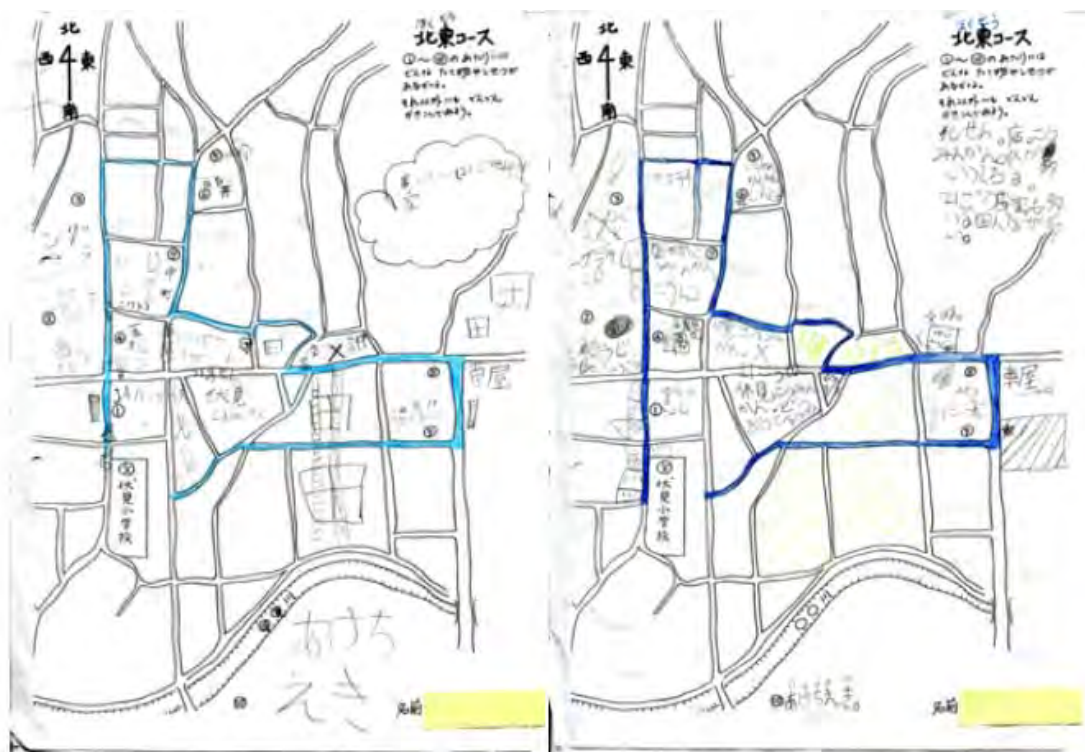
そこでまず、自分の住んでいる町のお気に入りの場所を絵と文で紹介するところから活動を進めていく。発表を聞き合うことで、自分の町に新しくできた建物があることや今まで知らなかった場所があることに気づき、みんなで探検の計画を立てていこうと課題を設定する。

その際、さらに活動の意欲を膨らませる手段として、伏見小学校の校区はどんな特徴をもっている地域なのかを予想を立てさせた。そして自分なりの課題を見つけ、追求していこうと投げかけ、自分の考えを整理する時間を設定してきた。

、探検のコースを方角別に2コース（南西コース・北東コース）に分け、どんな順序で何を調べてくればよいかを明確にした。自分の家や町の様子を互いに紹介をし合い、町の様子について調べ活動を進めていった。

探検に際しては、コースによって白地図を手がかりにして、実際に見てきたことを、絵で表現してきいたり、マップに記入していったりと単調な見学にならないように配慮した。その後、みんなでマークや地図記号を使いながらを学校周辺の伏見マップ作りを行った。





上記のように自分たちで2コースに分かれて学校の周りの探検に出かけ、マップ作りを行った。



写真 2.2.3 2つのグループ（南西コース・北東コース）に分かれて探検する3年生の様子

(4) 単元指導計画：第4学年

平成23年度 4学年テーマ：環境と住みよい伏見
単元名：生きている川 ～住みよい伏見～

〈出合い〉

月	時	活動名	活動内容	つきたい力（評価基準）
4	1 2 3 4	オリエンテーション 可児川の観察	・可児川の中にあるものや岸にあるものなどを予想し、可児川について気づいたことを見つける。	○学びたいことを見つける力（意欲・関心） ・可児川のどんなことを観察したらよいか分かる。
5	5 6 7	可児川の話をお聞き④	・可児川に住む鳥・水生生物・植物・川の流れ（水質）など、環境マイスターの方の話を聞く。 *1 自分達が考えなければならないことを見つける。 調べることに興味を持ち、それぞれの調べ方を学ぶとともに安全に活動する方法を知る。	○他者を大切にする態度 ・可児川の話をも取りながらしっかりと聞くことができる。
	8	テーマを見つけ	・自分の調べてみたいことや、やってみたいことをあげ、自分の追求課題を作る。	・大きな課題の中から自分の関心ごとを見つけることができる。
6	9	テーマ決定	・追求課題別のグループを決め、調べてみたい詳しい項目を見つける。	・追究したい課題をつくることができる。
	10	活動の見直し	・どんな場所でどんな方法で追求活動をしていくのかを考えて活動の計画を立てる。	

〈学び〉

6	11 12 13 14	可児川博士のテーマ追求	・可児川博士になるための追求をグループ単位で追求していく ◆区分1 可児川と生き物 ○可児川に住む魚について調べる。（害魚等） ○可児川に来る鳥について調べる。 ○可児川の水生生物についてえさや成長過程を調べたり、しばらく飼育したりする。（カブエやトビ等）	○学ぶ方法を見つける力（思考・判断） ・決定した追求課題を解決する方法がわかる。
7	15 16 17 18 19		◆区分2 可児川の自然 ○可児川にある石の大きさや形や種類について（上流と下流） ○可児川や川岸に生息する植物について ○可児川と支流について ○可児川の汚れについて 水質検査等 *2	○追究する力（思考・判断） ・現場に向いたり、インターネットや本で調べたりして明らかにしていく。 ・調べたことから、発展した課題が見つけれられる。
9	20 21 22 23 24		◆区分3 可児川と人との関わり ○農業用水としての可児川の働きについて調べる。 ○可児川の源流から合流地点付近までをたどり、可児川のさまざまな姿を見つける。 松野湖・上之郷の天王橋・可児市役所北 鳥屋場 久々利川との合流点・土田 刎ね橋 夏休みに補充調査や研究	○人と関わり合う力 ・自分から声を出してあいさつができる。

〈まとめ〉

10	25		<p>◆<u>区分4 中山道と人との関わり</u></p> <p>◦中山道の宿場である伏見宿について一里塚やらくだが御嵩にきたルートなどについて地域の方から聞いたり調べたりする。 *3</p>	<p>○追究する力（思考・判断）</p> <p>・現場に出向いたり、本で調べたりして明らかにしていく。</p>
	26			
	27			
	28	発表原稿作り	<p>・発表会に向けて調べたことをまとめる。</p> <p>・調べている様子の劇、実物展示、インタビュー、パソコンなどを利用して、いくつかの柱を立てて、表現する。</p>	<p>○まとめる力・表現する力（技能・表現）</p> <p>・活動したことが、よくわかるように発表を仕組む。</p> <p>○話す力・聞く力（技能・表現）</p> <p>・仲間の発表を聞き、発表内容が理解できる。</p>
	29			
	30			
	31			
11	32	発表の準備②	・チームで、図の示し方や聞く人に分かりやすい話し方などを練習する。	・分かるように話す。理由を付けて話す。
	33			
	34	博士の発表会②	・可児川を大切に作る作戦をわかりやすく聞き手に伝えるような博士発表会をする。	・相手の話を聞き取ることができる。
	35			
	36	まとめ①	・可児川博士についての学習のまとめをする。	

《留意点》

- * 1 ----- 白井氏から話を聞いた。白井氏は、伏見台在住。岐阜県の河川に関する調査委員である。可児川の植物・水生生物・川の観察のしかたなどの話を伺う。御嵩町の環境マイスターでもある。
- * 2 ----- 御嵩町の環境マイスターとして各分野の専門の方がいるので、植物の見方や採集の仕方など話を聞いたり、調査の仕方を教えていただいたりすることができる。（派遣申請書様式あり）農業用水では、地元の曾代用水について郷土学習資料『みたけ』に書かれてあるため、写真や道具類についても詳細が分かる。
- * 3 ----- 学校周辺にある伏見宿については、地域の宿跡にできた「らくだ」で地元の観光マイスターとして活躍中の早川氏に話を聞き、まとめることとした。

■伏見小学校4年生「ふるさとマップを作ろう」

御嵩町の歴史や自然について、「のこしたいものつたえたいもの」を各自考え、インターネットや本で調べてきたことを地図に示しながら発表した。児童からは「のこしたいものつたえたいもの」として、古墳・金毘羅神社・とうろう流し・古い街並みなどが挙げられた。

また、平成20年に作られた伏見宿観光案内所「らくだ」や「うしの鼻かけ坂」の整備の目的や意義について質問し、御嵩の観光について考える機会となった。児童からは「中山道を歩く人が増えた」「休み所を作ってたくさんの人に来てほしい」「御嵩や伏見の事を知ってほしい」という意見がでた。

さらに、児童の一人は広見線と八津線について調べ、今はもうない駅、駅名が変わった駅などを発表した。そこから、駅や鉄道がなくなったらどうなるか、鉄道はあったほうがいいのかを児童全員で考えた。



写真 2.2.4 「ふるさとマップを作ろう」各自調べてきたことを発表する児童の様子

2.3 学習結果の検証と今後の継続的实施に向けた検討

(1) 学習結果の検証

町内各校の「交通・環境学習」の取り組みは、御嵩小学校が3年目、上之郷小学校と伏見小学校が2年目の継続実施であり、実践経験を活用し、各地、各校の事例についての情報交換を参考に、改良、工夫をして取り組むことができたと考えられる。

3カ年の小学校における「公津・環境学習」総括的にまとめると、次のとおりである。

① 全学年での取り組み

- ・各校の状況に応じて、原則として全学年で「交通・環境学習」に取り組むことができ、ある程度の体系化をすることができたため、継続的な取り組みという視点では、今後の取り組みを実施するに際して、わかりやすく参考にできると思われる。
- ・複数年度にわたって全学年で「交通・環境学習」に取り組むことができたため、他の学年に伝えることで学年間のつながりを形成し、次の学年へのステップとして位置付けることができた。

② 御嵩町の特性を踏まえた学習

- ・御嵩町の豊かな自然環境と歴史的遺産を背景として、御嵩町独自の地域に根差した学習を進めていくことをねらいとして「交通・環境学習」を実施することができた。

③ 学習内容

- ・学習に際しては、積極的に実際のフィールドに触れたり、場所や人とのコミュニケーションを重視することで、問題解決学習の成立という視点でも大きな成果を得ることができた。
- ・出前講座やゲストティーチャーは、児童にとって大きな刺激となり、その資産を蓄積することができた。
- ・調べたこと、わかったこと、自分の考えを人前でしっかりと話し、伝えるという目標に対しては、研究授業、校内行事、そして「御嵩町環境フェア」等の多様な場を活用して情報発信をすることができ、自分たちのメッセージが伝わる喜びを実感することができた。

④ 情報提供・交換

- ・各年度の取り組み記録や他学年への情報提供、研究授業などにより、各学年での取り組みがより良いものとなった。
- ・校報や学年通信等の学内情報提供媒体を活用した情報提供とともに、町広報紙誌その他の団体の通信、御嵩町環境フェアへの参加その他の対外的活動等への参加など、広く町民への理解を推進することができた。

(2) 今後の継続的实施に向けた検討

これまでの取り組み経験に基づいて、以下に課題を整理する。

① 限られた学習時間の中での効果的な学習

- ・学習指導要領の改正にともなって「総合的な学習の時間」が短縮されるため、短い時間の中で子供たちが十分理解し、気づき、考え、実践することができる教材として、より工夫していく必要がある。
- ・「総合的な学習の時間」と社会科や理科等の教科学習過程のつながりや目標を理解して取り組むことができるように、学習内容を工夫する必要がある。

② 御嵩町独自の地域に根差した学習教材の開発

- ・多くの参考にできる既存教材がある中で、御嵩町独自の地域に根差した学習をすることを念頭に取り組みを進めてはきたが、教材の広がりという意味ではまだ十分であるとはいえないため、教材の更なる開発が必要である。
- ・子どもたちにとっては有益な学習動機となる「出前講座」について、町と連携した講師、ツール等の拡充が必要である。

③ 保護者への情報提供と協力依頼

- ・子供たちの学習には、保護者の理解と協力が不可欠である。校報や学年通信といった情報提供とともに、参観日の活用やともに学ぶことができる工夫等、保護者への情報提供と協力依頼を拡充していく必要がある。

3. 中学校における「交通・環境学習」への取り組み

3.1 概要

3.1.1 目的

本年度は、これまでの小学校における「交通・環境学習」の取り組みを踏まえ、今後の中学校における「交通・環境学習」の継続的取り組みを見通して、教員と協働して教材、単元、カリキュラムを作成し、今後の中学校における継続的な「交通・環境学習」実施に向けた課題への対応検討を行う。

3.1.2 枠組み

中学校における「交通環境学習の取り組みは本年度が初めてであり、中学校各校の教師の皆様方と相談しながら、次のような枠組みで実施する。

(1) 実施対象

- ・上之郷中学校
- ・向陽中学校
- ・共和中学校

(2) 実施内容

中学校での授業実施内容は、小学校での実施と同様に、原則として学校主体で検討することとし、以下のような基本方針で検討をすすめる。

取り組みの基本的な進め方を図 3.1.1 に示す。

- ・学校及び学年の年間学習計画に基づくものとする^{*)}。
- ・実施に際しては、中学校の先生方と相談しながら、可能な範囲で単元・カリキュラム・教材を検討し、授業の実施を試みる。
- ・各学校での授業内容検討に際しては、事務局及び専門家が情報提供を行うとともに、要請に応じて支援する。
- ・今後の継続実施に向けて、授業記録に基づいた検証、評価を行い、継続的な実施に向けた課題を整理し、対応を検討する。

^{*)}. 中学校各校においては、本年度が初めてであること、年間授業計画設定後に「交通・環境学習」の取り組みの検討を始めたことから、年間計画を大きく逸脱しない範囲で工夫した取り組みを検討することとなった。

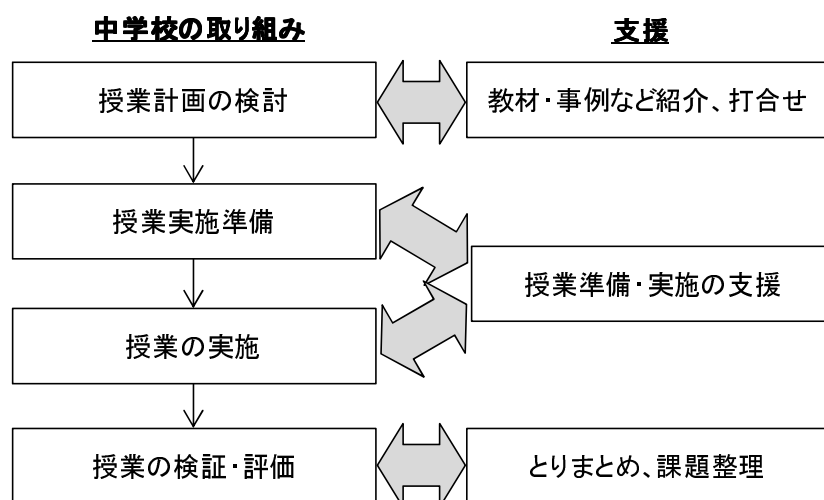


図 3.1.1 取り組みの基本的な進め方

3.1.3 各校の「交通・環境学習」計画概要

中学校各校で計画した「交通・環境学習」の概要を、表 3.1.1 に示す。

各校ともに1年生が取り組むこととし、上之郷中学校では社会科（地理）の教科学習の中で、向陽中学校と共和中学校では“地域の環境”をテーマとした総合的な学習の時間の中で、「交通・環境学習」を位置づけて授業計画を検討した。

上之郷中学校では、身近な地域の調査として「名鉄広見線」を対象として、広見線利用者について調べ、町民の暮らしとのかかわりを考えていくこととした。

向陽中学校では、総合的に「地域の環境問題」をとらえて、「乗り物と環境を考える（出前講座）」、「環境にやさしい実践」、そして「御嵩町環境フェアで発表しよう」といった交通と環境にかかわる学習を構成した。

共和中学校では、総合的な学習の時間で「環境・情報・進路」というテーマに基づき、「水と私たち」の学習を踏まえて、水、リサイクル、そして“大気”について深化した学習をすすめて、クルマとの関係を含めた調査と課題発見的な学習を行い、「御嵩町環境フェア」での発表を行うこととした。

表 3.1.1 中学校各校の「交通・環境学習」計画概要

中学校	学年	教科	学習の概要
上之郷中学校	1年	社会科(地理)	身近な地域の調査:「地域の鉄道名鉄広見線」 ・広見線を調べよう ・広見線の課題とこれから
向陽中学校	1年	総合的な学習の時間: 「地域から学ぶー環境ー」	御嵩町を学ぼう:「地域の環境問題」 ・乗り物と環境を考える ・環境にやさしい実践 ・「御嵩町環境フェア」で発表しよう
共和中学校	1年	総合的な学習の時間: 「環境・情報・進路」	私たちの身近な環境: ・大気を調べる ・「御嵩町環境フェア」で発表しよう

3.2 各中学校での授業実施

3.2.1 上之郷中学校の取り組み授業計画概要

上之郷中学校では、1年生の社会科の教科学習過程の中で、身近な地域の調査として「地域の鉄道名鉄広見線」というテーマで学習を進めることとした。

この中では、人々との営みとのかかわりに着目して広見線をとらえ、課題を見出して、これからの発展について考えるものである。

表 3.2.1 上之郷中学校 1年の授業計画

項目	概要
学年	1年生
教科	社会科(地理)
テーマ	身近な地域の調査:「地域の鉄道名鉄広見線」
ねらい	身近な地域の特色を、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとのかかわりに着目してとらえさせるとともに、地域の課題を見だし、これからの発展について関心を持たせる
「交通・環境学習」の項目	・広見線を調べよう。 ・広見線の課題とこれから

3.2.2 「地域の鉄道名鉄広見線」の学習内容

(1) 主な内容

1. 名鉄広見線を地図で確認する。
2. 名鉄広見線の利用者について調べる。
・1日の利用者数 ・年齢層の内訳 など
3. 名鉄広見線を利用しない場合の通勤・通学方法について考える。 など

○必要な資料

- ・名鉄広見線「1日の利用者数」「利用者の年齢構成」
- ・名鉄広見線を利用しない場合の交通手段

3.2.3 授業の実施について

授業は、新学習指導要領への移行との調整の中で、現1年生の第2学年の学習の中に位置付けて実施することとする。

参考資料（学習計画参考資料）

■第4章 身近な地域の調査(配当6時間) 東京書籍「地理」指導計画より

◆評価規準の例（章全体：※は学習指導要領との関連）

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度	※
<p>●縮尺の大きな地図や写真などを活用し、土地利用、地形などを読み取り、身近な地域で見られる様々な地理的事象に気付かせる。</p> <p>●身近な地域に関する情報を収集し、それを基に調査テーマを設定する活動に意欲的に取り組ませるとともに、適切な調査テーマを設定できるようにさせる。</p> <p>●調査を通して、身近な地域の地域的特色をとらえる視点や地域調査の方法、地理的なまとめ方や発表の方法を身に付けさせる。</p> <p>●身近な地域の特徴を、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとのかかわりに着目してとらえさせるとともに、地域の課題を見だし、これからの発展について関心を持たせる。</p>	<p>・身近な地域の調査に対する関心を高め、意欲的に情報を収集し、調査に取り組んでいる。</p> <p>・身近な地域の特徴や課題に関心を持ち、よりよい地域の発展について考え、努力しようとしている。</p>	(2) の エ
	社会的な思考・判断・表現	
	<p>・身近な地域の地理的事象を、位置や空間的な広がりとのかわりからとらえて、適切な調査テーマを設定している。</p> <p>・調査テーマについて、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとのかかわりから、多面的・多角的に考察している。</p>	
	資料活用の技能	
	<p>・地図や写真、統計など身近な地域に関する様々な資料を収集し、それらの中から有用な情報を選択して、地域の特徴や課題、変化の様子を読み取っている。</p> <p>・土地利用図、分布図、棒グラフ、円グラフ、統計などを活用・作成する技能を身に付けている。</p> <p>・調査の動機と目的、調査方法と経過、調査結果と分析などを地図や図表を用いてわかりやすくまとめ、発表している。</p>	
社会的事象についての知識・理解		
<p>・縮尺、方位、等高線、地図記号など地形図の読み取り方を身に付けている。</p> <p>・読図、野外観察、聞き取り調査、文献調査などの地域調査の方法やまとめ方を理解し、その知識を身に付けている。</p>		

◆評価規準の例（各時間ごと）

累計時間	おもな学習内容	学習目標	評価規準の例
100	1 身近な地域を見直そう (p.234～235) 身近な地域の情報を集めよう	<ul style="list-style-type: none"> ●高い場所から地域をながめたり、通学路周辺を歩いたりして、身近な地域で見られる様々な地理的事象に関心を持つ。 ●縮尺の大きな地図や景観写真・空中写真から、身近な地域の特色や変化の様子に気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の地理的事象や調査への関心が高まり、意欲的に情報を収集している。(関心・意欲・態度) ・縮尺の大きな地図や様々な写真を活用し、土地利用、地形、地域変化などを読み取っている。(技能)
101	2 テーマを決めて調査計画を立てよう(p.238～239) 調査するテーマを話し合おう 仮説を立ててみよう 調査計画を立てよう	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなで話し合っ、て、身近な地域の特色や課題を見いだすのに適切な調査テーマを設定する。 ●みんなの意見を出し合いながら、調査結果の見通しや適切な調査計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査テーマを設定する活動に意欲的に取り組んでいる。(関心・意欲・態度) ・身近な地域で見られる地理的事象をもとにして、適切な調査テーマを設定し、調査結果の見通しや調査計画を立てている。(思考・判断・表現)
102	3 いろいろな調査方法① 野外観察や聞き取り調査をしよう(p.240～241) 野外観察をしよう 聞き取り調査をしよう	<ul style="list-style-type: none"> ●野外観察や聞き取り調査を通して、地域調査の基礎を身に付けるとともに、地域の特色や課題を見いだす。 ●事前準備をしっかりと行っ、たうえで、マナーを守って野外調査に取り組むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートマップや聞き取り調査票の事前準備、調査中のスケッチやメモなど地域調査の方法を身に付けている。(技能) ・野外観察や聞き取り調査から、地域の特色や課題を見いだしている。(思考・判断・表現)
103	4 いろいろな調査方法② 資料を調べて調査を深めよう(p.242～243) 資料を調べて深めよう 地域の変化や課題をとらえよう	<ul style="list-style-type: none"> ●文献、統計、地図、写真などの資料を調べて、調査テーマを深く追究し、地域の変化のようすや課題をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・野外調査で調べたことを踏まえ、様々な資料を収集し、適切に選択して調査テーマを追究している。(思考・判断・表現、技能)
104	5 調査結果をまとめよう (p.246～247) 仮説を調査結果から確かめよう 調査結果を整理してまとめよう	<ul style="list-style-type: none"> ●調査結果を仮説と照らし合わせて、仮説が正しかったかどうかを検証できる。 ●調査結果を整理・考察して、調査テーマに対する結論を地図や図表などにまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調査結果を検証し、考察したことを整理して、地図や図表などにまとめている。(思考・判断・表現、技能) ・身近な地域の特色や課題を、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとのかかわりから理解し、それらの知識を身に付けている。(知識・理解)
105	6 発表会をして地域の将来像を考えよう (p.248～249) 発表会をしよう よりよい地域の将来像を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> ●調査の動機と目的、調査方法と経過、調査結果と分析などをわかりやすくまとめ、発表することができる。 ●他のグループの発表も参考にして、身近な地域の特色や課題をとらえ、よりよい地域の将来像を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのグループが設定した調査テーマについて、その調査結果や考察した内容をわかりやすくまとめている。(技能) ・他のグループの発表を聞いたり、意見交換をすることで、身近な地域の特色や課題、地域のこれからの発展について考えようとしている。(関心・意欲・態度)

3.2.4. 向陽中学校の取り組み授業計画概要

向陽中学校では、総合的な学習の時間：「地域から学ぶ-環境-」というテーマの中で、地域の環境問題と交通との関わりについて学習することとした。

「地域の環境問題」をテーマとして、乗り物と環境を考え、自分たちでできる実践を行って、「御嵩町環境フェア」でメッセージを発信することとした。

表 3.2.2 向陽中学校 1 年の授業計画

項目	概要	備考
学年	1年生	
教科	総合的な学習の時間：「地域から学ぶ-環境-」	
テーマ	御嵩町を学ぼう：「地域の環境問題」	
ねらい	身近な地域の特色を、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとのかかわりに着目してとらえさせるとともに、地域の課題を見だし、これからの発展について関心を持たせる	
「交通・環境学習」の項目	・乗り物と環境を考える(出前講座) ・環境にやさしい実践 ・「御嵩町環境フェア」で発表しよう	H23. 12 月 1 日 H23. 12 月、冬休み H24. 2 月 26 日

3.2.5 学習内容

(1) 年間指導計画案

全校テーマ	「未来を切り拓く・未来を生きる」	
学年テーマ	「地域から学ぶ -環境-」	—私たちの地域と環境保護活動—

ねらい	地域の環境に関わる体験・探求的活動を通じ、学び方を身につけ、環境保護の課題とその改善の方策を提言する中で生き方を考えることができる。
------------	--

つきたい力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題や解決の方法を見つけたり、自分のよさを発見したりする力 (見つける力) ・問題の解決や探求活動に主体的に取り組もうとする力 (問題や地域に関わる力) ・目的にあった情報を収集し、選択し、処理することができる力 (まとめる力) ・探求したことや問題解決の過程、考えたことをわかりやすく表現する力 (伝える力)
--------------	---

年間指導計画（65時間）

	月		学習内容・活動内容
一 学 期	4月	1	総合的な学習（1年テーマ「環境」）オリエンテーション 学ぶ意味と学び方
		2	総合的な学習（1年間の見通し）
		3	琵琶湖研修について知ろう
	5月	4~7	琵琶湖について知ろう
		8~12	研修のための準備（係会1、学級での話し合い）
		13,14	琵琶湖研修での活動内容の決定とコース決定
		15,16	研修のための準備（係会2、学級での話し合い）
	6月	17,18	事前キャンペーン活動、しおりづくりと読み合わせ
		19,20	学年集会、最終確認
		21~28	琵琶湖研修
29~30		事後キャンペーン活動、	
7月	31~32	琵琶湖研修のまとめ 新聞作り	
二 学 期	9月	33~36	御嵩町を学ぼう 地域が課題問題に対してどう解決しているか
		37,38	地域調査活動計画づくり
	10月	39~42	御嵩町自然・環境調査活動
		42~45	調査活動のまとめと、地域の環境を守るための方法を考える
	11月	46~49	御嵩町の環境について知る（ 環境講話Ⅰ～Ⅲを聞く ）
12月	50~52	環境講話から学んだことを中心にして、環境新聞をつくる。	
三 学 期	1~3月	53~55	自分で解決できる環境問題・エコについて考え（計画）、冬休みに実践する。 （冬休み：環境一実践の取組）
		56~65	環境学習のまとめ 新聞作り・レポート作り・提言作り 町環境フェア発表資料作りも並行して行う 環境フェアでの発表（プレゼン・マップ・リサイクルの方法・地域への提言など）：2月 地域の自然を守る取り組みのまとめ

注) 環境講話Ⅰ～Ⅲの中で、「乗り物と環境を考える」を学習して、環境改善のために自分たちができることを考えることとした。

(2) 環境学習の指導計画 (2 学期、3 学期)

	学習活動	指導・援助
1	<p>◆御嵩町の環境問題について知る</p> <p>○講話を聞く</p> <p>①「水生生物からみた川の汚れ」 環境マイスターの方の話</p> <p>②「御嵩町のごみの実態とごみの行方」 住民環境課の方の話</p> <p>③「<u>乗り物と環境を考える</u>」 <u>(株)交通システム研究所</u></p>	<p>・町の環境問題の実態や取り組みについて調べる。</p> <p>・<u>環境改善のために自分たちができることを考える。</u></p>
2	<p>◆興味・関心のあるテーマを取り上げ、 追究する。</p>	<p>○テーマ</p> <p>・川の汚れについて</p> <p>・ごみの実態、ごみの行方</p> <p>・<u>空気のごよれ</u></p> <p>・御嵩町の森林について</p>
3	<p>◆<u>環境一実践の取組</u> (家庭で実践する計画を立てる)</p> <p>・1週間で実践することを考える</p> <p>・グループでの取り組みとする</p> <p>・実践計画を具体的に立てる</p>	<p>○環境にやさしい実践を行う。 (エコ実践、エコ生活)</p> <p>例：節水、節電、リサイクル ポイ捨てしない、TV時間を短くする e t c.</p>
4	<p>◆<u>エコ実践を行う</u> <u>(冬休み中)</u></p>	<p>○一人一人が家庭で実践を行う。 冬休みの冊子に実践記録を記入する。</p>
5	<p>◆<u>学級発表会を行う</u></p> <p>・学級代表を決める</p>	<p>○ポスターセッションを行う。 ビー紙、画用紙、写真 等</p> <p>○実践を聞いての感想を環境プリントにまとめる。</p>
6	<p>◆<u>学年発表会を行う。</u></p> <p>↓</p> <p>◎<u>代表グループが御嵩町環境フェアで発表する。</u></p>	<p>○学年集会で実施する。</p> <p>○環境フェアでの発表内容の確認を行う。(役割分担や発表内容の検討)</p>

(3) 「乗り物と環境を考える」学習内容

1) 概要

① 名称

総合的な学習の時間：御嵩の環境／「乗り物と環境を考える」

② 日時

平成 23 年 12 月 1 日（木）、第 5 校時(14:05～14:55)及び第 6 校時(15:05～15:55)

③ 会場

御嵩町役場 北庁舎 3F 会議室

④ 授業の対象

1 年生（4 クラス合同、116 名）

⑤ 目標

御嵩町の大気の状態を確認し、きれいな空気を守っていく必要性を認識して、一人ひとりができることを考える。

2) 学習のねらいと構成

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none">・私たちが生き、くらしている地域の大気の状態に関心を持って、“知りたい”という好奇心を活性化して、意欲的に学習できるようにする。・見えない空気を調べるための工夫、評価をするためのケース設定の考え方を示し、計測結果を検証する視点を理解する。・空気を保全するための先人の努力を理解し、地域の環境の問題に対して、一人ひとりが実践できる環境にやさしい暮らしと目標を考え、発表する。
学習の構成	5時限目： 1.御嵩町でも地球温暖化や大気汚染は進んでいるのでしょうか？ 2.大気汚染物質とは？～その種類と影響～ 3.校区内の空気を調べてみよう ※. 計測と考察 4.大気汚染物質の排出原因は？ 6時限目： 5.クルマと身近な排出ガスを調べてみよう ※. 計測と考察 6.私たちに何ができるのでしょうか？ 7.大気汚染物質を削減するための努力 8.もう一度、御嵩町でも地球温暖化や大気汚染は進んでいるのでしょうか？
目標	<ul style="list-style-type: none">・御嵩町の大気に興味関心をもち、環境への取り組みを調べることができる。・きれいな空気を守る必要性を認識し、削減に向けた取り組みに対して、自分の考えを持つことができる。・調べたことや考察したことについて分かりやすくまとめ、それらを提示しながらはっきり話し、伝えることができる。

3.2.6 授業の実施

(1) 5 時限：「校区内の空気を調べよう」

time	ねらい	学習活動	資料・アドバイス
0'	問題意識に対して、自分自身の主張をするとともに、“なぜ？”という動機を生成する。	御嵩町の空気は“きれい”なのでしょうか？ 1.「御嵩町は自然豊かで空気もきれいである」対「近年の地球温暖化、クルマの増加は御嵩町にも影響がある」という主張に対して、賛否を問う。 2.「なぜ」を問いかけ、その根拠を挙げさせる。	・Yes/No(○×)フラッグ ・“なぜ”に対して根拠の薄弱さに気付き、“知りたい”という動機を活性化することがポイント。
5'	何を調べれば“空気がきれいかどうか？”がわかるのだろうか？ その種類と影響を知る。	何を調べれば、“きれい”かどうかができるのでしょうか？ 1. 大気汚染物質が何か？種類と影響を知る。 2. 御嵩町の空気を調べてみよう。 *我が国の大気汚染物質排出量の推移を学び、先人の努力を理解する。	・大気汚染物質の種類と影響、排出量の推移、及び削減努力を理解させる。 ・調べてみようという行動意図を形成する。
10'	大気汚染物質の計測方法を理解する。	代表的な大気汚染物質の計測原理と方法を理解する。 ・二酸化窒素(NO ₂): ザルツマン試薬、気体検知管 ・粉じん(SPM): 気体採集器とろ紙 ・二酸化炭素(CO ₂): 気体検知管	・代表的な大気汚染物質計測方法を視覚的に提示して興味を持たせる。 計測器具、試薬を見せる。
20'	調査計画: 仮説を立て、予測結果の検証方法を理解する。	空気がきれいな場所/汚れている場所を予測し、その理由を考える。 1. どこで計測すればよいのでしょうか？ 2. その理由とあわせて、地点を決定するプロセスを共有する。 (評価の要素: 自動車、工場、家、人、植物)	・調査地点図: 地図上に計測地点をプロットして、地点選択のイメージを生起する(あらかじめ採取するが、はじめは公開せずに予測させる)。 ・WS 大気汚染物質調査票
30'	計測結果を整理して、“なぜ？”を探究できる。 検証方法と視点を理解する。	計測結果を整理して、大気汚染物質が多い地点を確認し、その理由を考える。 1. 計測結果を報告、整理する。 2. 大気汚染物質濃度が高い地点/低い地点とその理由を意見交換する。 3. 評価の視点を提示して理解する(必ずしも仮説通りではないこと、差がそれほど顕著ではないことなど)。 4. 地点間の差が顕著でないことに対して、どう対応すればよいかを考える。	・調査結果表 ・調査結果を整理して提示し、結果の考察をするに際して、視点を提供して“なぜ？”を考える支援をする。 ・主な発生源である自動車排出する大気汚染物質の影響がそれほど顕著にはあらわれないことに対して、直接計測することを提案する。
45'	結論が明確に得られない問題への対応と姿勢を学ぶ。 また、要請に対して協力的行動を実行する。	排出源から直接大気汚染物質を計測する必要性を理解する。 1. 排出源から直接大気汚染物質を計測する必要性と方法を理解する。 2. 計測のための協力的行動を実行する。	・排出源からの大気汚染物質排出量計測方法を提案する。

(2) 休憩：クルマの排ガス収集

time	ねらい	学習活動	資料・アドバイス
0'	協力行動の実行：自動車の排ガス収集に協力する。	<p>教師と協働して、自動車の排気ガスを収集整理する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自動車排ガス抽出の協力を要請する。 2. 教師と協働して自動車排気ガスを収集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビニル袋、軍手、ビニルテープ ・抽出ケースは別紙

(3) 6時限：「クルマと身近な排出ガスを調べよう」

time	ねらい	学習活動	資料・アドバイス
0'	調査計画を理解する。	調査計画と方法、及び設定ケースを知る。	・WS 自動車排気ガス調査票
5'	器具と試薬を用いて排気ガス濃度を調べる。	<p>クルマと身近な排出ガスを調べてみよう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 収集した排ガス計測を実施する生徒を募集する。 2. 排気ガス濃度測定方法を聞き、教師と協働して計測して、WSに記録する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・WS 自動車排気ガス調査票 ・ビニル袋に収納されたガスの濃度計測を支援する。
20'	計測結果を整理して、わかったことを発表できる。	<p>計測結果を整理して、考えを発表し合う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 計測結果を整理して確認する。 2. 計測結果に基づき、気づきを発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・WS 自動車排気ガス調査票 ・調査結果から、クルマ及び人間のくらしが大気汚染の原因になること、クルマの影響が大きいことに気付かせる。
35'	空気の汚れを防止する方法を考えて、発表する。	<p>空気の汚れを防止する方法を考えて、私たちにできることを発表する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 空気の汚れを防止する方法を考えて、発表する。 2. 私たちにできることは何かを考え、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・WS わかったこと・感想 ・原因を理解し、地域や自らのくらしを関連付けることで、解決方法の議論が活性化することを示唆する。
45'	各界の大気汚染物質削減のための努力を理解する。	<p>大気汚染物質を削減するための努力を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染物質削減技術、制度や仕組み、運動等を聞き、理解する。 	・テキスト
49'	まとめ、行動規範に気付かせる	<p>御嵩町の空気は“きれい”なのでしょうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最後にもう一度、結論に対する意見を交換し、学習の意義を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・WS わかったこと・感想 ・Yes/No(○×)フラッグ



写真 3.2.1 校区内の空気を調べる





写真 3.2.2 学習の様子

(4) 新聞づくり、御嵩町環境フェアでの発表

総合的な学習の時間で学習した結果を取りまとめて、新聞づくり(図及び「御嵩町環境フェア」での展示によって、提言を發表する。

表 3.2.3 環境新聞の例

琵琶湖環境新聞		琵琶湖環境新聞	
氏名	一年	氏名	一年組
 <p>琵琶湖について 私は琵琶湖でのクリーン活動で琵琶湖がどれだけキレイか活いかを知ることができたし、琵琶湖の水をつかっている工場やエタ夫をみることもできました。他にも琵琶湖に住む魚やプランクトンの事がわかったり琵琶湖について大切なヨシのこともよくわかりました。</p>	<p>マサクリンで分かつてあり、琵琶湖は山が八人にタ...</p>	<p>琵琶湖研修の振り返り (スロカンについて)琵琶湖研修のスローガンは「琵琶湖環境と仲間の大切さ」です。環境の大切さという点では、草履人の詩や琵琶湖博物館水堀めぐり、クリンキャンパーンなど、学ぶことができた。仲間の大切さは、いかた作りのいかたレース、クリンキャンパーン、し留守り、琵琶湖博物館での班行動など、学ぶことができた。</p>	<p>琵琶湖の大切さ 環境の大切さ 草履人の詩で学んだこと みなさんは「草履」という植物を知っていますか？ 草履は水と空気と土をきれいにしてくれる植物です。そのほか、それだけでなく、草履からはいろいろな薬を作ることができるといいます。明かり、テント、ヨシ舟、ヘリカブ、紙、カザリ、やちい、エゴ文具などです。それには、まだかわいていないヨシの葉は、紙にしようんやお箸になるそうです。</p>
<p>琵琶湖や他の川など、もみながし、カソエ、をほいでしなさいなどというのを守れば、もどきれいになるといふことがあらためてわかりました。</p>	<p>で話をきくと、木々をうえ、水をきれいにすることや、琵琶湖に水を返す時は、前よりきれいにし、返すなどというエタ夫がたくさんいます。</p>	<p>環境の大切さ 草履人の詩で学んだこと みなさんは「草履」という植物を知っていますか？ 草履は水と空気と土をきれいにしてくれる植物です。そのほか、それだけでなく、草履からはいろいろな薬を作ることができるといいます。明かり、テント、ヨシ舟、ヘリカブ、紙、カザリ、やちい、エゴ文具などです。それには、まだかわいていないヨシの葉は、紙にしようんやお箸になるそうです。</p>	<p>琵琶湖博物館で学ぶ 琵琶湖の歴史のあつちい 琵琶湖を中心とした琵琶湖環境を学ぶ 琵琶湖がたまり湖がてきました。この湖が琵琶湖になるのは、琵琶湖後湖です。四の五年ほど前、から山地の活動が激しくなり、琵琶湖のあたりが低くなり、今の琵琶湖ができました。</p>
<p>ヨシの仕事 ヨシは、水をきれいにするやくわりがあります。なので、琵琶湖の水をとてもきれいにしてくれま...</p>	<p>次はヨシについてです。ヨシは琵琶湖にたくさん生えています。</p>	<p>環境の大切さ 草履人の詩で学んだこと みなさんは「草履」という植物を知っていますか？ 草履は水と空気と土をきれいにしてくれる植物です。そのほか、それだけでなく、草履からはいろいろな薬を作ることができるといいます。明かり、テント、ヨシ舟、ヘリカブ、紙、カザリ、やちい、エゴ文具などです。それには、まだかわいていないヨシの葉は、紙にしようんやお箸になるそうです。</p>	<p>琵琶湖博物館で学ぶ 琵琶湖の歴史のあつちい 琵琶湖を中心とした琵琶湖環境を学ぶ 琵琶湖がたまり湖がてきました。この湖が琵琶湖になるのは、琵琶湖後湖です。四の五年ほど前、から山地の活動が激しくなり、琵琶湖のあたりが低くなり、今の琵琶湖ができました。</p>
 <p>まどめ ちんちんとみんなが川や湖の水をとてもきれいにしよう!!</p>	<p>湖には多きすきてかえたくなり、かえられた魚がたくなりいます。</p>	<p>環境の大切さ 草履人の詩で学んだこと みなさんは「草履」という植物を知っていますか？ 草履は水と空気と土をきれいにしてくれる植物です。そのほか、それだけでなく、草履からはいろいろな薬を作ることができるといいます。明かり、テント、ヨシ舟、ヘリカブ、紙、カザリ、やちい、エゴ文具などです。それには、まだかわいていないヨシの葉は、紙にしようんやお箸になるそうです。</p>	<p>琵琶湖博物館で学ぶ 琵琶湖の歴史のあつちい 琵琶湖を中心とした琵琶湖環境を学ぶ 琵琶湖がたまり湖がてきました。この湖が琵琶湖になるのは、琵琶湖後湖です。四の五年ほど前、から山地の活動が激しくなり、琵琶湖のあたりが低くなり、今の琵琶湖ができました。</p>
<p>エゴタリペ タケツツ ヨシタリペ オオキ モドリ</p>	<p>OMAKE ここでは琵琶湖沖合の漁業に使われるいかけを紹介いたします。</p>	<p>環境の大切さ 草履人の詩で学んだこと みなさんは「草履」という植物を知っていますか？ 草履は水と空気と土をきれいにしてくれる植物です。そのほか、それだけでなく、草履からはいろいろな薬を作ることができるといいます。明かり、テント、ヨシ舟、ヘリカブ、紙、カザリ、やちい、エゴ文具などです。それには、まだかわいていないヨシの葉は、紙にしようんやお箸になるそうです。</p>	<p>琵琶湖博物館で学ぶ 琵琶湖の歴史のあつちい 琵琶湖を中心とした琵琶湖環境を学ぶ 琵琶湖がたまり湖がてきました。この湖が琵琶湖になるのは、琵琶湖後湖です。四の五年ほど前、から山地の活動が激しくなり、琵琶湖のあたりが低くなり、今の琵琶湖ができました。</p>

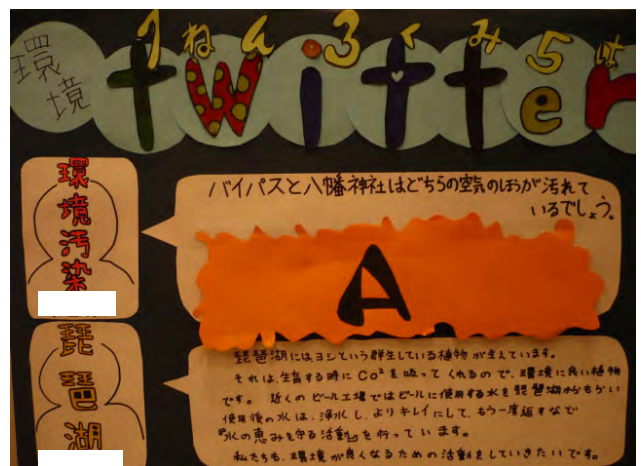
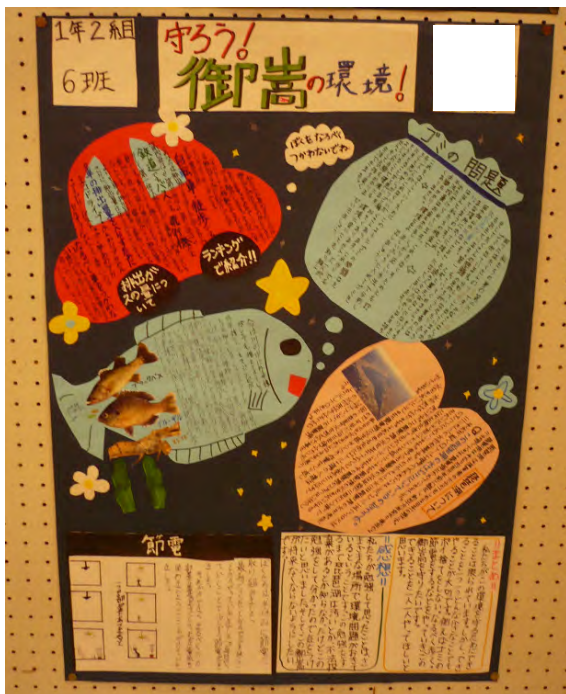
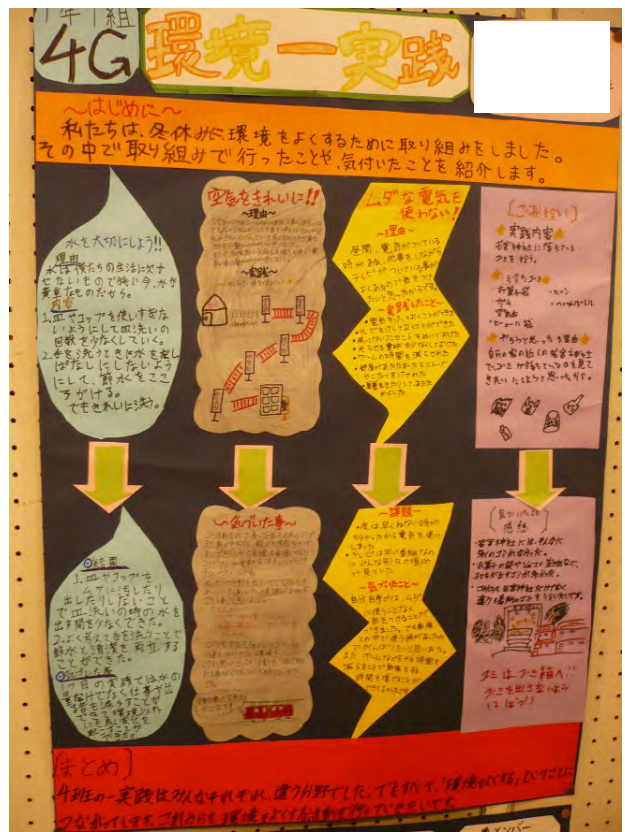
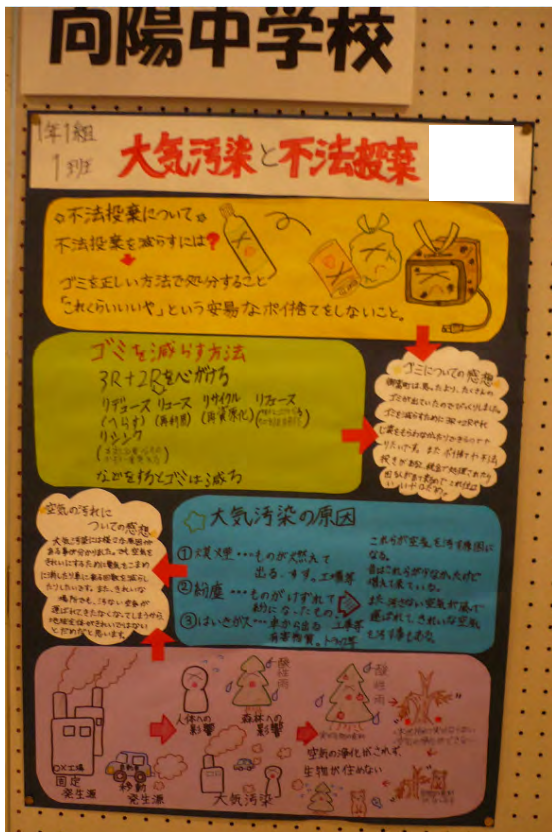


写真3.2.3 「御嵩町環境フェア」での展示

3.2.7 検証

生徒の皆さんには、授業終了後に感想文を書いていただいた。代表的な感想を以下に示すが、まずは今回の授業には非常に興味を持って参加したことがうかがわれる。

また、“空気の汚れ”の原因を考えるに際して、“なぜ？”という好奇心を相当程度活性化して、計測結果の考察に臨むことができたと思われる。

さらに、空気の汚れの主原因の一つが人間のくらしであり、密接に関連していること理解し、問題の解決に向けて、一人ひとりの実践方法を考えることができたことは、大きな成果であると考えられる。

●感想文の例

- ・御嵩町で意外と汚いと思っていたところがきれいだったり、きれいと思っていたところが汚かったりしたのでびっくりしました。風によってきたない空気が動いたことが新しく知れたこと。
- ・御嵩町の空気は、きれいな方だとわかって、ホッとしました。また、予想では、バイパスや国道の方が汚いかなあと考えていたけど、以外に風があるために、そんなにも汚くないことが分かったので、驚きました。
- ・大気汚染物質は、いろいろなところから出てきます。たとえば、クルマや人の生活等です。その中で、とくにクルマが多いことがわかりました。年々、クルマが増えてきているので、どんどん増えて処理しきれなくなって空気が汚れることがわかりました。
- ・自分たちの生活でCO₂がちょっとでも減らせる事がわかったので、これから電気のつけっぱなしやふろとか冷蔵庫のあけっぱなしとかをなくして、少しでも出るCO₂をなくしていけるように努力していきたいと思いました。
- ・今日は、本当に勉強してわたったことがたくさんあってよかった。
- ・これから、もっときれいにしていくために、家では電気や水の使いすぎをなくして、冷蔵庫や暖房、お風呂についても、自分で減らせることは減らして、また、家族が出かけるときには、親にもエコドライブをしてもらったり、塾へ行くときは、いつもより電車通学を増やしていきたいです。
- ・やっぱり、予想通りクルマが一番多く二酸化炭素を出しているのので、なるべく自転車を使うように心がけたいです。他にも、照明をつけっぱなしにしない、紙を無駄遣いしない、パソコンを使う時間を減らすなどたくさんあります。できることから実践して、御嵩町の環境を守っていきたいです。

総合学習の時 間プリント 12/1 (金)	学年テーマ 『環境』		
	組	12番	氏名
テーマ	空気の汚れについて (大藤さんの話から学んだこと)		
・御嵩町で以外ときたないと思ってる所がきれいだったりきれいと思ってる所がきたないから綺麗なのでびっくりしました。			
・風によってきたない空気が垂かっていたことが新しく知れたこと!			
・あと、自分達の生活でCO ₂ がちゃんと減らせることが分かるのでこれから、電気のつけっぱなしとか風呂とか冷や湯のあけっぱなしとかをなくして、すこすこ減らすCO ₂ をなくしていきけるように努力していきたいと思いました。			
今日は、本当に勉強して、分かったことがたくさんあった。			

総合学習の時 間プリント 12/1 (金)	学年テーマ 『環境』		
	組	14番	氏名
テーマ	空気の汚れについて (大藤さんの話から学んだこと)		
大藤さんからの話を聞いて、たくさんことが分かりました。御嵩町は、自然(森、緑)がたくさんある町なので、思っていたよりきれいということが分かりました。でも今は、自然環境が悪いということで、汚染しているし、何より汚くするものとなっているのは、「ばい煙」「粉じん」「自動車の排出ガス」の3つということも分かりました。この3つが多ければ多いほど、どんどんと空気が悪くなっていきます。自動車などの「移動発生源」となるものや、「固定発生源」という工場等からも空気を悪くする原因をつくっていることが分かり、いろんなところから汚染のおもとなるものが出ていることが分かりました。そのために自分たちができることを考え、これから生活していきたいと思えます。大気の汚れについてたくさん知れてよかった。			

総合学習の時 間プリント 12/1 (金)	学年テーマ 『環境』		
	1 組	24 番	氏名
テーマ	空気の汚れについて (大藤さんの話から学んだこと)		
御嵩町の空気は、きれいの方だと言われて、ホッ トしました。また、予想では、バイパスや国道の 方が、汚いかなあと思っていたけど、以外に、 “風”があるために、そんなに汚くないというこ とが行ったので、おどろきました。			
これから、もっときれいにしていくために、家で は電気や水の使いすぎを控えて、冷蔵庫や 暖房、お風呂についても、自分で減らせることは 減らして、また、家族が出かけるときは、親に も、エコドライブをしてもらったり、塾へ行くとき は、いつもより電車通学を増やしていきたいです。			
最後に、自分が大人になったら、車の排気ガス の体験が行ったことを考えて、環境にいい車 を選んだらいいと思います。			

総合学習の時 間プリント 12/1 (金)	学年テーマ 『環境』		
	2 組	9 番	氏名
テーマ	空気の汚れについて (大藤さんの話から学んだこと)		
僕は、今日の環境の話聞いて、大気汚染物 質にある自動車排出ガスは、他のいろいろな大気汚 染物よりも、特に大気汚染の原因になっているので、 自分が車で送ってもらうときも、自分の力で移動したりし て、空気をきれいにしなければいけないなと思いま した。親にも、近くに行くときには、自転車で行ったり、歩 いて行ったりして、空気をよけ汚さないようにしていきたいです。			
大気汚染の原因が人間たちの生活の中で発生し ている排出物質なので、自分たちの生活の中で、照明や、 テレビ、風呂等いろいろな面で、節約に、努力出来ると思 うので、自分たちの生活の中で、節約出来るところは、節約 して、御嵩町を、もっときれいにしていきたいなと思 いました。			
大気汚染の発生源は工場等で、物を燃やすと聞 いたので、また、物を燃やさないようにしたいなと思 います。			

総合学習の時 間プリント 12/1(金)	学年テーマ 『環境』		
	2組	25番	氏名
テーマ	空気の汚れについて (大藤さんの話から学んだこと)		
<p>主に大気汚染の原因は、人間の生活によって発生する「排出物質」や自動車の排出ガスであることが分かりました。「排出物質」は、自然の力では処理できないほど多いことが分かったので御嵩町にこんな自然があるのに処理できないなんて、びっくりしました。思ったよりも御嵩町はきれいでした。大阪と比べても圧倒的にきれいだたので少しうれしかったです。やはり予想通り、車が1番多く二酸化炭素を出しているのになるべく自転車を使うように心がけたいです。わたしたちにできることは、ほかにも、照明をつければないししない、紙をむだ使しない、パソコンを使う時間を減らすなどたくさんあります。できることから東さんして、御嵩町の環境を守っていきたいです。今日から、明日からでもいいのでできることをがんばりたいです。</p>			

総合学習の時 間プリント 12/1(金)	学年テーマ 『環境』		
	3組	2番	氏名
テーマ	空気の汚れについて (大藤さんの話から学んだこと)		
<p>今日は、空気と御嵩町のかかりについて学びました。どんどん技術が進歩していき、私達が暮らしやすくなるはずなのに、今の空気は汚れていくのだと分かりました。でも、ハイブリット車のような、大気汚染物質を出さないようなものも出てきていますし、まったく出さない自転車を、多く活用していったり、減らす方法はいくらでもあることが分かりました。車を1回乗るのをやめるだけでも、多くの量を減らせられるということも分かったため、今まで送ってもらっていた所を、車より少ない電車や、自転車を便るでの移動力を心がけて、これから過ごしていきたいです。少しのことから、多くのムダを省きたいです。</p>			

総合学習の時 間プリント 12/1(金)	学年テーマ 『環境』		
	4組	14番	氏名
テーマ	空気の汚れについて (大藤さんの話から学んだこと)		
<p>今日、環境の話聞いて、今後自分達の できる事を自分なりに考えて、少しでも地球の空気が キレイになるようにまずは1人1人が意識して取 りこんでいきたいです。あと、暖房の温度を1℃ 減らさだけでも、良くなっていくと思うので、小さい事 からでも始めていきたいです。今でも汚れがどんど ん増えているので、もしこのままよくなってい たら、生物の死や、私達人間の健康にも関 わってくるので、そんな事にならないように今から もがんばっていきたいです。御嵩は比較的 空気がきれいだと言われたので、このきれい さを次の世代にもつなげていき、汚い所は工夫 をしてキレイにしりとがんばっていきたい。車でも 運転の仕方を変えていくだけで排出量 を減らしていけると聞いてとてもいい勉強にな</p>			

総合学習の時 間プリント 12/1(金)	学年テーマ 『環境』		
	4組	28番	氏名
テーマ	空気の汚れについて (大藤さんの話から学んだこと)		
<p>今は、いろいろ環境について問題があるん だなあと思いました。</p> <p>工場や自動車から出される光化学スモッグや 酸性雨で生物や人間にも影響をおよぼしている ということを知って、少し怖くなりました。特に、 自動車から排出されるCO₂が有害だと思っ てるので、私達はまだ運転をしないけれど、親さん に気をつけてもらいます。</p> <p>しかし、私達でもできることがあります。私 はこれからの生活で電気のムダ使いを減らして いきます。</p> <p>御嵩町の空気はきれいが分からないけれど これから気をつけて少しでも減って豊かな生 活ができるといいなあと思いました。</p>			

3.2.8 共和中学校の取り組み授業計画概要

(1) 概要

共和中学校では、総合的な学習の時間：「地域から学ぶ-環境-」中で、地域の環境問題として、私たちの身近な河川：「水と私たち」について学習することとした。

学習の成果を取りまとめて「御嵩町環境フェア」で発表するに際し、身近な環境として「大気」と「リサイクル」をあわせて学習を深めることとし、「乗り物と環境を考える」の学習を通して御嵩の環境を知り、課題発見、そして私たちにできることを考えることとした。

表 3.2.4 共和中学校 1 年の授業計画

項目	概要	備考
学年	1 年生	
教科	総合的な学習の時間：「地域から学ぶ-環境-」	
テーマ	私たちの身近な河川：「水と私たち」	
ねらい	身近な地域の特色を、地域の自然環境や他地域との結び付き、人々の営みとのかかわりに着目してとらえさせるとともに、地域の課題を見だし、これからの発展について関心を持たせる	
「交通・環境学習」の項目	・大気を調べる：「乗り物と環境を考える」 ・「御嵩町環境フェア」で発表しよう	H23. 12 月～ H24. 2 月 26 日

注). 年間計画では、「私たちの身近な河川：水と私たち」というテーマですすでに取り組みを開始していたため、とりまとめて環境フェアでの発表する前に、生徒の興味に基づいて“大気”環境についても学習を広げることとした。

3.2.9 学習内容

(1) 年間指導計画案

☆ 月ごとの指導時数と指導内容

月	時数	指導項目	指導内容
4月	1	オリエンテーション	環境「私たちの身近な河川」についての説明
	1	プレゼン	昨年度1年生の取り組みから学ぶ
	1	ビデオ	「水の環境」視聴
	1	準備	臼井先生の講話に向けて質問をまとめる
5月	2	講話	可児川の今昔
	2	講話	可児川の水質について
	1	準備	フィールドワークの準備
	2	可児川フィールドワークⅠ	「身近な河川の水生生物」を調べる
6月	2	フィールドワークのまとめ	調査結果をまとめる
	2	日間賀島研修に向けて	活動内容の説明・係活動
	1	日間賀島研修に向けて	調べ学習・しおりづくりなど
	2	日間賀島研修に向けて	しおり読み合わせ・準備
7月	4	日間賀島研修	環境学習
	1	研修のまとめ	調査のまとめ
	1	生きる	「身近な職業」
9月	1	準備	フィールドワークの準備
	2	可児川フィールドワークⅡ	「可児川の水質」を調べる
	2	フィールドワークのまとめ	水質調査のまとめ
10月	1	みたけの森 研修 オリ	研修の計画・準備
	1	みたけの森 研修 事前学習	「森の役割など」を調べる
	2	みたけの森 研修 現地調査	フィールドワーク
	2	研修のまとめ	まとめの新聞作り
11月	1	個人テーマの決定	オリエンテーション
	2	テーマ研究Ⅰ	調べ学習（インターネット、図書室、実験）
	1	テーマ研究Ⅱ	調べ学習
	2	テーマ研究Ⅲ	調べ学習
12月	1	音楽会に向けて	
	1	生きる	「働く人たちの考え」
	1	人権週間に向けて	
1月	1	生きる	「自分を知る」
	1	オリエンテーション	研究発表会に向けて
	2	準備Ⅰ	発表会の準備（資料の整理）
2月	2	準備Ⅱ	発表会の準備（資料・原稿作り）
	2	準備Ⅲ	発表会の準備
	2	リハーサル	発表の練習
3月	2	発表会Ⅰ	各学級での発表会
	2	発表会Ⅱ	学年での発表会

(2) 「私たちの身近な環境」の年間計画

<p>1年生 総合的な学習の時間</p> <p>「水とわたしたち」 年間計画（名前）</p>		
一学期 導入 「水の必要性」	水の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人として生きていく上での水の必要性 ・ 今、飲んでいる水はどこから来るのか？ ・ 周りの水環境 ・ 水の循環をつかむ ・ 講座 ビデオ・過去の資料・環境課
一学期 「私たちの周りの水環境」	私たちの周りの水 「可児川を知ろう」	<p>「フィールドワーク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可児川の現状（川を間近に見て事実をまとめる） ・ 河川の見方・歩き方（今後の水質調査など河川での活動のポイント・安全対策） <ul style="list-style-type: none"> ○ マイスターの活用（臼井先生） <p>「フィールドワーク」班でテーマを決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 可児川の行方・・・ <ul style="list-style-type: none"> ・ 木曽川の上流から下流まで辿ってみる <ul style="list-style-type: none"> ○ 「日間賀島研修」・・・海の磯遊びをして生態をみる。 ・ 海の現状・様子・保全をするには（夏休みの課題）
二学期 「水とともに生きる」	可児川と周りとのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ○ サイエンスワールドの活用 ・ 水生生物の調査 水質の変化を捉える <p>「可児川の昔と今」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 資料の交流・共有
二学期 「水の行方」	地域の河川の汚染の行方	<p>「森が育む水」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みたけの森の環境を知り、動物や植物の生きる環境だけでなく、水を蓄えて、浄化する作用のあることを知る。 <p>「河川汚染と海洋汚染」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 可児川の汚れが、木曽川、伊勢湾と続き海洋汚染にかかわることを知る。 ・ 資料、ネット等で調査。
二学期 「私たちにできること」	どうすればこれ以上河川や海を汚さないで済ませるか。	<p>「家庭でできることを考え、実践しよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 洗剤 ・使わない工夫・減らす工夫 ○ ごみ、残菜 ・エコ料理・堆肥づくり ○ 油・ふき取り ・石鹼、蝟燭作り ○ 排水 ・節水・リサイクル
三学期 「みんなに働きかけよう」	情報発信	<p>「水・大気・リサイクル」を深める</p> <p>・大気：「乗り物と環境を考える」</p> <p>「交流会へ向けて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表方法の選択 プレゼンテーションソフトの使用 ・ 掲示資料の活用 <ul style="list-style-type: none"> ○ クラスリハーサル ○ クラス内発表会

		<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年発表会 ※マイスターやサイエンスワールドなどの関わった方をゲストで招いて発表を見ていただく。
三学期 「校外へ呼びかけよう」	地域への 啓蒙活動 として	<ul style="list-style-type: none"> ○全校へ発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内掲示 ・ 集会での発表 ○地域への発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境フェアへの参加 ・ 公共機関や大型店舗などでの地域の方への展示発表 ○交流校への発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表会のビデオ ・ 資料のレンタル

(3)「乗り物と環境を考える」学習内容

1).概要

① 名称

総合的な学習の時間：御嵩の環境／「乗り物と環境を考える」

② 日時

平成24年1月17日（火）、第5校時(14:05～14:55)及び第6校時(15:05～15:55)

③ 会場

可児市・御嵩町中学校組合立共和中学校 1年生教室

④ 授業の対象

1年生（2クラス合同、59名）

⑤ 目標

可児市・御嵩町の大気の現状を確認し、きれいな空気を守っていく必要性を認識して、一人ひとりができることを考える。

2).学習のねらいと構成

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none">・私たちが生き、くらしている地域の大気の状態に関心を持って、“知りたい”という好奇心を活性化して、意欲的に学習できるようにする。・見えない空気を調べるための工夫、評価をするためのケース設定の考え方を示し、計測結果を検証する視点を理解する。・空気を保全するための先人の努力を理解し、地域の環境の問題に対して、一人ひとりが実践できる環境にやさしい暮らしと目標を考え、発表する。
学習の構成	5時限目； <ol style="list-style-type: none">1. 可児市・御嵩町でも大気汚染は進んでいるのでしょうか？2. 大気汚染物質とは？～その種類と影響～3. 校区内の空気を調べよう4. 大気汚染物質の排出原因は？ 6時限目； <ol style="list-style-type: none">5. クルマと身近な排出ガスを調べてみよう ※. 計測と考察6. 私たちに何ができるのでしょうか？7. 大気汚染物質を削減するための努力8. もう一度、可児市・御嵩町でも大気汚染は進んでいるのでしょうか？
目標	<ul style="list-style-type: none">・御嵩町の大気に興味関心をもち、環境への取り組みを調べることができる。・きれいな空気を守る必要性を認識し、削減に向けた取り組みに対して、自分の考えを持つことができる。・調べたことや考察したことについて分かりやすくまとめ、それらを提示しながらはっきり話し、伝えることができる。

3.2.10 授業の実施

(1) 5 時限：「校区内の空気を調べよう」

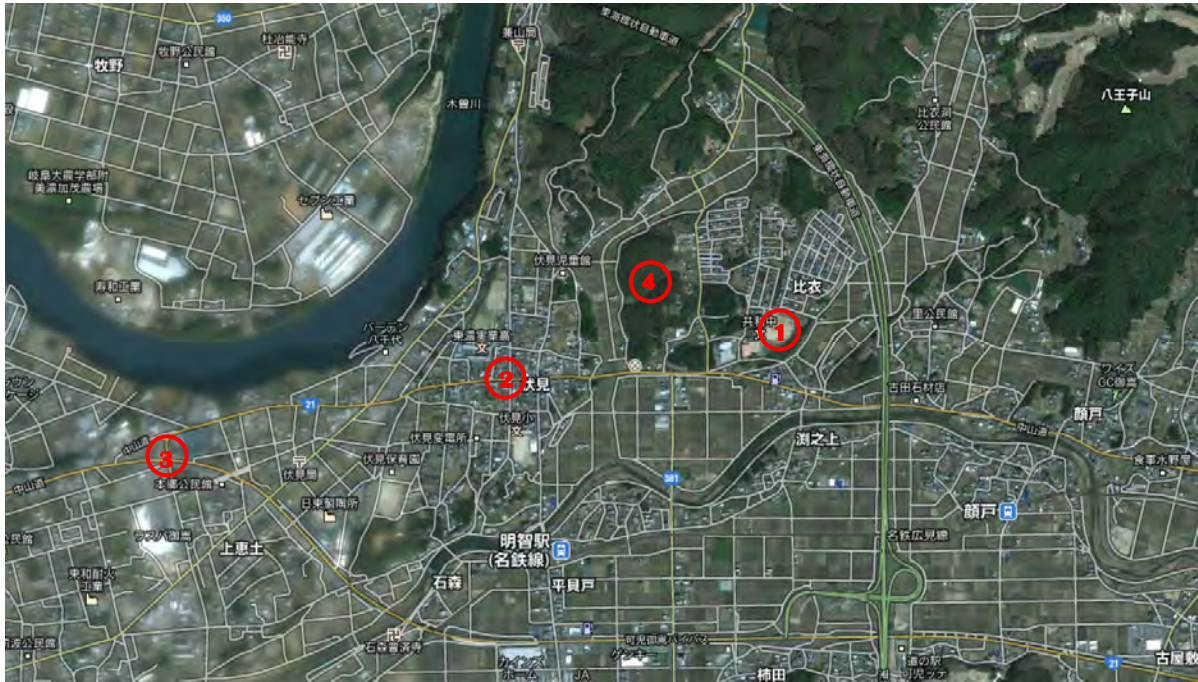
time	ねらい	学習活動	資料・アドバイス
0'	問題意識に対して、自分自身の主張をするとともに、“なぜ？”という動機を生成する。	御嵩町の空気は“きれい”なのでしょうか？ 1.「御嵩町は自然豊かで空気もきれいである」対「近年の地球温暖化、クルマの増加は御嵩町にも影響がある」という主張に対して、賛否を問う。 2.「なぜ」を問いかけ、その根拠を挙げさせる。	・“なぜ”に対して根拠の薄弱さに気付き、“知りたい”という動機を活性化することがポイント。 参考:「御嵩町に酸性雨は降っているのでしょうか？」
5'	何を調べれば“空気がきれいかどうか？”がわかるのだろうか？ その種類と影響を知る。	何を調べれば、“きれい”かどうかがわかるのでしょうか？ 1.大気汚染物質が何か？種類と影響を知る。 2.御嵩町の空気を調べてみよう。 *我が国の大気汚染物質排出量の推移を知り、先人の努力を理解する。	・大気汚染物質の種類と影響、排出量の推移、及び削減努力を理解させる。 ・調べてみようという行動意図を形成する。
10'	大気汚染物質の計測方法を理解する。	代表的な大気汚染物質の計測原理と方法を理解する。 ・二酸化窒素(NO2): ザルツマン試薬、気体検知管 ・二酸化炭素(CO2): 気体検知管	・代表的な大気汚染物質計測方法を視覚的に提示して興味を持たせる。 計測器具、試薬を見せる。
20'	調査計画: 仮説を立て、予測結果の検証方法を理解する。	空気がきれいな場所/汚れている場所を予測し、その理由を考える。 1.どこで計測すればよいのでしょうか？ 2.その理由とあわせて、地点を決定するプロセスを共有する。 (評価の要素: 自動車、工場、家、人、植物)	・調査地点図: 地図上に計測地点をプロットして、地点選択のイメージを生起する(あらかじめ採取するが、はじめは公開せずに予測させる): 別紙参照。 ・WS 大気汚染物質調査票
30'	計測結果を整理して、“なぜ？”を探究できる。 検証方法と視点を理解する。	計測結果を整理して、大気汚染物質が多い地点を確認し、その理由を考える。 (あらかじめ計測して結果を提示する) 1.計測結果を報告、整理する。 2.大気汚染物質濃度が高い地点/低い地点とその理由を意見交換する。 3.評価の視点を提示して理解する(必ずしも仮説通りではないこと、差がそれほど顕著ではないことなど)。	・調査結果表 ・調査結果を整理して提示し、結果の考察をするに際して、視点を提供して“なぜ？”を考える支援をする。 ・主な発生源である自動車が排出する大気汚染物質の影響がそれほど顕著にはあらわれないことに対して、直接計測することを提案する。
45'	結論が明確に得られない問題への対応と姿勢を学ぶ。 また、要請に対して協力行動を実行する。	排出源から直接大気汚染物質を計測する必要性を理解する。 1.排出源から直接大気汚染物質を計測する必要性と方法を理解する。 2.計測のための協力行動を実行する。	・排出源からの大気汚染物質排出量計測方法を提案する。

(2) 休憩：クルマの排ガス収集

time	ねらい	学習活動	資料・アドバイス
0'	協力行動の実行：自動車の排ガス収集に協力する。	教師と協働して、自動車の排気ガスを収集整理する。 1.自動車排ガス抽出の協力を要請する。 2.教師と協働して自動車排気ガスを収集する。	・ビニル袋、ホワイトソックス、軍手、ビニルテープ ・抽出ケースは別紙

(3) 6 時限：「クルマと身近な排出ガスを調べよう」

time	ねらい	学習活動	資料・アドバイス
0'	調査計画を理解する。	調査計画と方法、及び設定ケースを知る。	・WS 自動車排気ガス調査票
5'	器具と試薬を用いて排気ガス濃度を調べる。	クルマと身近な排出ガスを調べてみよう。 1.収集した排ガス計測を実施する生徒を募集する。 2.排気ガス濃度測定方法を聞き、教師と協働して計測して、WS に記録する。	・WS 自動車排気ガス調査票 ・ビニル袋に収納されたガスの濃度計測を支援する。
20'	計測結果を整理して、わかったことを発表できる。	計測結果を整理して、考えを発表し合う。 1.計測結果を整理して確認する。 2.計測結果に基づき、気づきを発表し合う。	・WS 自動車排気ガス調査票 ・調査結果から、クルマ及び人間のくらしが大気汚染の原因になること、クルマの影響が大きいことに気付かせる。
35'	空気の汚れを防止する方法を考えて、発表する。	空気の汚れを防止する方法を考えて、私たちにできることを発表する。 1.空気の汚れを防止する方法を考えて、発表する。 2.私たちにできることは何かを考え、発表する。	・WS わかったこと・感想 ・原因を理解し、地域や自らのくらしを関連付けることで、解決方法の議論が活性化することを示唆する。
45'	各界の大気汚染物質削減のための努力を理解する。	大気汚染物質を削減するための努力を知る。 ・大気汚染物質削減技術、制度や仕組み、運動等を聞き、理解する。	・テキスト
49'	まとめ、行動規範に気付かせる	御嵩町の空気は“きれい”なのでしょうか？ ・最後にもう一度、結論に対する意見を交換し、学習の意義を確認する。	・WS わかったこと・感想



No.	調査地点	二酸化窒素(NO ₂)		二酸化炭素(CO ₂)
		気体検知管	ザルツマン試薬	気体検知管
①	共和中学校 グランド			
②	国道21号・伏見交差点			
③	可児・御嵩バイパス (上恵土本郷西)			
④	共和中学校 ・裏山			

図 3.2.1 大気環境計測地点位置図とワークシート

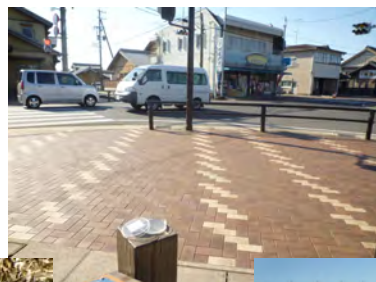


写真 3.2.4 校区内の空気を調べる

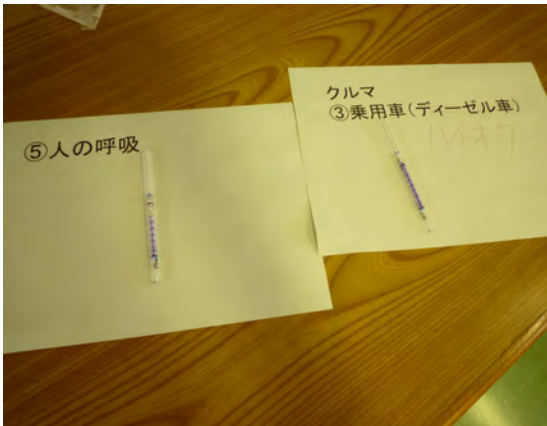


写真 3.2.5 学習の様子



写真 3.2.6 「御嵩町環境フェア」での発表と展示

3.3 今後の継続的实施に向けた検討

これまでの小学校における「交通・環境学習」の経験を踏まえ、中学校での取り組みを開始した。

中学校での授業実施は、学校及び学年の年間学習計画に基づくこと、中学校の教師の方々と相談しながら原則として学校主体での取り組みを行うこと、これまでに開発された「交通・環境学習」教材を参考にしながら御嵩町独自の地域に根差した学習を実施することなど、小学校での学習実施の基本的な方針と同様に取り組みを実施した。

すでに年間学習計画が始まってからの計画検討であったため、向陽中学校と共和中学校の1年生の総合的な学習の時間の中で「交通・環境学習」を実施することとした。1年生の総合的な学習の時間のテーマは、いずれも“地域の環境”であったため、大気環境と交通の問題に着目して、出前講座「乗り物と環境を考える」を挿入することとした。上之郷中学校では、1年生の社会科の教科学習過程の中で、身近な地域の調査として「地域の鉄道名鉄広見線」というテーマを考え、新学習指導要領の学年間の流れを踏まえて、新2年生で実施するべく学習計画を策定した。

向陽中学校と共和中学校で実施した「乗り物と交通を考える」出前講座は、調査や実験を踏まえて見えない大気を視覚化することから導入したことで、生徒には非常に興味を持って取り組むことができたと考えられる。また、豊かな緑と可児川をフィールドとした環境に加えて「大気」環境にも取り組んだことで、より内容の濃い総合的な学習の時間となったと思われる。さらに、「御嵩町環境フェア」への展示と発表を通して、メッセージを発信することもできたことは生徒にとってもよい経験になったと考えられる。

なお、向陽中学校1年生は、御嵩小学校5年生の時の「交通・環境学習：御嵩町の環境調べ」を経験した生徒であり、小学校で学習した内容をフィードバックしながらより深めることができたと考えられる。

今後は、年間学習計画の検討時から「交通・環境学習」について位置付けを行い、生徒にとってより望ましい学習にしていくことが望まれるとともに、継続的な取り組みと、各学年での取り組みへの拡大、中学校での教科課程を反映した教材の開発等に取り組んでいくことが望まれる。

4.情報提供・広報活動の取り組み

4.1 情報提供・広報活動の概要

「交通・環境学習」を、継続・発展させていくためには、実際の学習現場での取り組みを関係者に配信して情報を共有する事が不可欠である。

平成22年度は、御嵩町教育センターおよび御嵩小学校ホームページで情報提供を始めるとともに、新たに学校行事や「御嵩町環境フェア2011」での展示や発表を展開するなど、関係機関の皆様のご協力をいただいて、多くの媒体で情報提供・広報を実施することができ、多くの成果を得ることができた。

しかし、提供すべき情報源は学校にある一方で、情報提供と広報活動の取り組みをすべてにわたって学校が分担するには労力が大きすぎるという課題があることから、情報提供と広報活動を分けて検討していくことが必要である。具体的には、情報提供については各小学校からの情報を提供していただくことが必要であるが、広報活動については、関係機関等が主体となって、持続的な取り組みに向けた合理的な役割分担と仕組みを構築していくことが望まれる。

実施する情報提供と広報の枠組は、以下に示す通りとする。

①情報提供として、関連情報のデータベース化と活用のしくみの構築

- ・「交通・環境学習」の関連情報を一つの箇所にまとめてデータベース化する仕組みを検討する。
- ・具体的には、昨年度構築した「御嵩町教育センター」HP内に構築した「交通・環境学習参考資料」のページを活用し、毎年度の教材・授業記録を定期的に公開していく仕組みを構築する。
- ・さらに、御嵩町版「交通・環境学習」実施要領を作成し、教員をはじめとした関係主体が今後の「交通・環境学習」を実施する際に参考となる基礎資料とする。

②広報活動として、関係主体での活用の仕組みの構築

広報活動については、関係機関等が主体となって、持続的な取り組みに向けた合理的な役割分担と仕組みを構築していくことが望まれることから、表4.1.1のような枠組みで進めることとする。

表 4.1.1 情報提供・広報活動の枠組みと役割分担

ねらい	活動名称	媒体・具体的方法	情報発信者	対象					
				小中学校	教員	専門的識者	関連団体	保護者	一般市民
理解の推進と普及に向けた情報提供 広く取組みを知っていただくための広報啓発	研究公開授業	公開授業案内、公開授業と研究会	小中学校	○	○	○	○	○	
	報告書配布	報告書概要編制作・配布	御嵩町教育委員会	○	○	○	○		
	御嵩町版「交通・環境学習」実施要領配布	実施要領の作成・配布	御嵩町教育委員会	○	○				
	交通・環境学習データベース(HP)	教材、授業記録などを蓄積装置に格納し、ホームページ等で公開	御嵩町教育委員会	○	○				○
	学校便り等	学校便り「御嵩小広報」など	小中学校					○	
	広報紙による広報	実施結果ニュース、(御嵩町ホームページとリンク)	御嵩町					○	○
	ホームページ	実施結果ニュース(ポータルサイト)、広報紙「ほっとみたけ」(月刊)	御嵩町					○	○
	マスコミ	新聞・テレビ・ラジオ放送等による報道依頼	御嵩町						○
	学会・イベント等での報告	学会・イベントなどでの報告	小中学校・御嵩町・関係者			○			

4.2 本年度の情報提供・広報活動

4.2.1 情報提供・広報活動の概要

本年度に実施された情報提供・広報の取り組みを表 4.2.1 に示す。

表 4.2.1 平成 23 年度の情報提供・広報活動の概要

活動名称	実施概要	備考
研究公開授業	・上小タイム(上之郷小学校) :2012年1月28日 ・保護者参観(伏見小学校4年生) :2012年2月27日	
報告書配布	各学校に配布予定	御嵩町教育委員会
御嵩町版「交通・環境学習」実施要領配布	・実施要領作成後、各学校に配布予定	御嵩町教育委員会
交通・環境学習データベース(HP)	・「御嵩町教育センター」ホームページに“御嵩町版「交通環境学習」実施要領”を掲載予定	御嵩町教育委員会
学校便り等	・各学校の校報・学年だよりでの情報提供	保護者通信
広報紙による広報	・「名鉄広見線活性化ニュース」での紹介	※御嵩町広報誌「ほっとみたけ」(予定)
ホームページ	・小学校ホームページでの広報	
マスコミ		未定
学会・イベント等での報告	・「御嵩町環境フェア2012」での発表会(平成24年2月26日(日)) ・第6回日本モビリティ・マネジメント会議での紹介(平成23年7月15日~16日) ・土木と教育フォーラムで紹介(平成23年7月30日)	

4.2.2 本年度の実施した情報提供・広報活動

(1)研究公開授業

上之郷小学校では、「上小タイム」として、保護者、校区内町民に子どもたちの日ごろの学習成果を発表する場を設けており、その中で「交通環境学習」に関わる学習内容についても情報発信された。

また、伏見小学校においても、4年生の児童が、可児川での学習のまとめとして、可児川を大切に作る作戦や、1年間学んできたことを、分かりやすく聞き手に伝えるような博士発表会を保護者の方や3年生を対象に実施された。

上小タイムで発表された学習内容の概要を表 4.2.2 に示す。

表 4.2.2 「上小タイム」での発表概要

学年	発表形式	タイトル	概要
3年	ブース発表	大豆はかせになろう	児童が学習した「豆腐作り」についての内容を紙芝居やクイズを用いて発表
4年	ブース発表	環境について	<ul style="list-style-type: none"> ・「節水」「節電」「ゴミの分別」など、テーマ別に児童がエコについて学びまとめたことを模造紙等にまとめて発表 ・児童が実践したエコについても模造紙などにまとめて展示
5年	ブース発表	福祉について	<ul style="list-style-type: none"> ・「自動車見学」「高齢者体験」「アイマスク体験」など児童が社会見学などで体験して学んできたこと、感想などを模造紙にまとめて展示
6年	ステージ発表	上之郷の歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・上之郷の歴史や文化について調べ、学んだことを劇形式で発表。歴史の中で中山道と上之郷の関わりについても学習し、発表された。

※4年生・5年生・6年生の発表で、「交通環境学習」に関する学習内容が発表された。

上小タイム発表会プログラム

伝えよう！学び合おう！

1. 期 日
平成24年1月28日（土曜日）

2. 日 程
9:15～ 9:35 開会式（体育館）

9:40～11:50 各学級の発表
 9:40～10:10
 6年生ステージ発表【上之郷の歴史】
 10:20～11:50
 3年ブース発表【大豆はかせになろう】
 4年ブース発表【環境について】
 5年ブース発表【福祉について】



学年～時間	9:35	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00
3年			発表 (図工室)			発表 (図工室)
4年				発表 (ランチルーム)		
5年			発表 (多目)		発表 (多目)	
6年		発表 (体育館)				
	開会式					昼食

12:00～12:50 昼食・歯磨き
 (保護者の方も歯ブラシ・コップを持参して、食後に親子そろって) フラッシング～!
 弁当(各自)

12:50～13:20 PTAより
 「歯に関わる発表」(本部役員ほか)
 「冬休み歯みがき表彰」(母親委員会)
 「歯科保健のプレゼンテーション」

13:25～13:45 閉会式(体育館)

13:55～14:35 後かたづけ
 学級ごとの反省会

14:35～14:50 帰りの会

15:00 一斉下校

1年2年授業参観
 (1年2年教室へ移動ください)
 13:35～14:20

*本日は、参観授業のある1年2年以外の方は各学年の教室には入らないでください。

図 4.2.1 上小タイム発表プログラム



写真 4.2.1 4年生：環境についての発表



写真 4.2.2 4年生：自分たちでできるエコの展示

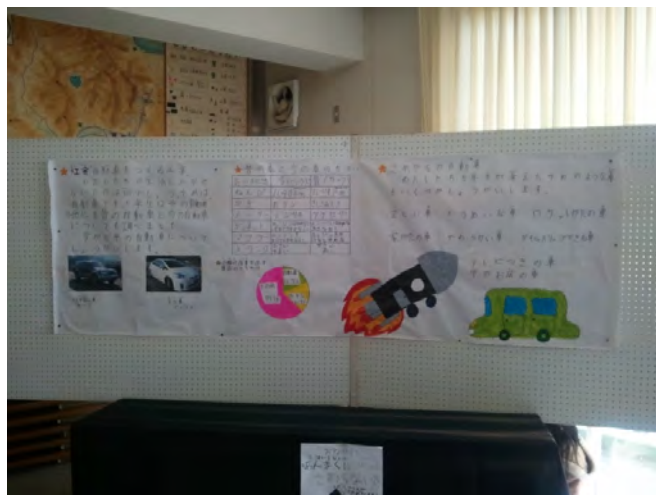


写真 4.2.3 5年生：自動車工場見学について



写真 4.2.4 6年生：上之郷の歴史

(2) 報告書配布

- ・平成22年度の報告書を、関係機関・団体に配布。
- ・平成23年度の報告書を、関係機関・団体に配布予定。

(3) 御嵩町版「交通・環境学習」実施要領配布

- ・今年度の事業で作成する御嵩町版「交通環境学習」実施要領を、関係機関・団体に配布する予定。

(4) 交通・環境学習データベース(HP)

- ・今年度の事業で作成する御嵩町版「交通環境学習」実施要領を、「御嵩町教育センター」ホームページ内の「交通・環境学習参考資料」のサイト(平成22年に新設)に格納し、関係者が閲覧・活用していただくことを目指す。

(5) 学校便り等

- ・各学校の保護者対象の校報や学校便りの中で、情報提供を行なっていただいた。

岐阜県可児郡御嵩町立御嵩小学校 Tel 0574-67-1191 FAX 0574-68-0062 ケータイ 090-1418-8637

ふるさと御嵩と共に生き・高まる学校 学ぶ喜び・豊かな心・健やかな体

学校の教育目標
のびよう きたえよう
せいりっぱい

みんなて学ぶ子
たすけあう子
けんこうな子

平成23年度 第120号 2月 17日

【生徒指導—奉仕、福祉教育】

エコキャップ運動 ご協力ありがとうございます

キャップ382.45kg分をリサイクル事業者と社会福祉協議会へ

御嵩小学校児童会のふれあい委員会では、エコキャップ運動を推進しています。

エコキャップ運動とは、ペットボトルのキャップ収集事業を行い、キャップをゴミとして焼却処分するのではなく再資源化を促進することで、焼却処分に伴うCO2の発生を抑制し「地球環境を改善する」併せて、キャップの再資源化で得た売却益をもって「世界の子どもたちにワクチンを寄贈し救済する」などに寄与することを目的としているものです。

集めたエコキャップが、駐車場北倉庫いっぱいになったため、2月14日(火)、教頭先生のお世話により、リサイクル事業者へ運んでいただきました。軽トラック2台分でした。

▲2/14 軽トラ2台分を運ぶ

NPO法人エコキャップ推進協会に協賛するリサイクル事業者では、キャップ1kg(約400個)あたり20円で引き取り、うち10円が「世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付されます。よって、残りの10円はふれあい委員会の収益金となるのです。

今回集めたキャップは、リサイクル事業者で計量すると、382.45kgもありました。よって、3,825円の収益金があり、御嵩町社会福祉協議会へ寄付いたしました。ご協力本当にありがとうございました。

▲2/16 御嵩町社会福祉協議会へ3,825円を寄付

多くの方々からエコキャップを提供して頂き大変感謝しております。エコキャップを提供して頂きます皆様には、以下の点にご配慮頂きご協力賜りますようお願い申し上げます。

(お願い事項)

- 1、破砕機が故障する原因になりますので金属類は絶対に入れないでください。
- 2、シール(キャンペーン用など)は、必ずはがしてください。
- 3、大きさは清涼飲料のキャップサイズかそれ以下にしてください。

図 4.2.2(1-1) 御嵩小学校校報(その 1-1)

もっと減らせるわが家のごみ！小さな実践が未来への大きな挑戦！

家庭ごみ減量化推進県民大会

2月5日(日)午後1時より、山県市文化の里花咲きホールにて、家庭ごみの減量化をテーマにした岐阜県主催の「家庭ごみ減量化推進県民大会」が開催されました。
基調講演の後、21団体によるブース展示の交流会があり、今すぐ実践できる家庭でできるごみの減らし方について多くのことを学びました。その中で、特に次の点は重要だと思いました。

①生ごみの水分の減量（ぎゅっとひとしぼり運動）

生ごみの約80%は水分です。水分が含まれたまま、ごみ焼却施設で焼かれると、燃やすための費用やエネルギーが余分にかかります。家庭で、生ごみを流し台からゴミ袋に入れる前に、水分をぎゅっとひとしぼりすることは、ごみを減らすために有効な方法です。

②生ごみ減量と堆肥化（ダンボールコンポスト、木枠コンポストでの堆肥）

堆肥づくりのコツは、水分・栄養・酸素のバランスです。ダンボールコンポストでも外部での木枠コンポストでも、水分調整をしっかりとって切り返しをすることで、上手に分解が進んでいきます。米ぬかを間に挟んでやると、分解が促進され、温度が上がります。温度が60度ぐらいまで上がると虫や菌なども死滅し、安心して使える堆肥が出来上がります。



▲基調講演



▲ブース展示(岐阜県)



▲ブース展示(可児市)

2月18日(土) 可児川グリーンキャンペーンへ参加を

御嵩町環境基本条例で掲げた「可児川や里山などの恵み豊かな自然環境の保全」の取り組みの一環として、可児川グリーンキャンペーンが行われます。大人も子どももみんなで参加しましょう。汚れてもいい服装で参加して下さい。軍手やゴミ袋は御嵩町住民環境課が準備します。

- ◆日時 2月18日(土) 午前8時半から9時半まで
- ◆集合場所 御嶽宿さんさん広場

御嵩町環境フェアで5年生が発表 御嵩小の交通環境学習の取組も展示発表

- ◆日時 2月26日(日) 午前10時ごろから
- ◆会場 中公民館2階研修室にて
- ◆内容 総合学習「大好き！御嵩」の発表

「大好き！御嵩」の学習は、御嵩町の自然環境について、各学級でテーマを選択し、調べることで、自分たちの住む御嵩のすばらしさを知り、ふるさと御嵩を好きになるために設定したものです。テーマとして取り上げているのは、「亜炭、可児川、大気汚染」の3つです。調査・実践したことを発表します。NHK岐阜放送局で収録した各学級の「大好き！御嵩」内容も紹介する予定です。ぜひ多くの皆様の応援をよろしく願います。お早めにご来場お願いします。

また、各学年の交通環境学習の取り組みをポスター展示で紹介いたします。更に、4年生の名鉄広見線のポスターは、御嵩町名鉄広見線活性化協議会が展示する予定です。


図 4.2.2(1-2) 御嵩小学校校報(その 1-2)

御嵩小校報

平成23年度 第121号 2月 20日

学校の教育目標

のびよう きたえよう
せいじっばい



みんなで学ぶ子
たすけあう子
けんこうな子

【学習指導—ふるさと教育】

名鉄広見線の電車の ポスターの活用を

4年生は、社会科の「きょう土に伝わる願い ～乗って残そうふるさとの電車～」の単元と、総合的な学習の時間の「人にやさしい広見線について考えよう」で、学んだことのまとめとして、ポスターをつくりました。それらを、御嵩町で活用していただくよう御嵩町役場へ届けました。御嵩町役場では、作品をコピーしたり、写真に撮ったりされ、今後、有効的に活用されます。渡辺公夫御嵩町長様より、お礼の手紙が届きました。御嵩町の役に立つ学習ができました。



▲町報でのポスターの活用

今年度の作品より



平成24年2月吉日

御嵩町立御嵩小学校 校長先生

4年生ご担任の先生 児童のみなさん

名鉄広見線活性化協議会
会長 (御嵩町長) 渡辺 公夫

——名鉄広見線のポスターについて——
(お礼)

御嵩小学校4年生のみなさんは今年も名鉄広見線のポスターを描いてくださいました。

昨年と同じように赤い電車が可児・御嵩を走り続けて欲しいという願いを描いてくださって心からうれしく思っていました。

今年の4年生の皆さんも一年間にわたりふるさとのことと環境のことを学ばれ「電車を残して欲しい」「電車は宝物」といった気持ちになられ、それをポスターに描いてくださいました。

この皆さんの学習の成果を一人でも多くの市町の方々に見ていただくようにしたいと考えています。そうすることが皆さんに対する一番の感謝の気持ちの表現と思っています。


4年生でふるさとのごとき先生から教えていただき、そして友と学ばれたと思います。一生に一度しかない4年生を御嵩で一緒に過ごしたことを忘れぬことなく、これから元氣よくすくすくと成長して行ってください。

電車のポスターを元氣いっぱい喜びのびと描いてくださって本当にありがとうございました。

図 4.2.2(2) 御嵩小学校校報(その2)

御嵩小校報

平成23年度 第126号 2月 27日

学校の教育目標
のびよう きたえよう せいしゅぱい

 みんなで学ぶ子
 たすけあう子
 けんこうな子

【学習指導】

御嵩町環境フェアで5年生が堂々と発表！

御嵩の自然環境を守るために自分たちが実践すること

2月26日(土)、中公民館で御嵩町環境フェアが行われ、御嵩小学校の5年生の代表が、2階研修室にて、総合学習「大好き！御嵩」の発表を行いました。
 「大好き！御嵩」の学習は、御嵩町の自然環境について、児童が興味をもったテーマを学級で選択し、調べることによって、自分たちの住む御嵩のすばらしさを知り、ふるさと御嵩を好きになるために設定したものです。テーマとして取り上げているのは、1組が「亜炭」、2組が「可見川」、3組が「大気汚染」です。



▲御嵩小5年生の発表

今回は、2月8日にNHK岐阜放送局で収録した番組も流しながら、各学級で学習の成果を発表しました。発表を聞いていた町民の皆さんから、「岐阜放送局で収録した番組をうまく活用され、各学級が全員発表になっていて、とてもよかったです。」「よく調べていました。環境の大切さ、人とかかわりの大切さがよく分かりました。」「調べたことだけでなく、自分たちはどうしていくのかをきちんと発表していました。素晴らしい発表でした。」等々とほめていただきました。5年生の皆さん、そして、5年生の先生方、素晴らしい発表を本当にありがとうございました。

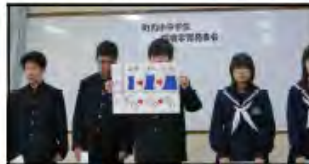


▲みんなで実践すること

また、伏見小4年生と上之郷中1年生の「可見川」の発表もよく調べてあり、素晴らしい発表でした。



▲伏見小4年の発表



▲上之郷中1年の発表

御嵩小学校の交通環境学習



▲展示「御嵩小4年生の交通環境ポスター」

▲展示「御嵩小の交通環境学習」

図 4.2.2(3) 御嵩小学校校報(その3)



すすんでやりぬく上之郷の子

<めざす学校像>

- 確かな学びのある学校
- 豊かな人間性が育つ学校
- 地域とともに歩む学校

御嵩町立上之郷小学校

平成24年1月10日号 No.11

上小タイム発表会においでください

校長 福井俊道

新しい年、平成24年(西暦2012年)を迎えました。干支は「辰」。たつ、龍、です。十二支の五番目に数えられる動物です。伝説の生き物・龍は瑞^{ずいしやう}祥(めでたいことが起こるといふ前兆)とされています。めでたいことが起こる年となることを願います。

さて、子どもたちの未来が輝くものにするためには、学校・家庭・地域が連携して子どもたちに「生きる力」を育むことが必要です。学校教育の場では、

- ① 子どもたちが活動したり、取り組んだりする機会を設ける
- ② 活動や取り組みの中で、子どもたちの「やる気」(意欲)を高める
- ③ その中で、自分で考え、判断する機会・場を与える
- ④ 他の人と関わり、活動や取り組みの節目ごとに気持ちを考えさせる

が大切であると考えます。

その成果を皆さんに観ていただける場として1月28日(土)に『上小タイム発表会』を設定しました。新しい学習指導要領が本年度から全面実施となり、「上小まつり」から上之郷小学校の各学年(3～6年)で年間通し、継続的に取り組んでいる「総合的な学習の時間」発表の場として『上小タイム発表会』と名称を変更しました。内容も昨年度と変わっています。

午前：3～6年の発表(3年「大豆はかせになろう」、4年「環境について」、5年「福祉について」、6年「上之郷の歴史」)。親子で昼食・PTA表彰・歯科保健のプレゼンテーション。

5年生が山田久一様から指導していただき収穫した餅米の販売もあります。

(収益金は、上之郷小学校の子どもたちの教育活動に使わせていただきます)

午後：1, 2年授業参観。閉会式・反省。

子どもたちが調べたり、学んだりしたことを保護者・家族・地域の方々に観て・聞いていただくと子どもたちの励みになります。是非、おいでください。

3月の各学年の仕上げを目指し、三学期も「感動と活力のある上之郷小学校」をめざし歩みます。保護者・家族・地域の皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

図 4.2.3(1-1) 上之郷小学校校報(その1-1)

御嵩町町長さんに歯科保健優良校県一位を報告

昨年末の12月14日(水) 歯科保健優良校審査で小規模校の部県一位を受賞したことを渡辺町長に報告しました。

福井校長、保健主事の佐藤教諭、奥村養護教諭が優秀旗、賞状、県一位記念の楯を携え町長室を訪れました。

渡辺町長からは「御嵩町内の小学校が毎年歯科保健で大きな賞を受賞することは大変うれしく思う。町としても出来る限りの応援をする。」という言葉頂きました。上之郷小を始め町内の小学校に対する期待の大きさを感じました。来年度以降も歯と口の健康作りの指導を通して健康の自己管理の出来る子どもを育てていこうという気持ちを新たにしました。



保護者や地域の皆様に上之郷小学校の 歯科保健活動の歩みを紹介します

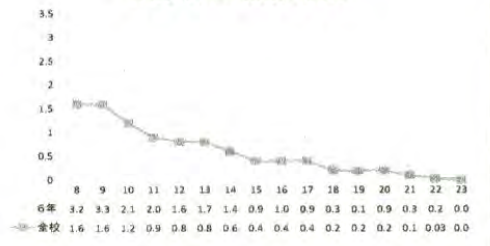
*は歯科保健優良校実地審査の結果

- 平成13年度 ・年2回ブラッシング指導
- 平成14年度 ・年4回カラーテスト実施 ・年2回歯科検診実施
- 平成15年度 ・給食後の歯みがきタイム実施「8020の音楽」を流す。
・ブラッシング指導に職員も参加・研修
- 平成16年度 ・栄養士による「食」に関する指導の授業
- 平成17年度 ・フッ素洗口実施
- 平成18年度 ※重点的な取り組みスタート
*優良賞 ・全校親子ブラッシング指導(登下校訓練と一緒に隔年実施)
- 平成19年度 ※「歯・口の健康づくり研究事業」の指定を受ける。
*準県一位 ・毎月1回の「はピカ」デーを実施
・1年生親子ブラッシング指導(仕上げみがき中心に・隔年実施)
・学級活動の工夫
- 平成20年度 ※「歯・口の健康づくり研究事業」公表会
*準県一位 ・年2回の歯科検診の実施 ・歯の週間の年間3回実施(7月・11月・2月)
・保護者対象に歯科衛生士によるブラッシング指導の実施。歯科医から保護者に歯に関する講話。
- 平成21年度 ・全校児童に個人用デンタルミラーを持たせる。
*県一位
- 平成22年度 ・かみかみセンサーによるかむことを意識させた指導
*準県一位
- 平成23年度 ※地域・家庭・学校の連携し合った
*県一位 歯科指導
・校長賞の実施。学校歯科医が全学年のよい歯をもった児童を選定。「校長賞」として表彰。
・歯と口の健康ポスターを地域(中学校・保育園・公民館)で掲示
・PTA広報誌に岡野歯科医のコーナーを新設
・永久歯のむし歯や虫歯治療の数(DMF指数) 0



平成21年度 1年親子ブラッシング 平成22年度全校親子ブラッシング

年度別DMF指数の変化



本校の歯科保健活動に本格的に取り組んでまだ6年しか経過していませんがご覧のような着実な成果を残してきました。賞を取ることは名誉なことですがそれ以上に『DMF指数0』というのは最大の勲章だと思っています。今後とも本校の取組に対しご支援を賜れば幸いです。

図 4.2.3(1-2) 上之郷小学校校報(その1-2)



すすんでやりぬく上之郷の子

<めざす学校像>

○確かな学びのある学校

○豊かな人間性が育つ学校

○地域とともに歩む学校

御嵩町立上之郷小学校

平成24年2月2日号 No.13

上小タイム発表会に多数ご参加ありがとうございました

教頭 杉本 純一

1月28日(土)は早朝より保護者や関係者、地域の皆様方等多くの方々のご参加いただき、『上小タイム発表会』を開催しました。

今年度から昨年度までの『上小祭り』を『上小タイム発表会』に改称し、総合的な学習の時間の発表という形式に変更しました。



開会式

3年以上が総合的な学習の時間で学んだ事を発表しました。各学年とも参観者に自分達が学んだ事を分かりやすく発表するために事前に一生懸命練習をしたり道具を作ったりしました。当日も、大きな声で話したり資料を指し示したりしながら、はっきり発表してくれました。6年生は上之郷の歴史を【KAMISYO BALL】という題で劇仕立てにし、ステージ発表しました。上之郷にある牛の鼻かけ坂、耳神社、一呑みの清水、マリア像と隠れキリシタン、木賃宿と御嵩宿、御殿場、願興寺について由来や言い伝えを分かりやすく発表してくれました。他学年は特別教室での発表となりました。3年は【大豆はかせになろう】をテーマに、大豆の栄養や大豆製品について発表しました。4年は【環境について】をテーマに、節水や節電の大切さ等自分たちで学んだ事を発表してくれました。5年は【福祉について】をテーマに、車いす体験・アイマスク体験・高齢者体験を通して、障がいのある人や高齢者の気持ちを伝えてくれました。

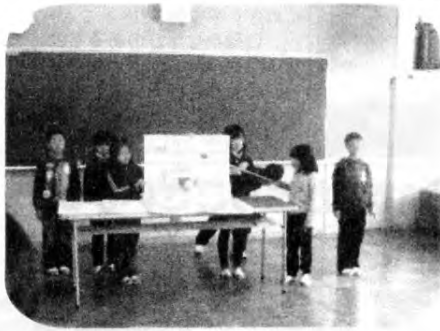
発表前は「緊張する」「うまく言えるか心配」「昨夜は寝られなかった」などの声を子どもたちから聞きました。しかし開会式で「緊張したけど、スッキリした」「うまく発表でき、うれしかった」「ほっとしたけど、終わったのでさみしい」などの気持ちを語っていました。このような気持ちになれたのも、家族の方々の励ましや発表後の大きな拍手で、認められたからであると考えます。子どもたち自身が感動した発表会になりました。地域の方からは「毎年楽しみにしています」「子どもたちが一生懸命に取り組んでいる姿に感心しました」「子ども達が頑張っている姿を見るのが楽しみです」とお誉めの言葉を頂きました。改めて、多くの保護者や地域の皆様方に支えられている事を強く感じさせてくれた上小タイム発表会でした。

最後になりましたが、上小タイム発表会にご参加頂いた学校評議員の皆様、老人会を始め多くの地域の方々、PTA発表を企画・発表して下さいましたPTA本部役員やPTA母親委員の皆様、多くの方々に感謝申し上げます。ご参加下さったすべての方々に本校児童の成長の姿、よき等をご覧頂けたことと思います。お気づきのこと等ございましたら、お知らせいただければ幸いです。次年度もよりよい形の上小タイム発表会にしていきたいと思います。

地域の皆様を支えられて見守られている上之郷小学校の児童は本当に幸せです。今後とも本校の教育活動にご支援とご協力を賜りたいと存じます。

図 4.2.3(2-1) 上之郷小学校校報(その2-1)

上小タイム発表会の一コマ



3年 大豆はかせになろう
豆腐の作り方をみんなに分かるよう説明しました。



4年 環境について
実物のエコワットを示し、節電を訴えました。



5年 福祉について
自分たちの福祉体験を参観者に説明しました。



6年 上之郷の歴史 -KAMISYOBALL-
上之郷の歴史的な史跡を紹介してくれました。



5年 餅米の販売
1. 5kg 300円で販売しました。
合計34,500円の売り上げでした。ありがとうございました。売上はPTA特別会計に入れました。



PTAと6年による歯みがき応援ダンス
ミナモちゃん達も応援に駆けつけ、PTA本部役員と6年生と一緒に歯みがき応援のダンスを踊ってくれました。(5年が録音で歌ってくれました。)

東日本大震災被災地の児童生徒を支援する「被災支援基金」へのご協力ありがとうございました
上小タイム発表会の機会を利用して、被災支援基金への募金をお願いしたところ、11,632円が集まりました。今回も十六銀行を通し、岐阜県PTA連合会に寄付ができました。3回合計で24,412円の募金額となりました。皆様の温かいお心に感謝申し上げます。

図 4.2.3(2-2) 上之郷小学校校報(その2-2)

100パーセントの力を出し切った「上小タイム発表会」!

28日の「上小タイム発表会」には、多くの保護者の方のご参観をいただきましてありがとうございました。子ども達は、多くの参観者を目の前にしてかなり緊張している様子も見受けられましたが、一人一人が自分の力を出し切り、見事にやり切ってくれました。

練習中も大きな声で張り切って取り組んでいましたが、担任としては、全体の場で、もしかしたら緊張のあまり萎縮してしまい、もっている力が出し切れるだろうかという一抹の不安もありました。が、見事にその不安を消しとばしてくれました。家族の人が見ていてくれる。聞いていてくれる。このことも頑張れる力になったのだと思います。

発表が終わった後、他の先生方から子ども達に「すごよかったよ。」「じょうずだったね。」などの声をかけていただくことで子ども達のこれまでの努力を認め、励ましていただくことができました。

グループで話し合い練り合い、教え合い、そしてクラスみんなで吟味試し合いながらまとめてきました。他のグループの協力ぶりや活動ぶりが自分達へのグループへのよい刺激ともなりました。

当日発表する予定でしっかり練習を重ね、準備万端だった敬輔さんの分もグループでしっかり責任を果たしてくれました。

この力を2月の羽根山集会、3月の6年生を送る会、そして卒業式へとつないでいきたいと思っています。そしてこの力を学習面でもステップアップしていき、自信をもって5年生へ進級できるよう指導をしていきたいと思っています。

(挨拶をするごみグループ)



(挨拶をする電気グループ)



個々の頑張っ
て発表してい
る写真は「学
級のあゆみコ
ーナー」に掲
示したいと思
っています。
3月参観日の
折にご覧くだ
さい。

なお、敬輔さんの事につきまして、皆様にもご心配をいただいておりますが、ご家族の方のお話ですと順調に治療が進んでおり、本人もとても元気になっているとのことです。子ども達には、その都度敬輔さんの様子を知らせていますが、今後は、手紙など書いて学校やクラスの様子を知らせ一日でも早く退院ができるよう元気づけていこうと話合っています。一日でも早く退院できることをみんなが願っています。

図 4.2.4(1) 上之郷小学校学年だより(その 1)

社会見学、自動車組立工場へ

今、社会科では日本の工業について調べています。まず皆さんの身の回りの工業製品調べから、私たちの生活には工業製品がなくてはならないものであることを知りました。その中でも「自動車」、大変高価な工業製品ではありますが、日本がもっとも世界に誇れる工業製品でもあります。この自動車は様々な部品からできていますが、今回の見学では「ボディ（車体）の作り方」「組み立ての仕方」を見学します。すでに教科書や資料集からその様子をイメージすることができましたが、実際に見学するとその様子を改めて感動します。古くからのことわざに「百聞は一見にしかず」ともあります。この社会見学を通して、そこで働く人々の「働く姿」、「工夫していること」、「苦労していること」の3つの点を中心に学びましょう。



【見学のスケジュール】

- 9：00 学校出発（高速自動車道 可児御嵩～豊田東）
- 10：30 トヨタ会館見学
- 11：10 昼食
- 12：00 高岡工場へ移動
- 12：30 高岡工場見学
- 13：50 高岡工場出発（高速自動車道 豊田南～可児御嵩）
- 15：00 学校到着

【持ち物】

リュックまたはナップサック 探検バック（しおり・筆記用具を入れて）
弁当 水筒 安全帽子 ビニールシート 歯みがきセット ゴミ袋 その他

その他、細かなことは次のページで

きずな

第18号 平成24年1月27日

縁の下の力持ち

上之郷小学校 5年生 学年通信

話題 上小タイム発表会

発行者 担任 志知 利彦

いよいよ上小タイム発表会

いよいよ明日、上小タイム発表会が行われます。2学期の班を中心に、今年度行ってきた総合学習の成果を発表します。5年生のテーマは「福祉」ということで次のことを学習してきましたね。

「体の不自由な方がどんな思いで生活しているのだろう」では、車椅子体験、アイマスク体験などで、実際の学校生活の中で一人一人が体験し、感想をもつことができました。

「夏休みの福祉体験活動」では、みなさんと同じぐらいの年齢の子どもたちが様々な障がいを抱える中、たくさんの人たちに支えながら生活していることを知りました。

「保育園児ブラッシング指導」では、上之郷小学校の伝統となってきた「歯磨き」を地域に発信しようと保育園に出向き、劇や紙芝居で発表し、さらに年長の園児たちにブラッシング指導を行いました。

この上小タイム発表会では、5年生が今まで活動してきた内容を保護者の皆さんや地域の皆さんに伝える会です。今までの活動に自信をもって堂々と発表することを楽しみにしています。



5年生が餅米を販売します。

〈保護者のみなさまへ〉

いつも学校の教育活動へのご支援ご協力感謝しております。

さて明日、「上小タイム発表会」が行われます。日程等については学校より案内が出ておりますのでご確認ください。なお5年生の活動については、裏面にてご確認ください。ご参加よろしくお祈いします。

さて話は変わりますが、前号でもお知らせしましたように、来月「校外学習」と「感謝の会」の詳細が決まりましたのでお伝えします。「感謝の会」では、保護者の方の参加については自由参加となります。また「校外学習」での食事・見学場所として予定していた「各務原航空宇宙博物館」ですか、休館日のため「岐阜市科学館」に変更しました。よろしくお祈いします。

【校外学習】

日時 2月7日(火)
8:30~ 上小 発
10:00~ ぎふチャン 着
11:30~ ぎふチャン 発
11:45~ 岐阜市科学館着
13:50~ 岐阜市科学館発
14:45~ 上小 着
弁当が必要となります。

【感謝の会】

日時 2月15日(水)
9:00~ 開会式
10:30~ 感謝の会
11:30~ 閉会式

場所 餅つき…図書館前
会食…ランチルーム

参加者

- ・米づくりに関わられた方々
- ・見守り隊の方々
- ・保護者の方々(自由参加)
- ・地域の方々

協力者

- ・公民館の方々

図 4.2.4(3) 上之郷小学校学年だより(その3)



いよいよ本番！～最後の上小タイム発表会～

今シーズンの冬は、寒いといってもいつもほどではないな…と思っていたら、ここ2日間くらいで急に冷え込んできました。全国的にもインフルエンザが流行する中、6年生の皆さんが比較的元気に登校できていることは素晴らしいことだと思います。

さて、いよいよ明日は上小タイム発表会本番！

6年生では、「KAMISYOBALL」という劇を通じて、調べたことや見たり聞いたりして学んだことを発表します。本格的に準備をスタート始めたのが2週間前。限られた時間の中で、みんなで協力して劇を創り上げてきました。



劇中のひとコマ



通し練習を繰り返すごとに、緊張感が高まり、劇の雰囲気も良くなってきました。笑いあり、学びありの劇です。絶対成功させましょう。

成功の秘訣は…

- ・大きな声で、ゆっくりはっきりと話すこと
- ・役者やマルモリは、真剣にお馬鹿になりきること

かな…

ナレーターさん達は、勉強したことをきちんと話してくれるので、あとは役者さんが、大勢の人が見ている前で、いかにはずかしがらずにその役になりきれるかにかかっています。楽しみにしていますよ！

6年生の発表は体育館です。保護者の皆さん、ぜひ、見に来てください！

明日の朝の会は、8時45分から始まります。



響き合い

平成23年10月11日(火)

可児川フィールドワーク

10月4日(火)に可児川フィールドワークを行いました。環境マイスターの臼井さん、漁業組合の方の協力のもと水生昆虫・魚・水流・植物の4つのチームに分かれて、それぞれ調査を行いました。ヘビトンボやオイカワ、ヨシノボリなどを見つけることができ、可児川の水質の良さを体感することができました。見つけた生物を図鑑で確認したり、水流計を使って流れの速さを何度も確認したり、自分の役割を果たそうとする姿がありました。また、スッポンを見つけ、捕獲した生徒もいました。臼井さんから「戦前は、東濃中学校(現 東濃高校)の横にスッポンの養殖場があり、戦争中に贅沢品だからという理由で禁止になり、スッポンを可児川に逃がしたんだよ。だから、今も可児川にはその子孫がいっぱいいるんだよ」と教えていただきました。御嵩の歴史に触れた瞬間でした。

最後に班長会代表で森川さんが「可児川にもっと魚が増えるといい。」と自分の願いを織り交ぜながらお礼の言葉を話しました。森川さんのように願いを持って、次の活動につなげましょう。



今日から後期

明日からは後期生徒会が動き始めます。前期班長会は、学年の成果として「呼びかけが増えた」「キャンペーンでの意識向上」「着ベルの定着」「よい服装の定着」をあげています。この成果をもとに、さらによりより学級・学年を作るために、一人一人が自分の役割を自覚するだけでなく、アイデアを持ち寄って、創意工夫ある活動をしていきましょう。そして、パワーあふれる1年生の良さをアピールしていきましょう。

☆保護者のみなさまへ

後期が始まり、各学級で新しい時間割を配布しました。確認をお願いします。後期は体育が週3時間(月、水、金)となります。冬期も服装は半袖ハーフパンツが基本です。体調が悪く見学する場合は、保護者が記入した見学理由を教科担任に提出することになっています。ご協力お願いします。

図 4.2.5 共和中学校学年だより

(6)広報紙による広報

・名鉄広見線活性化協議会が発行する「名鉄広見線活性化ニュース」において、各学校の取り組みを紹介していただきました。

名鉄からの情報
平日
赤字が改正部分になります。

活性化に参加しよう!
① 応募・投稿
してみよう!
★名鉄広見線に関する写真や動画、
★利用促進の提案やアイデア、
★活性化に関する疑問や、質問
※送り先は必ずしも、本紙の事務局まで

ECOバス
使って電車に
乗ろう!
御座町グリーンテクノ
工業団地と高山台園
地を対象としたECO
バスの運行本数が、
4月から朝の
便が増便とな
っています。
ますます便利になり
ましたので、是非ご
利用ください!

残すためにできること
(名鉄広見線利用促進メニュー)
今は利用できないけれど、協力はしたい。
遠くから来られる方
沿線にお住まいの方
学校・企業など
イベントに親戚や友人を、誘って来よう
イベント協賛店、特典を受けよう
600番線の駅にも、
非出札付の乗車を
利用しよう
イベント協賛店、特典を受けよう
自分だけの、さんさん広
場へ行こう
通勤・通学で、名鉄を使
おう
自分だけの買物場や店
を活用しよう
写真や動画を投稿してみよう
お楽しみや特典など、自分だけに載せてあげよう

活性化協議会イベント情報
～春たな祭りに、みんなでお出かけ 電車で行こう!～

時期	名称	場所	アクセス	お問い合わせ先
4月9-10日	八幡祭り	大観神社周辺	明智駅よりYAOバス	八百津産業課 0574-62-1111(代表)
4月18-19日	久田祭り	明智駅からYAOバス	明智駅からYAOバス	八百津産業課 0574-62-1111(代表)
4月18-19日	花フェスタ2011春まつり	花フェスタ記念公園	明智駅下車徒歩20分 新可児駅からYAOバス	花フェスタ記念公園 0574-62-7272(代表)
4月上旬	葉山さくらまつり	葉丸ふるまの森	明智駅よりYAOバス	可児市観光協会 0574-62-1111(代表)
4月23～5月22日	第一回御座宿いばり	御座駅すぐ	御座町まちづくり課 0574-62-1111(代表)	
4月27～5月8日	水音舟遊びまつり	川合渡(川合公園内)	日本ライン渡線下車徒歩30分	可児市観光協会 0574-62-1111(代表)
5月15日	かもぐらブリックまつり	御座駅前通り	御座駅すぐ	御座町まちづくり課 0574-62-1111(代表)

manacaカード
ヒント: 通勤や通学の強に、駅までは車で、駅からは電車。そんなお勤めの活用方法を、
〇〇と呼びます。そんな、正解は?
A: バック・アライランド
B: パーク・アンド・ライド

鉄道沿線〜光と輝〜
随市内「百年公園」にある、
岐阜県博物館特別展示室にて
3月8日～4月10日開催

図 4.2.6(1) 「名鉄広見線活性化ニュース」(第 12 号(平成 23 年 4 月号)裏面)

お問い合わせ増加中
～補助の利用も活性化!～
どの補助も、個人が30日
以内の申請が必要です!

YAOバス利用運賃補助
補助対象区間: 八津FC～明智駅間
対象者: 通勤や通学を主目的に利用する
補助額: 運賃の3割 (乗車回数超過時5割)

manacaカード
ヒント: 通勤や通学の強に、駅までは車で、駅からは電車。そんなお勤めの活用方法を、
〇〇と呼びます。そんな、正解は?
A: バック・アライランド
B: パーク・アンド・ライド

沿線学校の取り組み
共和中学校
夏休みに入って
すぐの7月24日、
共和中学校美術部
は美術展覧会を
明智駅から広見線を利用して行ってきました。
見学先は金山駅を降りてすぐの「名古屋ホストン美術館」。
企画展「タイム・タイム」主題と多色・液状画の半世紀の歴史を
見学、作品に感化され、見学が終わったあと、ワークショップで
は部員みんなで積極的にコラボ作品を制作する
姿が見られました。

御高小学校
夏休みの期間中、臨戸
地区の子どもたちの内、
若年層は広見線に乗って
学校のプールに遊びまし
た。30年前からのPTA
の取り組みで、定期券を
学校の窓口になって購入
しています。子どもたちは
笑顔いっぱい、元気いっぱいにプールを楽しみました。

活性化に参加しよう! ~応募コーナー~
③ 高校時代、岐阜の御高
(合併前)
御高小学校、活気があふくし、
電車が22、30分おきに
ふたたび、現ははいて、

図 4.2.6(2) 「名鉄広見線活性化ニュース」(第 17 号(平成 23 年 9 月号)裏面)

(7)ホームページ

・各学校のホームページにおいて、「交通・環境学習」の取り組みや、イベントでの発表等のニュースを情報発信していただいた。

The screenshot shows the homepage of Mitake Elementary School (御嵩町立御嵩小学校). The header includes the school logo and name in Japanese and English. Navigation tabs include 'Main Menu', 'Mitake News', and 'Mobile Address'. A sidebar on the left lists various school information like 'School History', 'School Song', and 'Access'. The main content area features three news items:

- 環境フェアで5年生が発表** (26th Feb): 5th graders presented at an environmental fair at the community center. The article mentions a presentation on air pollution and a video made by the students.
- 6年生馬籠宿見学** (5th Nov): 6th graders visited the historical site of Utsunomiya Station. The article describes learning about the station's history and the feelings of travelers.
- 5年生社会見学** (7th Oct): 5th graders visited the San'in Railway Museum. The article mentions riding the train and learning about the railway's history.

On the right side, there is a 'Login' button and a QR code. Below the QR code is a list of news categories and dates, including 'Information', 'Preschool', 'Facilities', and 'Education Environment'.

図 4.2.7 御嵩小学校ホームページでの情報発信(御嵩小ニュース)



上小タイム発表会



図 4.2.8(1) 上之郷小学校ホームページでの情報発信(上之郷小ニュース)(その1)



1月28日の土曜日に「上小タイム発表会」を行いました。保護者や地域の方をお迎えして、総合的な学習の時間で学んできたことを伝えました。

3年生は、栽培活動で育ててきた大豆をテーマに。

4年生は、環境活動で取り組んできた「3R」「水」「電気」を。

6年生は、福祉活動で取り組んだ内容を掲示としてまとめ、保育園に訪問して活動してきた様子を。

また、米作りで収穫したもち米を販売。

6年生は、上之郷の史跡を巡って調べたことを劇に。

PTAIは、「歯の応援」として、歯磨きの表彰・踊りを。

2012/01/29 日曜日 - 教職員 (閲覧:149) | カテゴリー: 未分類 | コメントはまだありません »

上之郷探検隊



6年生

が、校区にある史跡を巡りました。上之郷地区は本当に歴史のロマンに溢れた土地であることをしみじみ感じました。安藤広重「木曾街道六十九次 御高」に描かれた場所、皇女和宮が幕府に嫁ぐために通った途中で休憩し、水を飲んだと言われる「一呑清水」、幕府からの弾圧を避け密かに信仰していたキリスト教に関する様々なものが見つかったことから建立された「マリア像」などを見て回りました。

2012/01/16 月曜日 - 教職員 (閲覧:200) | カテゴリー: 未分類 | コメントはまだありません »

図 4.2.8(2) 上之郷小学校ホームページでの情報発信(上之郷小ニュース)(その2)

交通環境学習



御嵩町として受けている「交通環境学習」として、5年生が授業を行いました。社会科で工業生産の学習と関らせて「車」を取り上げて学習しました。職員の2台の車を利用し、構造や性能、排気ガスの様子などを比べて調べました。

2011/12/07 水曜日 - 教職員 (閲覧:306) | カテゴリー: 未分類 | コメントはまだありません»

図 4.2.8(3) 上之郷小学校ホームページでの情報発信(上之郷小ニュース)(その3)

御嵩町立伏見小学校 Fushimi Elementary School ログイン

メインメニュー 伏見小ニュース

学校安全について

- 警報時の登下校
- 巨大地震時の対応
- 不審者対応
- インフルエンザ対策
- 熱中症対策
- 落雷事故防止

訪問数

今日: 18
昨日: 58

2月26日(日) 御嵩町環境フェアで4年生発表

御嵩町環境フェア2012で、4年生が総合的な学習の時間に調べたことをまとめて発表しました。可見川のゴミ、可見川の動植物などについて、4年生の代表の子どもたちが堂々と発表することができました。

2012/02/28 火曜日 - 教職員 (閲覧:18) | カテゴリー: 未分類 | コメントはまだありません»

図 4.2.9 伏見小学校ホームページでの情報発信(伏見小ニュース)

(8) 学会・イベント等での報告

①御嵩町環境フェア 2012

・「御嵩町環境フェア 2012」では、展示及び発表会によって、各学校の児童・生徒が交通・環境学習で学んだ成果について報告した。

表 4.2.3 「御嵩町環境フェア 2012」での発表概要

学校	発表形式	概要
伏見小学校 4年生	発表	総合的な学習の時間で、可児川のゴミ、可児川の動植物などについて調べたことを発表
御嵩小学校 5年生	発表	各学級毎に、「垂炭」「可児川」「大気汚染」について調べた事をまとめ、NHK 岐阜放送局で収録した番組も活用しながら発表
御嵩小学校 4年生	ポスター展示	名鉄広見線をテーマとして描いたポスターを展示
上之郷小学校	作品展示	児童の自由研究作品を展示
上之郷中学校	発表	上之郷校区内の水質調査を行ない、「PH」「COD」「アンモニア」といった評価指標別に計測して水質を比較した結果を報告
向陽中学校 1年生	ポスター展示	「環境汚染」「琵琶湖」「ごみ問題」「可児川」について学び調べた事、環境を守るために実践したことを、グループ毎にポスターにまとめて展示
共和中学校 1年生	ポスター展示	総合的な学習の時間で、「川」「海」「森」「大気」など、環境について学んだことをポスターにまとめて展示

The image displays the promotional materials for the '御嵩町環境フェア 2012'. On the left is a colorful poster for the event held on February 26, 2012, at the Nakayama Community Center from 9:00 to 15:00. The poster features a cartoon character and lists various activities like 'エコリサイクリング' and '環境学習発表会'. On the right is a detailed 'タイムスケジュール' (timetable) for the event, listing the times and locations for various activities such as 'エコリサイクリング' and '環境学習発表会'.

図 4.2.10 「御嵩町環境フェア 2012」の概要



写真 4.2.5 学習発表会の様子：伏見小学校

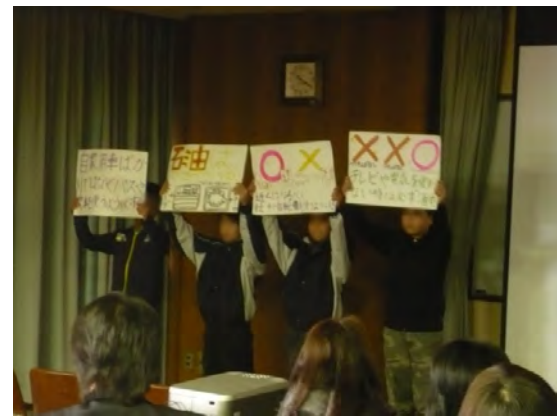


写真 4.2.6 学習発表会の様子：御嵩小学校



写真 4.2.7 学習発表会の様子：上之郷中学校



写真 4.2.8 ポスター展示：御嵩小学校

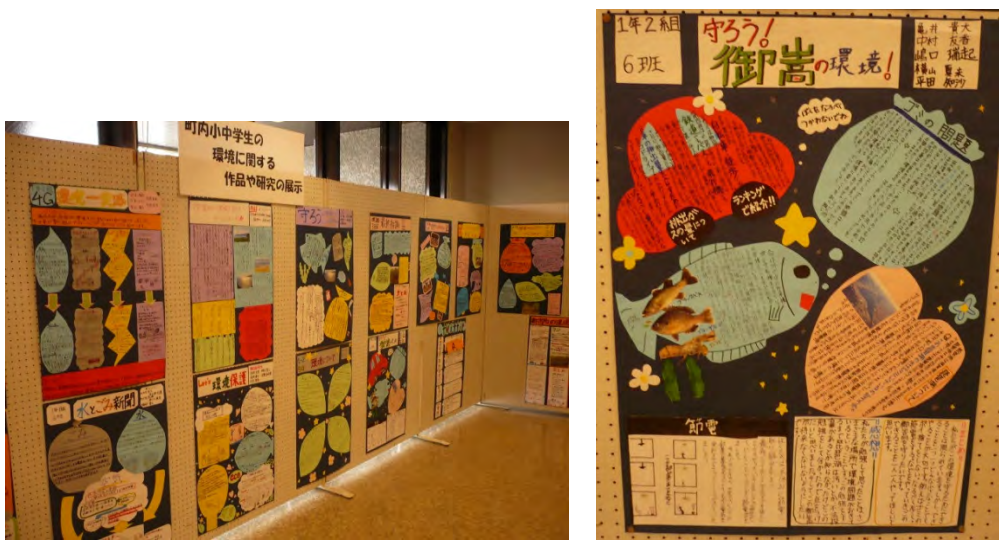


写真 4.2.9 ポスター展示：向陽中学校



写真 4.2.10 ポスター展示：共和中学校

②学会での報告

- ・第6回日本モビリティ・マネジメント会議での紹介(平成23年7月15日～16日)
- ・土木と教育フォーラムで紹介(平成23年7月30日)

小学校生活科及び社会科における交通環境学習 (モビリティ・マネジメント教育)の可能性

交通エコロジー・モビリティ財団 岡本英典

1. 交通エコロジー・モビリティ財団の交通環境学習にかかわる活動

学校教育における交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)の普及促進を行い、環境負荷に配慮した交通行動の推進に結びつけることを目的として、活動を実施。

具体的には、交通環境学習の指針となる「モビリティ・マネジメント教育のすすめ」(教育宣言)や、交通環境学習の概要や実践方法、教材、実践例などをとりまとめた手引書「モビリティ・マネジメント教育」、ポータルサイトの開設といった**普及ツール**の作成。全国普及に向けた継続的に実施される拠点づくりを目的とした**自治体支援**、実施校の拡大と新たな教材開発を目的とした**学校支援**を展開。

本発表では、自治体と学校の支援先での取組みを紹介する。

2. 自治体支援

自治体に対して、交通環境学習に関するノウハウの提供や資金面での支援を行い、継続的に実施される拠点づくりを目的として実施。

これまでに、大阪府和泉市(14～17年度)、石川県金沢市(19～21年度)、岐阜県御嵩町(20年度～)、宮城県仙台市(22年度～)、京都府(23年度～)に対して支援。

(1) 岐阜県御嵩町

くらしと密接に関連する公共交通などを中心とした交通学習や、地球温暖化防止に向けた環境学習、歴史や文化など郷土学習を相互に関連させた**御嵩町独自の交通・環境学習**を推進。

1年生から6年生までの6年間を通じた学習プログラムを各小学校で検討して実施。

上之郷小学校でのカリキュラム

学年	教科・単元	ねらい
1年	生活科「しばんとあそぼう」	体全体で移動を感じる。
2年	生活科「わたしたちの町をたんけんしよう」	交通問題を「歩くこと」で発見する。問題を発見し、発想の力で乗りこえる。
3年	社会科「わたしたちのまちをたんけんしよう」	広見線とバスを巡って見学し、町のガイドマップをつくり、伝える力を身につける。
4年	総合的な学習の時間・社会科「わたしたちの町をたんけんしよう」	地球温暖化をテーマにCO2を削減するために自分ができると考える、実践する。
5年	社会科「自働車工場」	職業にやさしい労働者の役割の工夫や努力を認識することから、これからのクルマ社会を考える。
6年	社会科「私たちのまちの鉄道見聞録」	広見線の歴史と現状を学び、広見線存続の願いを表現する。

わたしたちの町をたんけんしよう

自働車工場 (取材：岡本)

(2) 宮城県仙台市

公共交通と環境教育が連携して小学校教育の一環として実施できる枠組みを構築していくことを目的として実施。小学生の6年間を通して、「公共交通を交通手段の一つとして考えられる」ようになる児童を育てる事を目標として、22年度に1校で試行。

仙台市での小学生交通環境学習の目標

学年	1学年	2～5学年	6年生
学習目的	公共交通を 身近に 感じる 公共交通に楽しみながら、公共交通利用の利便性の確保までできるようになる	公共交通で おどろ きを感じる 公共交通利用の利便性の確保までできるようになる	公共交通を 賢く 使える ニーズに応じた、交通手段を賢く選択できるようになる
学習内容	身近な交通手段を知る ・公共交通を知る ・バスの乗り方、乗り方を学ぶ ・バスに乗っての体験を知る ・公共交通マナーを知る	公共交通での移動体験 ・公共交通での移動体験 ・乗車・乗客を体験する ・乗車体験 ・公共交通とまちづくりの関わりを知る	身近な交通手段の役割を知る ・乗車体験 ・乗客体験 ・乗車体験 ・乗車体験 ・公共交通の役割を知る ・公共交通の役割を知る ・公共交通の役割を知る

新学年の学習目的と学習内容

3. 学校支援

交通環境学習の実施に意欲的な学校や教員への支援を行い、実施校の拡大を図るとともに、新たな教材やカリキュラムの開発を目的として実施。

平成22年度は5校を支援し、政治や観光、防災などに関連づけて実践され、教材やカリキュラムが開発された。

学校名	仙台市立川柳小学校	豊川市立上林小学校	琉球大学教育学部附属小学校	静岡大学教育学部附属浜松小学校	大阪教育大学附属池田小学校
テーマ	多様な立場に立った交通まちづくりを考える 授業を目標として (政治)	地球温暖化防止 (環境問題)	みんなーれんげん 私たちの身のまわりの (観光)	よりよいバス交通の在り方考え、提案する まちづくり学習 (政治)	安全の拠点を育む 交通環境教育 (防災)
教科	社会科	国語科 社会科 総合学習	社会科 総合学習	社会科 総合学習	社会科 安全科
回数	8回	18回	33回	15回	5回
学年	6年生	5年生	4年生	3年生	3年生

交通エコロジー・モビリティ財団

図 4.2.11 学会での「御嵩町交通環境学習」紹介ポスター(交通エコロジーモビリティ財団)

4.3 今後の情報提供・広報活動の検討

4.3.1 課題

「交通・環境学習」の本格的な取り組みの3年目に際して、取り組み校も小学校3校から小中校6校に拡大し、関係機関の協力でより充実した情報提供・広報活動を展開することができたと考えられる。

とくに、小学校においては、御嵩小学校で3年目、伏見小学校・上之郷小学校で2年目の取り組みということもあり、ホームページや校報・学年だよりでの情報提供、イベントを活用した児童・生徒の発表など、より充実した情報提供・広報活動を実施して頂けた。

一方で、広報誌による広報、マスコミでの広報については、昨年度以上の内容が実施できなかつたという課題もある。また、昨年度御嵩町教育センターに開設した「交通・環境学習」参考資料のページも、現時点では十分に活用されているとはいえない。

このような成果を踏まえて今後の課題を整理すると、以下のようなものである。

課題：情報提供、交換、共有の仕組みの構築と関係者の協働

- ・御嵩町における「交通・環境学習」の取り組みは、まだ始まったばかりである。教師の取り組み基礎資料として、関連する情報提供、交換、共有の仕組みを確立しておかなければならない。関係者には、公開授業や研究授業の活用、実践事例の公開、積極的な情報発信が望まれる。
- ・なかでも、本事業の成果や各校での実践事例等については、「御嵩町教育センター」がホームページに掲載できる仕組みを構築しているため、関係者は、積極的にアクセスするとともに、情報を提供することが望まれる。また、ホームページに掲載する情報もより充実したものに更新していく必要もある。

4.3.2 今後の情報提供・広報活動の展開について

本年度の課題を踏まえて、今後は表 4.3.1 に示すような枠組みで情報提供、広報活動を展開していくことが必要である。

表 4.3.1 今後の情報提供・広報活動の取り組み方針

保護者	対象				情報媒体	提供内容	情報発信者
	教員	専門的識者	関連団体	一般市民			
◎					保護者通信	授業の予告、案内、結果報告	学校
	◎				教員通信	授業の予告、案内、結果報告	
	◎	◎	◎		報告書配布	授業内容、教材、検証・評価等	
○	○	○	○		(公開授業)	(授業)	
				◎	(学習の一環としての情報発信)	学習成果の発信(掲示板、イベント、展示等)	
					(情報源の生成と町への提供)	授業の予告、案内、結果報告	
				◎	御嵩町ホームページ・ニュース	授業の予告、案内、結果報告	御嵩町教育委員会
○	◎	○	○	◎	ポータルサイト	授業の予告、案内、結果報告、「交通・環境学習」データベース	
○	○	○	○	◎	広報紙:「ほっとみたけ」	授業の予告、案内、結果報告	
○	○	○	○	◎	マスコミ	取材案内、記事提供	
		◎			学会・イベントなどでの報告	「交通・環境学習」実施を通して得た知見	関係者個人

表 4.3.2 情報提供・広報活動の役割分担と連携(案)

広報主体	役割	ねらい	情報提供など媒体
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・情報源の生成と発信 ・保護者、教員を対象とした情報提供と啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の一環としての情報発信 ・保護者の協力行動を期待する ・「交通・環境学習」に取り組む教員への情報提供と主体者の拡大 ・授業実施による知見の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・「掲示板」など ・保護者通信 ・教員通信 ・学習教材、実施記録等のポータルサイトへのアップ
御嵩町	<ul style="list-style-type: none"> ・情報源の提供用資料への加工と提供及び広報窓口 ・学校の広報活動に対する支援 ・広く町民、関係機関団体を対象とした広報啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・広く町民に取り組みを知らせるとともに、関係者、関係機関団体などの協力行動を誘引する ・「交通・環境学習」に関連する情報の窓口となる ・学習の主体である学校の負荷を軽減する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポータルサイトの開設、運営 ・広報紙誌、マスコミ、イベントなどへの広報

5. 今後の取り組みについて

5.1 3年間の取り組みのまとめ

本「交通・環境学習」は、御嵩町の自然豊かな郷土、中山道をはじめとした歴史や文化などを有する風土を背景として、学校教育の場で、身近な郷土への愛着と公共心を醸成することを目的とし、地球温暖化防止をはじめとした環境保全と中山道をはじめとした歴史や文化などの地域に密着した交通をテーマとした「交通・環境学習」を推進してきたものである。

平成20年度は、事業実施準備期間と位置付けて、検討体制を立ち上げ、基礎教材の開発と単元、カリキュラム構成の検討を開始した。平成21年度には、モデル校御嵩小学校の全学年で意欲的に「交通・環境学習」を実施するとともに、多くの媒体で情報提供・広報を実施した。平成22年度には、御嵩町内の全小学校で「交通・環境学習」を実施するとともに、継続的な取り組みの支援体制と仕組みの構築、御嵩町版「交通・環境学習」実施要領を暫定的に作成した。そして、平成23年度は、過去3年間の取り組みを踏まえて、小学校における「交通・環境学習」の継続的实施と、新たに中学校での取り組みを開始した。また、関係者への理解の推進と普及に向けた情報提供、及び広報を行い、今後の継続的取り組みのための中間的な取りまとめと今後の学習の参考資料として位置付ける御嵩町版「交通・環境学習」実施要領（案）を作成した(表5.1)。

表 5.1 3年間の取り組み概要

年度	実施校	取り組みの内容
平成20年	-	1.検討体制の立ち上げと事業企画 2.基礎教材の事例収集と開発 3.単元、カリキュラム構成方法の検討
平成21年	御嵩小学校	1.教材の開発、拡充 2.モデル校での「交通・環境学習」の計画、実施、及び検証
平成22年	町内小学校3校	1.町内3小学校での「交通・環境学習」の計画、実施及び検証 2.取り組み支援体制と仕組みの構築検討 3.御嵩町版「交通・環境学習」実施要領作成(暫定版)作成
平成23年	町内小学校3校 町内中学校3校	1.小学校での継続的・発展的な取り組みの定着 2.中学校での取り組みの計画検討、実施、検証 3.御嵩町版「交通・環境学習」実施要領(案)作成 4.今後の取り組み方針の検討

5.2 今後の取り組みについて

これまでの「御嵩町「交通・環境学習」事業」への取り組みの結果、概ね目標とした取り組みを実施して、期待した授業の成果を得ることができたと考えられる。

しかし、「交通・環境学習」の実施は、最も長い御嵩小学校で3年間、中学校では始めたばかりである。その意味では、本事業で作成した「御嵩町版「交通・環境学習」実施要領」は、まだ暫定版としての位置付けであろうと思われる。

これまでの取り組みの結果、実施した「交通・環境学習」は、児童・生徒には非常に興味を持って知的欲求を活性化させ、総合的な学習の時間や各教科学習に取り組まれることが分かった。また、郷土の豊かな環境の保全や地球温暖化防止をはじめとした環境保全と身近な暮らしの密接な関連を実感し、公共心を醸成させ、実践学習や様々な形での発表を通して、生きる力をはぐくみ、思考力・判断力・表現力などの育成、そして学習意欲を向上させるものと考えられるため、今後も、継続的、発展的に「交通・環境学習」を実施していくことが望まれる。

ここで、このような学習の効果と影響は、長期間でなければ評価が困難である性格を有している。本来的には、学習に参加した児童・生徒の長期の追跡調査を実施して、検証評価していくことが望ましい。このためにも、今後は、行政団体が長としての長期の取り組みとして位置付け、支援を継続するとともに、児童・生徒達の成果の報告の場を提供する等の取り組みが重要である。

これまでの取り組みの結果に基づいて今後の課題を整理すると、以下のとおりである。今後は、理想と信念を持って取り組まれる教師をはじめとする教育現場の皆様、支援を行う自治体その他の関係機関の皆様が、協働して「交通・環境学習」の実践と発展に取り組んでいかれることが望まれる。

課題1：継続的な取り組み体制の維持と拡充

- ・このような取り組みを維持、発展させていくためには、学校教育の現場だけの取り組みでは困難である。学習の主体者はあくまで学校であるが、行政をはじめとした自治体が支援の中心となって、レギュラーな取組体制と連携を維持、拡充していく必要がある。
- ・なかでも、関係機関をはじめとした人的支援、物的支援のマネジメントは、教師の負担を軽減し、取り組みを拡充するためには必須であり、町教育委員会の仕事として位置付けて、取り組み体制の維持と拡充を図っていく必要がある。

課題2：情報提供、交換、共有の仕組みの構築と関係者の協働

- ・御嵩町における「交通・環境学習」の取り組みは、まだ始まったばかりである。教師の取り組み基礎資料として、関連する情報提供、交換、共有の仕組みを確立しておかなければならない。関係者には、公開授業や研究授業の活用、実践事例の公開、積極

的な情報発信が望まれる。

- ・なかでも、本事業の成果や各校での実践事例等については、「御嵩町教育センター」がホームページに掲載できる仕組みを構築しているため、関係者は、積極的にアクセスするとともに、情報を提供していく必要がある。
- ・また、保護者への情報提供も、児童・生徒の応援には非常に重要である。本事業の中でも、学校からは、校報や学年通信、そして保護者の参加をいただく行事等で積極的に報告や情報提供を行ってきたが、行政や関係団体からの情報提供も含めて、積極的な保護者への情報提供を継続していくことが望まれる。

課題3：新たな教材の導入、開発

- ・関係者の努力によって、関連する教材の開発がすすめられてはいるものの、まだ必ずしも十分とは言えないと思われる。
- ・関係者は、新たな教材に関する情報収集と検討、及び導入に積極的に取り組むとともに、開発への努力も望まれる。

